

令和3年度使用

教科用図書採択調査研究資料

《中学校用》

気仙沼地区教科用図書採択協議会

目 次

1	国 語	1 ~ 4
2	書 写	5 ~ 8
3	社会 (地理的分野)	9 ~ 12
4	社会 (歴史的分野)	13 ~ 19
5	社会 (公民的分野)	20 ~ 25
6	地 図	26 ~ 27
7	数 学	28 ~ 34
8	理 科	35 ~ 39
9	音 楽 (一般)	40 ~ 41
10	音 楽 (器楽合奏)	42 ~ 43
11	美 術	44 ~ 46
12	保健体育	47 ~ 50
13	技術・家庭 (技術分野)	51 ~ 53
14	技術・家庭 (家庭分野)	54 ~ 56
15	英 語	57 ~ 62
16	道 徳	63 ~ 69

種 目	国語	発行者の番号・略称	2	教科書の記号・番号	国語701 801 901	書 名	新しい国語 1 新しい国語 2 新しい国語 3
			東書				
1	記述内容 関容すに ること						<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された目標に即して、言葉に着目し、言葉による見方・考え方を働かせながら言語活動に取り組めるように工夫されている。 ○ 学年の発達段階を踏まえ、課題解決的な言語活動が系統的に設定されてある。また、それらの言語活動は県の重点事項に沿った内容となっている。 ○ 導入である「学びの扉」では、言葉の使い方に関する課題を主体的に発見させるための工夫があり、生徒の学習意欲を喚起する仕掛けがされている。 ○ 本編・基礎編・資料編の構成となっており、本編や基礎編で学んだことに対して、発展的・補足的な学習に取り組めるので、生徒の実情に応じた扱いが可能である。 ○ 現代的な諸課題が数多くの教材で扱われており、生徒の視野の広がりや社会と向き合う姿勢を育むことができる。資料の出所・出典が明示されている。
2	組織と 関配す列 ること						<ul style="list-style-type: none"> ○ 読むことで習得した「言葉の力」が「書くこと」「話すこと・聞くこと」で活用できるなど、領域間でのつながりを意識した配列になっている。 ○ 七つの単元で構成されており、それぞれに3領域の内容が配置されている。各教材の「言葉の力」に身に付ける資質・能力が明示されている。 ○ 本編の後ろにある「学びを支える言葉の力」では、3領域の学習を支える基礎的な力を鍛えることができ、他教科の学習等に生かされる内容である。 ○ 各単元ごとに3領域の指導をバランスよく行える分量になっている。各教材の区分は各学校の年間指導計画に即して柔軟な対応ができるように工夫してある。 ○ 言語活動でスピーチやディスカッションを扱ったり、教材で現代的な諸課題を扱ったりするなど生徒の生活や地域の実態に適合するよう配慮されている。
3	学習と 関指す導 ること						<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材冒頭には「言葉の力」に対応する「目標」「問いかけ」が、学習のてびきには「振り返り」が設けられ、生徒自身が「言葉の力」を意識しながら主体的に学習に取り組めるようになっている。 ○ 教材の冒頭部分に、キャラクターによる「問いかけ」が示されており、生徒の興味・関心を大切にし、見通しを持って学習できるように工夫されている。 ○ 「書く」領域では、互いに助言しあいながら作品を完成させるなど、協働的な学びを通し、生徒の多様な個性を尊重しあう学習形態が示されている。 ○ 「話す・聞く」「書く」の教材では、他教科の学習や実生活で生かせる具体的な場面や題材が設定されてる。また、具体例が豊富であり、学習や指導の流れがイメージしやすい。 ○ デジタルコンテンツを利用することが効果的と考えられる教材にはDマークが記されており、学習問題や補充問題の活用ができるように配慮されている。
4	表現と 関体す裁 る等に こと						<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年最初の教材は小学校高学年と同じ大きさの教科書体が使われるなど、発達の段階に応じて文字の読みやすさに配慮されている。難解語句の注釈や漢字の振り仮名等も発達段階に配慮している。 ○ 表紙絵や各単元に登場しているキャラクターは、発達段階に応じたものになっており、親近感や親しみが感じられる。 ○ 色彩に頼らず、色以外の要素（文字の太さや字体の変化、キャラクターの表情など）で識別できるようになっている。 ○ 鮮明な写真の利用で視覚に訴える工夫がある。また、図表の大きさや配置も適当であり、本文との関連性が明らかである。 ○ 製本が堅牢で耐久性がある。裏写りを抑え、文字が見やす用紙に印刷されている。

種 目	国 語	発行者の番号・略称	15	教科書の記号・番号	国語 702 書 802 902 名	現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3
			三省堂			
記述内容に関すること	1	○ 「つきたい力」が一覧となっており、指導事項が一目で分かる工夫がされている。 ○ 各教材ごとに目標から振り返りまで学習の流れが明記されており、学力学習状況調査からの課題への対応も含め、多くの言語活動が取り上げられている。 ○ 学び方を習得し、見通しを持って学習に取り組めるため、意欲の持続が期待される。 ○ 学び方を習得直後に、それを活用した課題が示されており、確かな力が身に付けられる内容である。社会とのつながりを意識させる課題が多く提示されている。 ○ 「現代の詩」では生徒になじみのある有名な曲の歌詞について考える教材が取り上げられるなど、著名な作家や作品が教材として多く選ばれており、親しみやすい。				
組織と配列に関すること	2	○ 本編と資料で構成されており、本編では単元の系統性が明らかになっている。 ○ 全領域の教材において「つきたい力」が明示されてあることで、多様な言語活動を取り上げ目標に迫る手順が示されている。 ○ 文章構成の仕方や話し合いの仕方、読み方、考え方など基礎的な重要事項は繰り返して提示するなど、基礎の徹底のための工夫が凝らしてある。 ○ 配当時数と単元構成については、各学校の年間指導計画に広く適合できるように配慮されている。 ○ 教材で取り上げられている話題・題材は身近である学校生活、日常生活から社会への広がりを感じさせる配列となっている。				
学習と指導に関すること	3	○ 各教材に「思考の方法」や「語彙を豊かに」を設定し、知識・技能の習得ができるようになっている。 ○ 学習の見通しと振り返りの位置付けが明確であり、何を学ぶのかを実感しやすいため、主体的な学習につなげられるような工夫がされている。 ○ 「読むこと」教材の末尾に「私の本棚」を設け、教材との関連性を明示しながら、図書を紹介している。 ○ 各教科や総合的な学習、他の教材との関連が示されており、学びが生かされるように工夫されている。 ○ 図表やグラフ、挿絵や写真などが、適切に配置され、学習の充実が図られるように工夫されている。QRコードが配置されていて自分で学習できるような配慮もある。				
表現と体裁に関すること	4	○ 図解を配置して学習内容や方法が具体的に分かる工夫がある。 ○ 全体的に明るい配色となっている。また、登場するキャラクターは華美でなく、親しみやすい描かれ方となっている。 ○ 書き写し作業を行うことの多い古典や韻文は手書きに近い書体を採用している。 ○ 挿絵や図版は生徒の学習意欲を喚起させ、内容の理解を支えるものとなっている。 ○ 表面の加工により、手になじみやすいと感じる。ページの開きがよく、中央部分まで読みやすい作りになっている。				

種 目	国語	発行者の番号・略称	17	教科書の記号・番号	国語 703 書 803 903 名	伝え合う国語 中学国語1 伝え合う国語 中学国語2 伝え合う国語 中学国語3
			教出			
1 記述内 関容 すに る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元に国語科における「言葉による見方・考え方」をはたらかせるための魅力ある言語活動が位置づけられている。 ○ 各単元に学びを進める七つのキーワード（SDGsの視点）を示し、国語科で学ぶべき事項や現代社会の課題等を幅広く設定し、生徒が様々な課題について主体的・対話的に学ぶよう工夫されている。 ○ 「文学入門」や「学びナビ」を設け、小学校の学習の振り返りと中学校での学習の見通しが意識付けられるようになっている。 ○ [知識及び技能]と[思考力、判断力、表現力等]の学習がバランスよく位置付けられている。教材は話題・内容や知識・技能の点で関連性・連続性が見られる。 ○ 長く受け継がれている古典や、生徒の日常生活から現代社会の課題に関わる題材などバランスよく教材が配置されている。 					
2 組 織 と 関配 す列 るに こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導内容を螺旋的・反復的に繰り返して学力向上を図った指導ができるよう、学年間と学年を通じた系統的な単元構成となっている。 ○ 各教材の目標と振り返りを明確に示し、生徒自らが学習の方法や内容を振り返り、学びを自覚化できるようにしている。 ○ 各単元では、「知識及び技能」と「思考力・判断力・表現力」の活用が図れるよう、構成が配慮されている。 ○ 巻末付録に「言葉の自習室」を設け、読み物や伝え合う活動に必要な多彩な作品や資料を掲載している。 ○ 1年「森には魔法使いがいる（島山重篤）」や「広告の情報を考える」、2年「夢を跳ぶ（谷真海）」など 気仙沼市由来の教材・資料があり、興味・関心を持って取り組める。 					
3 学 習 と 関指 す導 るに こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の冒頭に「学びナビ」を設定することで、学習内容の観点を把握し、見通しを持って主体的に学習に取り組めるよう工夫している。 ○ 学習の手引き「みちしるべ」等においても学習の過程を明確に示し、課題解決的に学習が進められるように工夫している。 ○ 「広がる本の世界」を設け、各単元のキーワードと関わる図書を紹介し、読書へつなげるよう工夫している。 ○ SDGsも視野に入れた幅広い分野からの話題を取り上げ、他教科の内容との連携について配慮している。 ○ 挿絵、図表、写真等がバランスよく配置されている。「学びリンク」でデジタル資料やワークシートを活用することができる。 					
4 表 現 と 関体 す裁 る等 こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年ごとに学習テーマが色別で表示され、生徒が強く印象に残るような工夫がされている。 ○ 生徒が親しみやすいイラストやポイントが分かりやすい表記など工夫されている。 ○ 色彩はあまり多くの色を使わず、統一的で落ち着いたデザインである。 ○ 図解などを効果的に使い、学習内容の視覚化を工夫している。 ○ 表紙は堅牢で環境に配慮した特殊コーティングを採用している。 					

種 目	国語	発行者の番号・略称	38	教科書の記号・番号	国語	704	書 名	国語1
		光村			804	904		国語2
1 記述内容 関容すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉を通してこれから生きていく子どもたちを育成するという国語科の特質を押さえ、そのための教材を精選し、段階的に配置している。 ○ 各単元・教材のねらいを明確に示し、学習活動を系統的に編成するなど、基礎的・基本的内容が確実に身に付けられるよう工夫されている。 ○ 「情報」に関する教材は、内容・取り扱いが生活に生かせる実用的なものである。また、非連続テキストの読み取り学習に生かすことのできる教材が随所に設定されている。 ○ 「季節のしおり」などで作品の一部や詩歌が紹介され、生徒の豊かな感性を育むとともに、伝統文化に触れる機会を多く設けている。 ○ 定番と呼ばれるような教材と新しい教材をバランスよく配置し、現代社会の課題に対応する教材も多く取り上げている。また、中学生が共感できる作品が多い。 							
2 組織と 関配すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2・3年の古典教材が2回に分けて学べるようにしてあるなど、各領域が特定の時期に偏らずバランスよく配置され、学習の効果が高まるよう工夫されている。 ○ 各学年八つのまとまりで教材を構成し、発達段階と学習の継続性を考えて教材数に軽重をつけバランスよく配列されている。 ○ 巻末に、本編の補充学習・発展学習に資するよう、資料となる教材が掲載されており、「知識及び技能」と「思考力・判断力・表現力」が関連して学べるように配慮されている。 ○ 教材数や領域のバランスがよく、問題演習等も適度な数に抑えるなど、ゆとりを持って指導できるように配慮されている。 ○ 学校や身近な地域から課題を見つけて考えたり、現代的な諸課題について考えたりできる活動が設定されている。 							
3 学習と 関指すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材の冒頭に目標が、「学習」のコーナーに「見通しをもつ」から「振り返る」までの学習過程が掲載されており、主体的・対話的で深い学びに配慮されている。 ○ 「短歌」「俳句」の鑑賞文が理解しやすいなど、生徒が学習に取り組みやすいような配慮が随所に見られる。 ○ 各学年の巻頭に「続けてみよう」を設け、生活との関連を意識させながら、年間を通して語彙を増やしたり、言葉に対する感覚を磨いたりすることを習慣化できるように工夫している。 ○ 巻末には補充的・補強的な資料が多くの領域から取り上げられており、他教科や総合的な学習などにも生かせるように工夫されている。巻末の索引も使いやすい。 ○ 理解の助けになる図表や挿絵、写真なども充実している。QRコードで他の資料にも対応できるようにしており、更に理解を深める工夫がなされている。 							
4 表現と 関体裁ること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生の文字が、2・3年生のより大きくしてあるなど、発達段階に応じた工夫や配慮がされている。 ○ 挿絵や写真などを多く用いているが、落ち着いたトーンにまとめられていて、バランスよく配置されている。 ○ 印刷は鮮明で、配色・色調は落ち着いており、とても読みやすい。また、UDフォントを用いるなど文字の見やすさへの配慮もされている。 ○ 図表等の大きさや配置・レイアウトなどは、文章を邪魔することなくバランスがよい。色の組み合わせについても配慮がなされている。 ○ 製本は堅牢であり、環境に配慮した紙やインクの使用が明示されている。 							

種 目	書写	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	書写 701	書 名	新しい書写 一・二・三年
1 記述 内容 関 容 す に る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標達成のための学習過程が明確である。また、生活に必要な文字を書く力を身に付ける過程で自主・自立の精神を養える編集である。 ○ 社会とのつながりを明確にした課題が位置付けられており、他者との関わりを意識した学習ができるように配慮されている。 ○ 単元末に「振り返って話そう」の項目を設け、対話を通して学習を振り返ることで、次への学習の意欲を高められるように工夫している。 ○ 単元間に、既習事項を確認する「まとめ」や「書写テストに挑戦しよう」の項目が設けてあり、学習の充実が図れるように工夫している。 ○ 「文字の成り立ちと移り変わり」では歴史や出典が明示されており、幅広い知識や教養を身に付けることができるように配慮されている。 						
2 組 織 と 関 配 す 列 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書写で学ぶ知識及び技能を「書写のかぎ」と名付けて系統的に整理してある。それらを確実に習得できるような工夫がある。 ○ 学習事項が明示された「振り返って話そう」を設け、それぞれの教材のねらいを明確にし、習得にいたるまでの一連のまとまりがある。 ○ 基本単元において「見つけよう」で文字から「書写のかぎ」を見つけ出す学習活動が示されていることで、既習事項の確実な定着が期待できる ○ 各学年の配当時数に応じた単元数及び分量である。また、各学校の年間指導計画に柔軟に対応できるように配慮されている。 ○ 文字を書く様々な場面の参考になる実例を数多く掲載し、学校生活やこれからの社会生活に生かせるように配列されている。 						
3 学 習 と 関 指 す 導 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生かそう」の項目で、学習したことを他の文字に応用する活動を通して、思考力・判断力・表現力を養えるよう配慮されている。 ○ 単元の導入において「見つけよう」の項目を設け、生徒に身近な文字から課題を見出すことで、主体性を引き出す工夫がある。 ○ 「振り返って話そう」では学んだことを説明する学習活動が示されており、他者を認め、さらに自己評価ができるように促している。 ○ 学校行事や総合的な学習の時間を意識したポスターや手紙、レポートの書き方が手本として多数掲載されており、他教科との関連が明確である。 ○ Dマークがある単元では、デジタルコンテンツの利用が可能であり、毛筆の運筆動画等、個に応じた指導に対応できるような配慮がある。 						
4 表 現 と 関 体 す 裁 る 等 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文意を捉えやすいように文節で改行するなど、書写学習に集中して取り組めるように配慮されている。また、朱墨により穂先の通る位置が示され視覚的にも配慮されている。 ○ キャラクターの吹き出しを使い、生徒に語りかけるなど、生徒が親しみやすいように工夫されている。 ○ 書き込み欄が設けてあり、学習したことをそのまま実践できる。利き手に左右されないように、教材文字を上、書き込み欄を下にする配慮がある。 ○ 毛筆では学習欄を見開き2ページでレイアウトし、学習が円滑に進められるように配慮されている。サイズもA B版であり、大きな書き込みが可能である。 ○ 中綴じで開きやすさや書き込みやすさを重視している。紙質も一枚一枚しっかりしたものとなっており、長期使用に耐えうる工夫がされている。 						

種 目	書写	発行者の 番号・略称	15 三省堂	教科書の 記号・番号	書写 702	書 名	現代の書写 一・二・三
1 記述 内容 関 する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教材に「学習目標」と「振り返り」を設けていて、学習に見通しを持って取り組めるように工夫されている。 ○ 日常生活で目にする文字が多く取り上げられていて、文字文化に親しめるよう配慮されている。 ○ 文字に関わる仕事に触れたページがあるなど、書写に対する興味・関心が高められるよう工夫されている。 ○ 毛筆で学んだことを普段の生活でも生かせるように、硬筆の書き込みができるページを設けている。 ○ 「書の古典」では少ないながら代表的な作品も紹介している。よい作品を鑑賞することも勉強になると考える。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年間を見通して、何度も繰り返すことで書写の力を身に付けさせるように、系統的に配列されている。 ○ 「書き方を学ぼう」で書き方のポイントを提示し、各教材で学ぶべき内容を明確にしている。 ○ 具体的な書くポイントを示すことで、基礎的・基本的な技能が身に付くように工夫されている。 ○ 毛筆と硬筆を関連させて練習するようにして、繰り返して学習できるようにすることで、各学校の年間指導計画にも対応できるように工夫されている。 ○ 原寸大の葉書に練習できる教材など、実生活でも活用できるような工夫がなされている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楷書と行書を比較して考え学ばせるなど、生徒が自分で工夫して取り組めるように配慮されている。 ○ 「振り返ろう」という項目では、単元を通して学んだことを自分の言葉で振り返り、主体的に学習できるように工夫されている。 ○ 横書きの書き方や筆順についても取り上げており、他教科との関連で、興味・関心が高まるように工夫されている。 ○ 様々な書式の文章や時候の挨拶なども取り上げており、具体的に他の教科や普段の生活などにも生かせるよう配慮がなされている。 ○ QRコードで姿勢や筆の持ち方などを示し、動画でも学べるよう配慮されている。 						
4 表 現 と 関 係 す る 等 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朱墨で穂先の通る位置などが示されており、視覚的に捉えやすく工夫されている。 ○ 学習目標を問いかける言葉など、生徒が親しみを持って取り組めるよう工夫されている。 ○ 文字の大きさや色使いなど、ユニバーサルデザインに配慮したものになっている。 ○ キャラクターやイラストを使い、筆の動きなどを分かりやすく示すことで、生徒がポイントを視覚的につかめるよう工夫されている。 ○ 硬筆で直接書いても耐えられるような紙質であり、3年間使用できるよう堅牢な作りとなっている。 						

種 目	書写	発行者の番号・略称	17	教科書の記号・番号	書写 703	書 名	中学書写
			教出				
1 記述 内容 関容 すに るこ と							<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている指導事項を押さえた内容になっており、3年間を道して書写に関する「知識及び技能」が身に付けられるように工夫されている。 ○ 書写の学習を通して身に付けた「知識及び技能」を日常生活に生かすための課題が設定されている。 ○ 小学校書写との関連では、明快な筆使いの図版と、行書の丁寧な導入で接続を図っている。 ○ 主体的・対話的で深い学びを実現させるために、学習プロセスを明確化し、「どのように学ぶか」の見通しを持てるように配慮している。 ○ 古典から現代に至るまでの書に関する様々な資料が掲載されており、出所・出典が明示されている。
2 組 織 と 関配 す列 るこ と							<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「目的に合わせて書こう」があり、目的意識・相手意識を持って学習活動が進められるように工夫している。 ○ 各教材に「目標」や「まとめ」「振り返り」が明示され、ポイントを確認しながら学習が進められるようになっている。 ○ 手本に対して、写真や図版を活用して平易に解説してあるなど、生徒自身が見て実践しやすく、基礎・基本の学習が身につくように配慮している。 ○ 国語の学習で扱う文学作品や古典が硬筆教材として取り入れられており、国語の年間指導計画に関連づけて対応できるよう配慮されている。 ○ 書き初めや季節の行事での活用例を扱うことで、書写の能力が日常生活の様々な場面で生かされていることが実感できるよう配慮している。
3 学 習 と 関指 す導 るこ と							<ul style="list-style-type: none"> ○ 身に付けさせたい「知識及び技能」を、図やイラスト、写真を用いて分かりやすく説明している。「何を・どのように学ぶのか」「何ができるようになるか」が明確に示されている。 ○ 「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」「学習や日常生活への活用場面」という流れで構成されており、主体的・対話的で深い学びが展開できるよう配慮されている。 ○ 習得した能力を、他の教科の学習や社会生活で活用できるよう、多様な例示でイメージをつかみやすくする工夫が見られる。 ○ 「選択課題」教材を設け、個に応じた学習にも配慮している。 ○ 「まなびリンク」により、毛筆教材の動画を見ることができ、授業や家庭学習で活用する工夫がされている。
4 表 現 と 関体 す載 る等 こに と							<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆の手本が半紙と同じバランスになっているため、書き始めの位置や字形の整え方、余白の取り方などが実感しやすい。 ○ 二人組の中学生の写真と、師匠のイラストが登場し、一緒に学ぶように感じられ、親しみが持てる。 ○ 判読しやすい配色が工夫されており；また、レイアウトやUDフォントの使用にも配慮されている。 ○ A B版サイズの紙面であり、写真が鮮明で見やすく、図表の大きさも適切である。 ○ 表紙を撥水コーティング加工し、水や墨汚れに強い造本となっている。環境に配慮した再生紙と植物油インキを使用している。

種 目	書写	発行者の番号・略称	38	教科書の記号・番号	書写 704	書 名	中学書写 一・二・三年
			光村				
1 記 述 内 容 に 関 する こと	○ 書写で培った能力を国語や他教科、日常生活で生かす態度を育成できるように配慮されている。 ○ 文字の特徴や書き方のポイントについて、生徒が考えたり話し合ったりする言語活動が位置づけられている。 ○ 身の回りにある文字を取り上げるなど、文字や文字文化への関心、理解が高まる教材が随所に設定されている。 ○ 全教材に「目標」及び「学習を振り返る」を明示し、知識・技能の定着や自己の変容を確かめられる構成にしている。 ○ 毛筆、硬筆の内容に偏りがないように配慮されている。						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こと	○ 知識・技能の習得と活用を繰り返しながら、着実に基礎・基本が定着できるよう、生徒の発達段階に応じて段階的に配列されている。 ○ 全教材に「学習の窓」を設けて、日常生活の書写力の向上に欠かせない基礎・基本、原理・原則を明確に示している。 ○ 「書写ブック(硬筆練習帳)」で、毛筆での学習が硬筆に生きるよう配慮されている。 ○ 1教材1事項で構成し、学習のねらいを焦点化することで効率的に学べるように配慮している。 ○ 作例の種類や書式、筆記具等は、生徒の学校生活や日常生活に即したものが取り上げられており、身に付けた書写能力を日常に生かすイメージを持てるように配慮している。						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こと	○ 知識・技能の習得と活用を繰り返しながら、着実に基礎・基本が学べるよう、1冊の教科書にまとめている。 ○ 主体的に学習に取り組めるように「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という展開が分かる構成になっている。 ○ 「学習の窓」で学習のポイントが明確に示されている。また、課題解決のヒントを与えるキャラクターなど、主体的な学習の助けとなる配慮がされている。 ○ 「日常に役立つ書式」「目標を書こう」「行書を活用しよう」など、習得した知識・技能を国語や他教科、学校生活や日常生活に役立てる方法をイメージできるように工夫している。 ○ 運筆動画や「用具の準備・片付け」「姿勢・筆記具の持ち方」等の解説動画を見ることができ、授業の充実や家庭学習に役立てることができる。						
4 表 現 と 表 紙 に 関 する こと	○ 毛筆の学習では、朱墨を用いて穂先の通る位置が明示され、視覚的に捉えやすいように工夫されている。 ○ キャラクターが目標や注意点をつぶやくなど、生徒が親しみを感じながら学習を進められるように工夫している。 ○ 鮮明な色調であり、また、誰もが明確に識別できる配色が採用されている。 ○ B5版サイズであり、扱いやすい。また、文字やイラスト、写真が見やすく、図表の大きさも適切である。 ○ 表紙には防水効果があって汚れにくい撥水コーティング加工が施されている。						

種 目	社会 (地理分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 理 7 0 1	書 名	新 し い 社 会 地 理
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新学習指導要領の目標をふまえ、地理的分野に必要な基礎的・基本的な事項が明確に押さえられている。 ○ 学習内容とSDGs、他教科との関連が図られ、題材も現代社会や地球的課題について考えを深められるよう工夫されており、学習指導要領の目標とも合致している。 ○ 学習の過程に、「見方・考え方」を働かせるコーナーが設定されており、学習をより深められるよう工夫されている。 ○ 世界・日本のさまざまな地域の終結部に多様な思考ツールを活用して学習内容を振り返るまとめの活動が例示されており、思考力・判断力、表現力が育成される内容となっている。 ○ 本文の内容は、丁寧でわかりやすい。資料は公正かつ適切に取り上げられ、出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各地域の地理的特色が押さえられ、地域的特色を関連づけながら学習課題を追究できるよう工夫されている。 ○ 単元全体で「問い」が構造化され、単元を貫く問いと1単位時間の学習課題が明示され、課題解決的な学習が展開できるよう工夫されている。 ○ 各単元に、課題のまとめ方の例が示され、「5つの提言」の自分の考えを書く活動にも対応している。 ○ 各章の導入時では、小学校の学習の振り返りや多彩な写真資料などから学習への動機付けが及び、小中の学習が円滑に進められるよう配慮されている。 ○ 各章の終結では、「基礎・基本のまとめ」として、生徒が地図帳などを活用しながら学習内容を整理し、基礎・基本の定着が図られるよう設定されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探究のステップが明示され、主体的・対話的な学習が展開できる工夫が見られる。 ○ 課題の追究を深める、資料やコラム、ツールなどが充実している。資料活用力を鍛える学習や思考を視覚化し、整理し、思考力・判断力・表現力を養う記載があり、技能・表現を育成できるよう工夫されている。 ○ 単元の終結では、振り返りの方法の例が明示され、さらに登場人物の吹き出しの会話は、課題解決のヒントとして有効であり、生徒の主体的な学びを促すことができる。 ○ 資料は、地域の特長がより捉えやすく工夫されており、生徒の気付きをもたせる内容である。 ○ QRコードやDマークコンテンツが記載されており、学習効果が高まるよう配慮されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真やグラフなどの資料が豊富であり、適切に配置されている。 ○ 関連地方ごとに生活に密着したテーマ資料が掲載されている。興味をひく魅力的な写真資料も豊富で大きく、より臨場感がある。 ○ 本文が平易な表現で記述されており、文字のフォント、書体、配色も適切であり、本文とふりがなの濃度を別にすることで、これまでよりも読み取りやすい配慮がなされている。 ○ 色覚特性がある生徒への色以外の情報提供も配慮されていることもよい。 ○ 環境に配慮された再生紙、植物性インキが使用されている。また、針金とじを用いて製本するなど造本は堅ろうで、長期間の使用にも十分耐えうるものになっている。 						

種 目	社会 (地理分野)	発行者の番号・略称	17 教 出	教科書の記号・番号	地理702	書 名	中学校社会 地理 地域に学ぶ
1 記述 内 容 を 開 示 す こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の地理的分野に必要な基礎的・基本的事項が押さえられている。 ○ 豊富で鮮明な写真資料から、生徒の興味・関心を喚起する導入ページを工夫するとともに、学習の章・節全体への見通しをもたせられるよう工夫が見られる。 ○ 世界地誌や日本地誌では、社会の変化や今日的課題に迫る特設ページが設けられ、学習指導要領の目標、内容とも合致する。 ○ 本編の「確認/表現」「読み解こう」やコラム、特設ページ、「学習のまとめと表現」など、段階的な学習が展開できるよう工夫され、学力の着実な定着が図られるよう構成されている。 ○ 学習指導計画では、ゆとりのある時数配当がなされ、学校や地域の実情に応じて、弾力的な時数の運用ができるよう設定されている。 						
2 組 織 と 配 列 を 開 示 す こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に準拠して単元構成がなされ、分かりやすく組織されており、目次でも学習内容の全体が一覧でき、学習の見通しがつかみやすくなっている。 ○ ボランティア等公共的な活動に取り組む人々の姿から、社会形成への参画意識を高めるような学習も構成されており、社会科や道徳の目標、内容とも合致している。 ○ 地域の歴史に関する記述や資料も豊富で、世界や日本の諸地域の特色を歴史的な歩みや背景を関連させて捉えることができるよう工夫されている。 ○ 見開き右ページ下に「関連マーク」がついており、歴史・公民分野との関連が示されており、他分野との横断的なカリキュラムの立案がしやすくなっている。 ○ ワークシートのように直接書き込むページもあり、多様な学習活動が示されている。 						
3 学 習 と 指 導 を 開 示 す こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のテーマや視点が端的に示され、見通しをもって学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 写真・地図・グラフ・図版など、多様な資料を読み解きながら、学習課題が解決できる構成となっており、資料活用技能、まとめる力の育成が図られるよう工夫されている。 ○ 難しい用語や補足説明が必要な箇所には、巻末資料として用語解説が示されており、統計資料も充実している。 ○ より深い学びを実現するために、学習で身に付けた用語を振り返り、地図や表を使って学習内容を確認したり、文章で表現したり、意見交換する学習を促す内容が示されている。 ○ インターネットを活用して学びを広げることができるリンクが掲載されており、学習に役立つさまざまな情報にリンクできるようになっている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 を 開 示 す こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学生の発達段階を考慮した、読みやすく分かりやすい文章表記である。 ○ 図やグラフを始め、教科書中の表現はユニバーサルデザインが取り入れられ、多くの生徒が見やすい配色となっている。 ○ 複数年の使用に耐えられる堅固な製本で、装丁も汚れにくい加工が施されている。 ○ 本文、資料など難しい漢字など、適宜ふりがなが付けられ、地名、地理用語など、正しく読めるように配慮されている。 ○ 記述内容が正確・公正中立であり、学習の導入から課題設定と追究、まとめにいたる構成と記述が一貫している。 						

種 目	社会 (地理分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 6 帝 国	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 理 7 0 3	書 名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標、内容に沿っており、特に地理的な見方・考え方を働かせながら世界や日本の地域的特色捉えられるよう適切に構成されている。 ○ 環境教育、防災、人権・平和教育、少子高齢化など、今日的な課題への対応を多面的・多角的に取り扱っており、歴史分野、公民分野との関連も図っている。 ○ 単元の振り返りでは、章の学習で得た知識を生かして「地理的な見方、考え方」を働かせながら、単元の問いに対する自分の考えを深めたり、説明したりする内容が示してあり、思考力・判断力・表現力を育成できるよう配慮されている。 ○ 地域調査の単元では、テーマの決め方、視点の例、調査手順、必要な技能が系統立てて具体的に示されており、技能が習得しやすいよう配慮されている。 ○ 地域の特色が概観できるイラストや地図や写真が掲載されるなど、取り上げられている内容や資料は適切であり、資料などの出所・出典も明確である。 						
2 組 織 と 関 配 す 列 る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1見開き1単位時間の授業が想定され、年間指導計画にも対応しやすい。本文、写真、図版が統一されたレイアウトで配置され、内容や分量も適切である。 ○ 章・節ごとに単元を貫く問いや具体的な因果関係が分かる本文など、単元が構造化され、見通し、振り返りに基づいた課題解決的学習が展開できるよう工夫されている。 ○ 本文と写真や図版が密接に構成されているため、地理的事象の背景や因果関係を読み取りやすくなっている。 ○ 世界・日本の諸地域の学習において、各地域の文化や産業について歴史的経緯が記載されるなど歴史分野や公民分野との関連を意識した配列・内容になっている。 ○ 日本の諸地域では「地域の在り方を考える」が設定され、SDGsに関連した地域の取組紹介するなど「持続可能な社会の実現」への意識付けが図られている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容が定着するよう、「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という展開で統一し、構造化されている。 ○ 「問い」を構造化し、学習課題を追究していく課題解決型学習の展開を通して、深い学びが実現できるように工夫を図っている。 ○ 主題図やグラフは、活用ポイントが明示され生徒の気づきを促すものとなっている。 ○ 本文の欄外にある用語解説や主題図、統計資料は精選されており、相互の関連が図られるなど学習効果を高める工夫がされている。 ○ 緯度や時差など図版だけでは理解しづらい分野に関しては、QRコードなどの二次元コードの活用や公的機関のURLなどが示され、生徒の理解を促したり、調べ学習や発展学習など主体的な学びを促す配慮がなされている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の姿が実感できる大きな写真とイラストが豊富で、学習する地域を視覚的に概観することができる。 ○ 中学生の発達段階が考慮され、簡潔で読みやすい文章表記であり、活字の大きさも適切で読みやすい書体である。 ○ 本文、資料など難しい漢字など、適宜ふりがなが付けられ、地名、地理用語など、正しく読めるように配慮されている。 ○ 使用の用紙やインクは、環境へ配慮したものが使用されている。 ○ デジタル教科書、学習用デジタル教材、拡大教科書などのサポート体制も充実している。 						

種 目	社会 (地理分野)	発行者の番号・略称	116 日 文	教科書の記号・番号	地理704	書 名	中学社会 地理的分野
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の地理的分野に必要な基礎的・基本的事項が押さえられている。 ○ 社会的事象に関心を高めるような問いを設定し、地理的な見方、考え方を働かせながら課題を追究する内容構成になっている。 ○ 身近なところから課題を見だし、主体的・対話的な学び、地球的課題・地域も課題が設定されており、課題の追究を通して社会参画や持続可能な社会への参画を促す内容が記載されている。 ○ 写真やイラストを効果的に掲載することで、生徒へ具体的なイメージを持たせ、興味・関心を高める工夫がなされている。 ○ 領土や多文化共生等について、歴史的経緯や多様性が適切に記載されている。地図や図版、グラフなどバランスよく盛り込まれ、場所や年代、出所・出典も明確である。 						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 系統的に地理的認識を深める構成になっている。 ○ 生徒が自ら、見方考え方を働かせる事ができるようにするために、各見開きの学習の際に「地理的な見方・考え方」コーナーを設置し、繰り返し学習させる場面を設定している。 ○ 主体的・対話的な学習を促す問いや各コーナーも充実しており、導入→大観→主題学習→振り返りと、学習の流れが構造化しており、課題解決型の学習を進めやすい工夫がされている。 ○ 伝統的分野や持続可能な社会に関する内容が掲載され、生徒の住む身近な地域と比較し追究できるよう工夫されている。 ○ 章の構成、内容量が適切である。 						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返りでは、議論や対話的な活動、シンキングツールを活用した学習など、個人やグループで課題を追究する活動を通して、思考力・判断力・表現力育む内容が工夫されている ○ 自由研究のページでは、今日的課題をとらえた旬な内容の教材が取り上げられており、世界や日本の学習を掘り下げることができるよう工夫されている。 ○ 写真やグラフ資料、コラムなど多様なコーナーも充実しており、生徒の多様な興味・関心を引き出すよう工夫している。 ○ 豊富な事例をもとに知識だけではない、実践的な学びとなるよう災害・防災教育の教材の充実が図られ、生命や安全の確保に主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○ 教科書の内容を助ける画像や動画などのQRコンテンツが掲載され生徒の理解を深めたり、調べ学習や発展学習など主体的な学びを促したり配慮がなされている。 						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の本文以外の資料にも、読み間違えにくく分かりやすいユニバーサルデザインを使用している。 ○ 持ち運びの負担軽減を図れるよう、旧教科書よりも軽い紙を使用し、強度も十分なものとなっている。 ○ 製本がしっかりしている。 ○ 活字の大きさが適切で、読みやすい書体を採用している。 ○ 側中や巻末には、用語・解説も掲載されており、読解に負担がかからないよう配慮されている。 						

種 目	社会 (歴史的分野)	発行者の番号・略称	2 東 書	教科書の記号・番号	歴史705	書 名	新しい社会 歴史
1 記述 内容 関 配 す に 関 配 す 列 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の程度・範囲・資料は適切であり、具体的に記述されている。出典も明確である。研究の動向を踏まえた写真や図が用いられている。 ○ 歴史学習の基礎的な知識・技能の習得のため、「スキルアップ」を充実させ、技能を確実に定着できるよう工夫されている。 ○ 身近な地域の学習や現代の諸課題の学習を通じて、社会の形成に主体的に参画する態度や他者との協働する姿勢を育てる工夫がなされている。 ○ 歴史的な見方・考え方を働かせる学習課題を設定し、知識・技能、思考・判断・表現の能力の育成や定着を図れるよう編集されている。 ○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、領土をめぐる問題の現状や歴史的背景について、本文やコラムで扱い、解決に向けての意識が高められるよう配慮されている。 						
2 組 織 と 関 配 す 列 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代に身近な地域の歴史の学習事例を提示し、郷土の歴史に愛着を持たせるよう配慮されている。 ○ 地理・公民それぞれの分野共通の資料を扱うことで、分野間の学習を意識し、多角的・多面的に学べるように配慮されている。 ○ 1時間あたり見開き2ページを原則として、授業計画を立てやすい構成となっている。各章の配分が適切になされている。 ○ 学習への興味・関心を高める段階・学習を進める段階・学習をまとめる段階と構造化され、学習の流れがとらえやすいようになっている。 ○ 1時間の授業の最後に、知識・思考・表現の力を付けたり、確かめたりする項目を設けて、学びの定着を図る工夫がなされている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 に 関 配 す 列 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他教科においても扱う内容にマークが付されている。また、QRコードを配置して、ICT機器の利用を促し、学びの方法の多様化を意識している。 ○ 宮城県の事例（東日本大震災）が掲載され、生徒の興味・関心を高められるように配慮されている。 ○ 「導入資料」において、生徒の興味や関心を呼び起こし、「読み取る」「考える」というコーナーを設けて多様な学習につなげる工夫がなされている。 ○ 深い学びにつながるよう、見方・考え方の提示、探究課題解決のヒントの提示など学習場面の設定の工夫がなされている。 ○ 単元を貫く「探究課題」の設定、1時間ごとの学習課題と追究・振り返り、単元のまとめ活動を通して「探究課題」の解決をするという構成となっている。 						
4 表 現 と 関 配 す 列 る に 関 配 す 列 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境を考慮して植物油インクや再生紙を使用するとともに、針金とじの製法で製本し、長期間の使用にも十分耐えうるつくりとなっている。 ○ 色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や、色以外の情報で見分けやすいデザインが採用されている。 ○ 写真や図・表の配置を工夫し、資料が見やすいよう配慮がなされている。配色のバランスも考えられている。 ○ 本文と資料の区別を明確にするために、資料の掲載部分の背景に着色がなされていて読み取りやすさが向上している。 ○ 「フラットデザイン」を採用している。また、すべての文字にユニバーサルフォントが使用されている。 						

種 目	社会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	17 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴史706	書 名	中学社会 歴史 未来をひらく
1 記 述 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が親しみを持って歴史の学習を進められるよう、第1章では歴史上の人物や文化遺産など小学校での学びを振り返る活動が設定されている。 ○ 各時代において資料がバランスよく提示され、内容も適切である。出典や出所もはっきりしている。 ○ 言語活動が意識され、各時間の学習のまとめでは、自分の言葉で学びの内容を説明させる場面が設定されている。 ○ 歴史の見方・考え方を働かせる学習について教科書の最初で解説し、これからの学習のツールとして生かせるよう配慮されている。 ○ 特設のページを充実させ、歴史的事象を多面的・多角的に根拠を持って考察できるよう配慮されている。 						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の学習内容をイメージできるような資料を冒頭に配置し、資料の読み解き活動を通して、興味・関心を高めその後の学習に臨めるよう工夫されている。 ○ 各時代ごとに、地域の調査の手法を紹介したり、郷土の歴史・文化・伝統への興味・関心を高められるようなテーマを紹介している。 ○ 基礎・基本の定着を図れるよう章の最後に、学習の振り返りや年表・地図にまとめる作業の課題が設けられている。 ○ 内容の理解や主体的な学習を促すため、1時間ごとに「学習課題（学習の見通し）」と「確認・表現（学習の振り返り）」の項目が設けられている。 ○ 地歴公の3分野を関連させて、より深く社会科を学べるよう構成や内容に工夫がなされている。 						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ QRコードを配置するなどしてICTを活用した学びができるようになっているとともに、歴史を様々な角度から、そして生徒の興味・関心に応じた学習ができるよう配慮がなされている。 ○ 各1時間のタイトルの付け方に工夫がなされ、生徒に課題意識を持たせ、深い学びにつながるようになっていっている。 ○ 本時の学習の振り返りと基礎・基本の定着を図れるよう、「確認」・「表現」という2段階の問いが用意されている。 ○ 生徒が社会について多面的・多角的に考察できるよう、現代社会の諸課題の取り扱いを充実させている。 ○ 資料の読み解きを支援するコーナーが資料を活用する力を育てられるよう工夫されている。 						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 印刷はグリーン電力で発電されたエネルギーで行われ、再生紙・植物油インキの使用で環境に配慮した製本である。 ○ 配色や書体、レイアウトに工夫がなされ、ユニバーサルデザインの視点が取り入れられている。 ○ 資料が大きく配置され、活用しやすくなっている。また、文字の間隔が適切で読みやすくなっている。 ○ 視覚的に時代区分をとらえられるよう、ページが時代ごとに色分けされている。 ○ 学びの連続性を意識し、教科書に対する親しみを持てるよう、教科書のキャラクターが小学校の教科書から成長した姿で登場している。 						

種 目	社会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 6 帝 国	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 0 7	書 名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な技能や資料活用能力を問う問いが設定されているとともに、合わせて多面的・多角的に分析する力を養えるよう編集に工夫が見られる。 ○ より良い社会の創造に参画しようとする態度を身に付けられるよう、過去の人々の日常生活の営みの様子や努力・工夫を学ぶ項目に工夫がなされている。 ○ 取り上げられている資料や内容は適切であり、出所や出典も明確である。また、資料の読み取りのポイントが随所に設けられている。 ○ 人物に焦点を当てて努力や苦勞について学ばせながら、我が国を中心とした歴史に対する理解を深められるよう工夫がなされている。 ○ 当時の社会の課題に対する様々な立場を取り上げて、多面的・多角的に追究させ、それぞれの時代の特色をつかむことができるよう、配慮がなされている。 						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文を補足する図解は、基礎的・基本的な内容の定着への配慮が感じられる。また、特設ページの編集は発展的な学習まで取り組めるよう配慮がなされている。 ○ 地域について興味・関心を高められるよう、「地域史」が設けられており、地域の実態に合わせて、広く活用できるようになっている。 ○ 日本の歴史を系統的に配列して、歴史の流れを大きく把握できるようになっているとともに、それぞれの時代を比較したり疑問点を見出せるようになっている。 ○ 各章そして各節のねらいと内容のまとまりは、各時代の特色をつかみやすいように構成されている。 ○ 1時間見開き2ページを原則としていて、内容・分量は適切である。各所に設けられている「歴史を探ろう」の項目は、各校の年間指導計画に広く対応できるように工夫がなされている。 						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 挿絵、写真、図表が適切に配置されている。 ○ 各時間の見開きページの末尾の「確認しよう」「説明しよう」の項目に取り組むことにより、興味を持って対話的な学びを行ったり、振り返りの活動ができるように工夫されている。 ○ 歴史上の災害や文化史・地域の歴史、人物のコラムが設けられていて、総合的な学習の時間との関連が図られるとともに、防災意識も高められるよう工夫がなされている。 ○ 単元を貫く問いが設けられ、生徒が見通しを持って学習内容の関連を図りながら、学ぶことができるよう配慮がなされている。 ○ 生徒が興味・関心に応じた多様な学習が行えるよう、各節の導入に特設ページが適宜設けられている。 						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図やグラフが識別しやすい色や模様が用いられている。 ○ 環境に配慮がなされ、国産米ぬかを原料としたライスインクの使用や用紙に古紙やフレッシュパルプが使われている。 ○ 生徒が親しみを持って学習に取り組めるよう、イラストや図版が多様で特設ページも多く設定されている。 ○ 文字はユニバーサルデザインが使用され、見やすく大きさも適切である。 ○ 全学年の生徒に対応できるように、表記や表現が工夫されている他、文章が平易で、人物や地名にはふりがなが付されており、配慮がなされている。 						

種 目	社会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	8 1 山 川	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴史708	書 名	中学歴史 日本と世界
1 記 述 関 連 事 項 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代において資料がバランスよく提示されていて、出典や出所も明確である。 ○ 多様な発問により、歴史的な見方・考え方が身に付くよう工夫がなされている。 ○ 歴史学習の導入である「身近な地域を調べよう」の項目は、歴史の学習の進め方を詳細に説明しており、イラストの使用で生徒が理解しやすくなっている。 ○ 各テーマの冒頭にある発問が、教科書本文を読む視点を与えたり、学習への見通しを持たせたりするなど効果的である。 ○ 「ステップアップ」の項目では、更なる課題追究の問いが提示され、その後続く歴史的事象への影響を考えさせるようになっている。 						
2 組 織 と 関 連 事 項 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域からのアプローチ」の項目では、現代における歴史を学ぶ意味を考えさせる工夫がなされている。 ○ 「歴史へのアプローチ」の項目では、テーマに工夫が見られ、歴史的事象を多面的・多角的に考察できるようになっている。 ○ 各章のはじめにおいて、世界史と日本史に関する写真を時代順に上下に分けて配置して示すなど、歴史の流れを視覚的につかませる工夫がなされている。 ○ 1時間あたり見開き2ページの構成で、年間135時間でムリなく学べる配列となっている。 ○ 各章の「まとめ」においては、各時代の流れや特色を確認できるよう、歴史的事象を比較させたり、関係を考えさせたりする問いが設けられている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ QRコードが配置されていて、文化施設のホームページや動画を見ることができるよう工夫がなされている。 ○ 生徒にとって、なじみの薄いや難解な用語について、同じページに詳細な解説が付けられていて、便利である。 ○ 「歴史を考えよう」の項目では、資料に「思考・判断・表現」の力を付けさせる問いが設定され、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がなされている。 ○ 高等学校で扱うような内容のものでも、中学生が分かるよう平易に記述されている。 ○ 高等学校で学ぶ「歴史総合」「歴史探究」の学習につながるよう配慮されている。 						
4 表 現 と 体 裁 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色覚の個人差を問わず、多くの人が見やすいよう、カラーユニバーサルデザインを採用している。環境に配慮して植物油インキと再生紙を使用している。 ○ 図や写真がバランスよく配置されているとともに、生徒に考えさせたい図や写真には発問の欄が設けられ、その時間の学習で着目させたい箇所の示唆を与える工夫がなされている。 ○ 生徒が理解しづらい、経済や社会の仕組み等を図式化して視覚的につかめるよう、工夫がなされている。 ○ 日本の歴史と世界の歴史を関連付けて考えられるよう、各世紀の世界の様子をイラストと地図を使用して紹介している。 ○ 学習内容が日本のことなのか、世界のことなのか判別できるよう、ページの数字部分を2色で色分けし、分かりやすくしている。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6 日 文	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 0 9	書 名	中 学 社 会 歴 史 的 分 野
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「チャレンジ歴史」などの特設ページ」充実させ、資料を活用しながら、多面的・多角的に考察し、課題を追求できるように配慮されている。 ○ 前後の時代の資料を比較したり、年表と世界地図で時間軸と空間軸から時代を捉えたりすることで「思考力・判断力・表現力等」を高められるように配慮されている。 ○ 小学校で学んだ歴史上の人物や文化遺産等を振り返るページを設けることで、生徒が楽しみながら学習を進められるよう工夫されている。 ○ 章末の「アクティビティ」では、習得した知識を関連させて時代の特色を捉える課題学習に取り組むことができ、学習の発展を図る工夫がされている。 ○ 学習内容が習得できるように各時代バランス良く資料が明示されており、出所や出典等も明確である。 						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入単元、各時代の特色を学ぶ単元、未来を構想する学習という流れで構成されており、歴史の大きな流れを捉え、未来を考えることができるよう工夫されている。 ○ 歴史的分野の目標と内容を踏まえて、単元や1単位時間の学習課題が示されており、各時代の特色をつかみやすいように構成されている。 ○ 章全体の学習を振り返り、年表や地図にまとめる作業を通じて、基礎・基本の定着を図る工夫がされている。 ○ 見開き2ページで1単位時間を原則とし、内容、分量ともに適切である。各章に特設ページを設け、各校の年間指導計画に広く対応できるように工夫されている。 ○ 「でかけよう地域調べ」では、時代ごとに人物、史跡、文化財を掲載しており、地域の歴史を調べる手順を学び、主体的に学習を進められるよう配慮されている。 						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返りに短時間の説明や要約で学習内容をまとめる「確認」のコーナーを設け、思考力・判断力・表現力等が高められるよう工夫されている。 ○ 「チャレンジ歴史」では、歴史について自分で考えたり、グループで対話したりすることで主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫されている。 ○ 巻末の「歴史との対話を未来に生かす」では、歴史的分野への関心を高め、知識だけでなく、技能や見方・考え方の習得にも配慮されている。 ○ 小学校社会科や地理的分野、公民的分野と相互に関連した教材や他教科と関連した教材が取り上げられており、横断的な視点で学習できるよう配慮されている。 ○ ICT機器を活用できる資料には「デジタルマーク」を表示し、学習効果が高まるように工夫されている。 						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平易な表現で具体的に記述しており、理解しやすい内容となっている。また、学習している時代を常に確認できるように配慮されている。 ○ 導入資料は生徒の興味・関心が高まるような教材を掲載し、男女の生徒のイラストやコメントを用いて親しみやすく表現されている。 ○ 文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、重要語句は太字、振り仮名は大きめのゴシック体にするなど読みやすい工夫がされている。 ○ 単元や時代の色を統一して示しており、学習している時代や世紀が常にかかるよう工夫されている。 ○ 再生紙や植物油インキを使用している。また、製本には化学物質過敏症の原因物質は使用しないなど環境に配慮されている。 						

種 目	社会 (歴史的分野)	発行者の 番号・略称	227 育鵬社	教科書の 記号・番号	歴史735	書 名	最新 新しい日本の歴史
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を活用し、調べまとめる技能を習得しながら、歴史的な見方・考え方を育成し、課題を追求するための工夫がされている。 ○ 「歴史ターニングポイント」「学習のまとめ」など言語活動の充実を図ることができる特設ページを設け、「思考力・判断力・表現力等」を養うための工夫がなされている。 ○ 「人物クローズアップ」「歴史ズームイン」等の特設ページで人物やテーマに焦点を当てることで、学習意欲を高めながら、理解深めることができるよう工夫されている。 ○ 「このころ世界は」「歴史ビュー」等の特設ページで世界史の視点から我が国の歴史を考察し、日本の歴史と世界の歴史の関連性が理解できるように工夫されている。 ○ 取り上げられている資料は適切であり、出所や出典も明確である。また、各時代の資料がバランス良く配置されている。 						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章ごとに「歴史絵巻」「歴史モノサシ」などの特設ページを設けて、我が国の歴史の大きな流れが捉えやすくなるように工夫されている。 ○ 歴史的分野の目標と内容を踏まえて各章、各節のねらいと内容が構成されており、「○ ○の世界へようこそ」等の特設ページを設け、各時代の特色をつかみやすいように配慮されている。 ○ 各章の「学習のまとめ」では基礎的・基本的な知識の定着への配慮がなされている。また、多様な特設ページにより発展的な学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 見開き2ページで1単位時間の授業が想定されており、年間指導計画に対応しやすい構成となっている。本文や資料等が統一されたレイアウトで構成され、内容や分量も適切である。 ○ 各地域の文化財資料や文化遺産を紹介したり、地域調査の手法について詳しく紹介したりする工夫がされている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページごとに「つかむ」「調べる」「まとめる・表現する」流れで段階的に学習内容を定着できるような構成になっている。 ○ 生徒の興味・関心を高める導入資料が記載されている。また、「つかむ」「調べる」「まとめる」ための資料がバランスよく配置されていて、主体的に課題解決ができるよう工夫されている。 ○ 「歴史ビュー」「歴史ズームイン」など多様な特設ページを設けることで、生徒の多様な興味・関心を引き出すように工夫されている。 ○ 高等学校の教科書に記載されている史料を口語訳し、高等学校で扱う史料に触れさせておく工夫がされている。 ○ 「史料の読み方」「歴史ワクワク調査隊」など学び方の手立てを示す特設ページが設けられている。また、写真や図表等の史料が時代の時代の特色に応じて適切に配置されている。 						
4 表 現 と 関 係 す る 等 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は平易な文章表現で、生徒が理解しやすい内容となっている。また、必要に応じて振り仮名を付けられており、全学年に対応した表記や表現となっている。 ○ 特設ページが豊富で、また、多様なイラストや図版が配置されており、生徒が親しみや魅力を感じながら学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 本文の文字の大きさは適切である。振り仮名にはゴシック体を用いて、小さい文字が誰にでも読みやすいよう配慮がされている。 ○ 図版は明るくメリハリのあるデザインとなっており、生徒が見やすいように配慮されている。 ○ 再生紙を利用したり、印刷に植物油インキを用いたりするなど環境に配慮されている。造本は長時間の使用に耐えられる丈夫な製本となっている。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発行者の番号・略称	2 2 9	教科書の記号・番号	歴史 7 1 1	書 名	ともに学ぶ人間の歴史
		学び舎					
記述内容に関すること	1	○ 世界の歴史を背景に、資料を読み取り、まとめる技能を身に付け、多面的・多角的に考察できるように配慮されている。 ○ 各章の「まとめ」では、身に付けた基礎的・基本的な知識を用いて、歴史的事象を多面的・多角的に考察する力を育成するための工夫がされている。 ○ 各章の導入段階に「テーマ」を設けて生徒の興味・関心を高められるように工夫がされている。 ○ 歴史的事象の具体的な場面や時代を生きる人々の姿など学習内容が焦点化されており、主体的な学習が充実するように工夫されている。 ○ 女性の生き方や庶民の生活、世界から東アジアを見る視点など、多面的・多角的な学習内容となるように工夫されている。					
組織と関係配列すること	2	○ 歴史の流れを大きく捉えられるように、6章10部構成、本編113のテーマで構成されている。 ○ 政治、文化、産業、対外関係、人々の生活などについて焦点化して、各時代の特色を捉えられるよう工夫されている。 ○ 各章末の振り返りでは、基礎的・基本的な学習内容を振り返る問題と表現力を培う課題が配列されている。 ○ 見開き2ページで1単位時間を原則としている。各章に特設ページや振り返りのページを設け、各校の年間指導計画に対応できるように工夫されている。 ○ 「歴史を体験する」では、インターネットでの検索方法を詳しく紹介しており、身近な地域の学習が行えるように配慮されている。					
学習と関係指導すること	3	○ 生徒自らが資料を読み取り、本文を読み進めていくことで、気付きや疑問を持って主体的に学習できるように配慮されている。 ○ 見開き2ページのテーマタイトルの表現が工夫されており、導入で生徒が疑問を持ち、興味・関心を高められるようになっている。 ○ 「歴史への案内」では、博物館での学習の仕方を紹介するなど、生徒の主体的な学習を促す工夫がされている。 ○ 「歴史を体験する」では、調べ学習の方法、調査や話し合い学習の進め方が掲載されており、地理的分野や公民的分野、他教科のにも生かせる内容となっている。 ○ 年表や索引を充実させることで、生徒の主体的な学習を促すことができるよう配慮されている。					
表現と関係体裁等すること	4	○ 本文は生徒が自ら読み進めることができる平易な表現で、気付きや疑問が生ずるような工夫された内容である。 ○ 戦争の被害など歴史の裏側に隠れがちな人々の生活等に焦点をあてることで、生徒の興味・関心が高められるよう工夫されている。 ○ 文字の大きさは適切で、振り仮名はゴシック体で表記するなど読みやすい工夫がされている。 ○ A4版で構成することで、豊富な資料と本文記述が盛り込まれている。色調が統一されていて見やすく印象的な紙面づくりとなっている。 ○ 再生紙、植物油インキを使用し、環境に配慮されており、また、長時間の使用にも耐えられる堅牢な製本になっている。					

種 目	社会 (公民的分野)	発行者の番号・略称	2 東 書	教科書の記号・番号	公民901	書 名	新しい社会 公民
1 記述 内容 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会、政治、経済、国際問題の課題が適切に記述されており、現在の社会問題を考えながら、公民としての資質・能力の基礎を身に付けよう工夫されている。 ○ 東日本大震災からの復興や防災対策などの課題について、具体的な事例を通して、社会参画や人権などの多様な観点から考えさせるなどの工夫がされている。 ○ 中学生が社会参画している事例を取り上げることで、持続可能な社会の形成に必要な一人一人の社会参画について、具体的な事例を通して理解できるようにしている。 ○ 持続可能な社会の形成について、「持続可能な開発目標」を取り上げることで、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるように工夫されている。 ○ 写真やグラフ資料の出所、出典が明示され、領土問題や人権問題などの内容にも偏りがないように配慮されている。 						
2 組織 と 関配 する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「人権・憲法→政治→経済」の流れに配列することで、人権の概念や政治の仕組みを理解し、経済の学習と関連させながら学習を深められるように工夫されている。 ○ 単元全体を貫く「探究課題」と1単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進めることで単元を構造化し、課題解決的な学習を進めやすく工夫されている。 ○ 公民学習の基礎的な知識・技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を設けており、学習に必要な技能を確実に定着できるように工夫されている。 ○ 本文は見開き2ページ1単位時間を原則としており、標準授業時数100時間のうち、5単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能となっている。 ○ 各章の導入で、小学校の既習事項と関連する身近な写真で振り返ることで、小学校から中学校への学習をつなぎ合わせることができるよう工夫されている。 						
3 学習 と 関指 する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各見開きには、短時間の説明・要約などで学習内容をまとめる「チェック&トライ」を設け、思考力・判断力・表現力を高められるように工夫されている。 ○ 小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを設けることで、対話的な活動を効果的に実践できるように工夫されている。 ○ 各単元の学習の冒頭で「見方・考え方」を明示し、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーを設けることで学習を深められるように工夫されている。 ○ 他教科と関連があるページには「他教科関連マーク」を付し、該当教科の教科書を参照することで、学習を深められるように工夫されている。 ○ ICT機器を活用して利用できる箇所には「Dマーク」や「QRコード」を用意し、学習効果が高まるように工夫されている。 						
4 表現 と 関体 する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文のふりがなや参照ページは、可読性を確保したうえで文字濃度を抑え、本文をより読み取りやすくする配慮がされている。 ○ 漫画やイラストなどを豊富に掲載し、生徒が興味・関心を持って学習を進められるように工夫されている。 ○ 教科書で使用している文字は、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、不要な飾りをなくした「フラットデザイン」を採用したりと配慮されている。 ○ 活字の大きさや配置は適切である。また、資料の掲載部分の背景に色を付けて、本文部分と資料部分との区別を明確にすることで、読み取りやすさを向上させている。 ○ 質の高い再生紙や植物油インキを使用し、環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読み取りやすく、色映えするように工夫されている。 						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	17 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 9 0 2	書 名	中 学 社 会 公 民 と も に 生 き る
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民的分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項が明確におさえられている。今日的課題が反映された事象を積極的に取り上げることで生徒の未来社会を切り開くための資質・能力を育むよう配慮されている。 ○ 生徒の日常生活や経験と関連の深い身近な話題や内容が多く取り上げられており、学ぶ楽しさや意欲が高まるように配慮されている。 ○ 年間授業時数をふまえ、各単元の扱いを工夫しながら生徒がじっくり追求しながら充実した学習を展開できるように配慮されている。 ○ 今日的な課題をテーマにした特設ページを多数設けることで、発展的に学習することができるように配慮されている。 ○ 内容や資料に偏りがなく、領土問題については学習指導要領に基づいて、記載されている。また、資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「政治」と「経済」の領域を各二つに分けるとともに、節の区分とタイトルから内容のまとまりを捉えやすいように構成されている。 ○ 本時見開きの左ページ下に、小学校・他教科等との関連を示す「関連マーク」が設置しており、学習の連携や振り返りを図る工夫がされている。 ○ 基礎的・基本的な学習内容を振り返ることができる「学習のまとめと表現」が設けられており、あわせて表現力を培う課題が配列されている。 ○ 各分野の単元構成は、前期・後期の二期制にも配分しやすく配列されている。 ○ 各章の初めのページには、人々の様々な活動写真を掲載し、身近な生活と関わらせて学習内容が想起できるように工夫されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習したことを整理しながらまとめる活動として「確認」が設けられ、学習事項の確実な定着が図られるような工夫がしてある。 ○ 生徒の興味・関心が高まるような、写真・図版などの資料をわかりやすく提示することで、円滑に授業に入れる工夫がされている。 ○ 1時間の学習で、生徒が自ら学び、自ら考える学習ができるように、「学習課題」の設定からまとめの「問い」まで、学習の流れが設定されている。 ○ 災害時の情報活用の現状と今後の展望、社会の安心・安全と「自助・公助・共助」について学習することができる工夫がされている。 ○ 挿絵や写真等は適切に配置されている。掲載されたQRコードは、公的な機関等の公正中立なものに精選されている。 						
4 表 現 と 関 係 す る 等 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワイドで見やすいA B判を採用し、授業展開や学習の見通しがつきやすい1時間見開き2ページで構成されている。 ○ 色覚等の特性をふまえた判読しやすい配色やユニバーサルフォントなどの工夫がされている。 ○ 資料の大きさやバランスが適切である。また、資料を補足する吹き出しの文字は読みやすい開業の工夫が取り入れられている。 ○ 写真・地図・グラフ・図解等の資料が豊富で、視覚的な捉えやすく出典と併せて配列されている。 ○ 印刷には、再生紙と植物油インキを使用し、環境への負担を軽減するように配慮されている。 						

種 目	社会 (公民的分野)	発行者の番号・略称	46 帝国	教科書の記号・番号	公民903	書 名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
1 記 述 内 容 を 詳 述 す こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知識が確実に習得できるように丁寧な本文や基礎的な技能が身に付くように工夫され、公民としての資質・能力の基礎を育成できるように配慮されている。 ○ 教科書の最後のページで中学生も参加している防災・減災の取り組みが掲載され、生徒の参画意識を高めるように工夫されている。 ○ 本文は社会的事象の背景や因果関係までわかるようにするなど、丁寧にわかりやすくなっている。また、平易な表現にするなど、中学生の発達段階が考慮されている。 ○ 現代社会の見方・考え方を各部の本文のページで丁寧に解説している。さらに、特設ページでは意見交換を通し、深い学びを実践できるように工夫されている。 ○ 本文の記述を補足する写真や図表などが豊富に掲載され、内容も適切で、学習を深められるように配慮されている。 						
2 組 織 と 関 配 を 詳 述 す こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「章の学習を振り返ろう」では、「章の問い」に対して社会的な見方・考え方を働かせて考えるステップなどにより、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。 ○ 単元を貫く学習課題や各章の学習の振り返りというように単元が構造化され、見通し・振り返りに基づいた単元の学習を確実に実践できるように工夫されている。 ○ 具体例を交えた本文やそれを補足する図解などによって、基礎的・基本的な学習内容が定着し、補充的な学習を行いやすく工夫されている。 ○ 1見開きは1単位時間の授業が想定され、授業数は標準授業時数100時間のうち97時間を活用する配当で適合している。また、予備時間は3時間設けられている。 ○ 中学生も参加している防災・減災の取り組みが掲載され、生徒の参画意識を高めるように工夫されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 を 詳 述 す こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章・節の始めに学習する内容を問いの形式で示すことで、主体的に学習するための見通しを持って学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 「章の学習を振り返ろう」では、学習した知識をもとに、主体的・対話的に振り返ることで、「深い学び」につなげられるよう配慮されている。 ○ 章の導入として、学習内容を見通すことができるイラストで構成した「学習の前に」が設けられ、興味・関心を高めてから学習に入ることができるように工夫されている。 ○ 消費者と経済で家庭科と関連した内容を取り上げるとともに、「対立と合意」「南北問題」等で、道徳的な内容が関連付けられている。 ○ QRコードで学習内容に関連する動画や「章の学習を振り返ろう」の解答などが閲覧でき、生徒が自学自習しやすいように工夫されている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 を 詳 述 す こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの漢字に振り仮名が付けられており、生徒がスムーズに学習に取り組むやすいように配慮されている。 ○ 中学生のキャラクターが各ページに配置され、発問や気づき、学習の手がかりや示唆などを提示することで、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 見開きのデザインや、グラフ・地図などの資料には、色覚特性をもつ生徒も識別しやすい色や模様を使用され、カラーユニバーサルデザインに配慮がなされている。 ○ 各見開きのデザインは、生徒が学習しやすいように本文、資料、側注などが統一されたレイアウトで整理するなど工夫されている。 ○ 強度があり、かつ重量の軽い製本となっており、再生紙を使い、インクもライスイキが使用され、環境保全と地産地消への配慮がなされている。 						

種 目	社会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6 日 文	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 9 0 4	書 名	中 学 社 会 公 民 的 分 野
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知識・技能を確実に習得し、社会的事象を多面的・多角的に考察する態度を養うことで、幅広い知識と教養を身につけることができるように工夫されている。 ○ 東日本大震災を取り扱い、自助・共助・公助の観点から、持続可能な社会と関連付けて復興に向けて考えさせるなど工夫されている。 ○ 連携コーナーを導入ページ学習の始めにに設けて、小学校社会科における公民的分野に関わる学習内容を、学習した学年も含めて再確認できる構成されている。 ○ 「私たちと現代社会」は、公民全体の導入と明確に位置づけており、少子高齢化、情報化、グローバル化という現代日本の課題を捉えやすいように工夫されている。 ○ 領土、伝統文化、環境・エネルギー、防災等に関する内容が適切で、資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会、政治、経済、国際社会、私たちの課題の順で配列されており、身近な事象から、国際的な事象へと発展した学習に取り組めるように工夫されている。 ○ アクティビティでは、習得した知識を使い見方・考え方を働かせながら考察する問いを設けており、主体的・対話的で深い学びの学習が工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着をねらいとした学習活動や自分の考えを説明させる問いが提示されており、学力の定着が図られるよう工夫されている。 ○ 学習指導要領が示す公民的分野の授業時数100時間の内、90時間の授業時数で学習が完結でき、各学校の年間指導計画に対応できる分量となっている。 ○ 特設ページ「明日に向かって」を設けることで、身近な地域の課題を想起させ、社会参画の手掛かりとすることができるように工夫されている。 						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の流れが構造化されており、「知識及び技能」の習得のうに、「思考力・判断力・表現力」を身に付けるように工夫されている。 ○ 随所に問いや活動を設けて、生徒がグループ活動等を通して主体的に学習を行うための教材やシンキングツールを豊富に紹介するなど工夫している。 ○ 生徒に応じて学習できるように、発行者ウェブサイト上で公開している動画や資料、ワークシート等の教材に生徒が主体的にアクセスできるように工夫されている。 ○ 「法教育」「主権者教育」「消費者教育」「キャリア教育」など社会とのつながりや、道徳科との関連について関心・意欲を持って学習できるように工夫されている。 ○ デジタルマークを設け、発行者ウェブサイト上で公開している動画や資料、ワークシート等の教材に生徒が主体的にアクセスできるように工夫されている。 						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は平易な文章で具体的に記述しており、読みまちがいのおそれがあるものや地名・人名等について振り仮名を付して、読み取りやすく配慮されている。 ○ 図版は、生徒が興味を持てるような内容で、本文との関連が的確で、抽象的な概念や社会のしくみを具体的にイメージできる資料が豊富に掲載されている。 ○ 文字は、視認性の高さで実績のあるユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、重要語句は太字にして、全てふりがなが付されている。 ○ 地図・グラフ等の図版類は、カラーユニバーサルデザインに対応した配色にするほか、形や模様、線の種類など、色以外の情報でも識別できるように配慮されている。 ○ 堅牢なあじろ綴じを採用し、良質で軽い紙を使用して重量をおさえるとともに、十分な強度で裏写りが少なくなるよう配慮されている。 						

種 目	社会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 5 自 由 社	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 9 0 5	書 名	新 し い 公 民 教 科 書
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会に対する関心を高め、現代の課題について社会的な見方・考え方を働かせながら課題を追求したり、解決したりすることができるよう配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な内容から発展的な内容へと系列的に配列され、「思考力・判断力・表現力等」が育まれるように工夫されている。 ○ 実生活に関連する身近な社会的事象について、写真やイラストを用いて資料を提示することで学習内容への関心を高めさせるように工夫されている。 ○ 内容が精選されており、「もっと知りたい」等の特設ページを設けることで、発展的な学習ができるように配慮されている。 ○ 領土問題など現代社会の諸問題について具体的に取り上げ、複数の考え方が併記されている。また、資料の出所、出典が適切に明示されている。 						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会、政治、経済、国際社会、持続可能な社会の順で配列されており、系統的・発展的に学習を進めることができるよう配慮されている。 ○ 公民的分野の目標を踏まえて、見開き2ページの見出しの下には学習のねらいが明確になるような問いが明示されている。 ○ 各章では、基礎的・基本的内容が習得できるように構成されている。「もっと知りたい」では、発展的な学習を主体的に進められるように配慮されている。 ○ 1単位時間が見開き2ページ構成となっており、特設ページを設けることで、発展的な学習を年間指導計画に組み込むように配慮されている。 ○ 身近な地域の伝統文化を取り上げることで、自分事として学習に取り組むさせる工夫がされている。 						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章、節、見開きページの冒頭に問いを設け、生徒自身が見通しを持って学習できるように配慮されている。 ○ 「アクティブに深めよう」では、グループでの話し合い活動や対話を通して考えを深められるように配慮されている。 ○ 章末の「学習のまとめと発展」では、基礎的・基本的な語句の確認から、文章で表現する発展的な課題を取り上げており、多様な学習に対応できるよう配慮されている。 ○ 「男女の平等」「日本の文化」「対立と合意」などの学習を通して道徳的態度を養うことができるよう配慮されている。 ○ 写真や図表は大きさや色彩が適切で、重要語句や難解な語句を補足するなど生徒の理解を助けるための配慮がされている。 						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 難しい内容には補足的な解説がつき、生徒にも理解しやすくするように工夫されている。また、振り仮名を付けて、読みやすくなるように配慮されている。 ○ 単元の表題がシンプルで、イラストが付きのコメントが中学生に受け入れやすい物になっている。また、単元ごとに色分けされ、活用しやすいように工夫されている。 ○ 色彩や印刷は鮮明である。重要語句を太字にしたり、補足内容は小さいサイズで表記するなど、表現が工夫されている。 ○ 本文に対する図表や写真の精選や補足内容の解説のレイアウトが適切で、生徒にとって理解しやすいように工夫されている。 ○ 製本は、堅牢で長期間の使用に耐えられるように工夫されている。また、見開きしやすい作りとなっている。 						

種 目	社会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 7 育 鵬 社	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 9 0 6	書 名	【最新】 新しいみんなの公民
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民としての基礎的教養を培うために厳選された教材・資料を通じて、社会の変化や課題を多面的・多角的に考察することができるように配慮されている。 ○ 小学校の学習内容を各章の扉で、地理的・歴史的分野の学習内容は該当する見開きで紹介することで、小・中の系統性と3分野の関連性を高める配慮がされている。 ○ 図やグラフ、写真等には解説を付けるなど、生徒が興味・関心を持って学習できるように工夫されている。 ○ 表紙裏には「持続可能な開発目標」を特集するなど、現代社会を学ぶ上で必要な内容に重点を置く配慮がなされている。 ○ 国際問題では、日本と他国の主張を比べ、年表で経緯を提示するなど、主体的に考えようとする態度を育成できるように工夫されている。 						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決型の学習の流れを「つかむ、調べる、まとめる」と明確にし、生徒が幅広い知識を身に付け、公民として正しい姿を養えるように配慮している。 ○ 学習課題と振り返りを重視しており、各章では「入り口」と「これから」を設け、各章のねらいを捉えさせるように工夫されている。 ○ 単元の最後に重要な語句を確認させ、自分の言葉で単元のまとめを行えるようにすることで、思考力・判断力・表現力を高められるように工夫されている。 ○ 授業1時間の内容・分量が適切であり、発展的な学習課題を指導計画に取り入れられるように配慮されている。 ○ 身近な課題を各章の「入り口」で考えさせるように配列されており、生徒の学習意欲を引き出す工夫がされている。 						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」等のコーナーを設け、グループによる話し合いやディベートにとり組ませ、思考力・判断力・表現力を高められる学習ができるように工夫されている。 ○ 「対立と合意」「公立と公正」の考えに基づく合意形成の重要性を学ぶ事例教材を通して主体的・対話的で深い学びができるように配慮されている。 ○ 生徒の個性や能力に応じたアクティビティーを設けることで、個々の考えを共有させ学ぶ喜びを得ることができるよう工夫されている。 ○ 「男女の平等」「日本の文化」等の学習内容を通じて、道徳的価値を高め、道徳的実践力を養うことができるように配慮されている。 ○ 取り扱う写真や図表によって大きさを適切に変えたり、生徒にとって難しい語句に解説を付けるなど、生徒の理解を助けるための配慮がなされている。 						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は平易な文章で、生徒が理解しやすいように表現されている。また、難しい語句について振り仮名を付して、読み取りやすく配慮されている。 ○ 中学生のキャラクターを入れて、考えるポイントをアドバイスするなど、親しみやすい工夫がされている。 ○ 活字の大きさや字体が適切で、鮮明に印刷されている。また、振り仮名はゴシック体を用いており、生徒が見やすいように配慮されている。 ○ 資料やグラフの大きさや色彩が効果的に使われており、生徒が見やすいように工夫されている。 ○ 一部に再生紙を使っており、植物油インクで印刷するなど、環境に配慮されている。また、長期間の使用に耐えられる丈夫な製本となっている。 						

種 目	地 図	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 図 7 0 1	書 名	新 し い 社 会 地 図
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書との連携が図られており、学習内容を補完したり、より深めたりする資料が豊富に取り上げられていて教科書の資料集としての役割ができる。 ○ 資料の読み取りのポイントや見方・考え方を示したキャラクターの吹き出しが設けてあり、資料の理解を促し、考察を深めることができるように工夫されている。 ○ 日本の郷土料理や伝統工芸品、世界遺産を取り上げた地図や写真を掲載し、日本の伝統や世界に誇れる文化財に触れ、日本文化の理解を深めることができる。 ○ 社会科の課題解決的な学習を深められるように、資料がバランスよく掲載してある。授業で時間をかけて扱われる地域については、より多くの資料を取り上げている。 ○ 防災や環境など、現代社会の諸課題に関する資料が豊富にあり、出所や出典が明示されている。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的分野の学習の流れに沿って、構成されている。歴史的分野や公民的分野の教科書の本文を補完する資料が掲載されており、学習効果が高まる工夫をしている。 ○ 基礎的・基本的な知識を習得できるように、基礎的資料が適切に掲載されている。 ○ 内容や分量は適切であり、各地域・テーマごとに資料が掲載され、各学校の年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 世界の一般図は、陸地だけでなく、随所に海洋にも着目した地図を掲載することで、地球全体の姿を的確に捉えることができるようにしてある。 ○ 教科書の学習内容に合わせた掲載範囲になるように工夫されている。また、地方ごとに生活に密着したテーマ資料が掲載されている。 						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本との結びつきが強い世界の地域には、見開きの鳥瞰図が掲載されている。海底地形まで表現することで、生徒が関心をもって取り組めるような工夫がされている。 ○ 地理的分野を中心に、教科書の本文や資料を補完したり、より深める資料が取り上げられたりするなど、主体的・対話的で深い学びに活用しやすいように配慮されている。 ○ 他の教科や総合的な学習の時間との関連を図りやすい資料が豊富に掲載されている。 ○ 日本で起こりやすい災害や過去の公害に関する資料を豊富に掲載し、災害への対策等を考えることで、防災・安全の意識を高めることができる工夫がされている。 ○ ICT機器を活用して利用できる資料にDマークが付けられ、より多くの資料等を収集し、活用することができるような工夫がしてある。 						
4 表 現 と 関 連 す る こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルフォントが使用されている。振り仮名には、読みやすいゴシック体が採用されていて読み取りやすさが向上している。 ○ 色覚特性がある生徒にも見分けやすい色が使用してある。また、文字を縁取りしたりして情報が読み取りやすく配慮されている。 ○ 色覚的効果が高い幅広の判型を用い、資料を豊富に掲載するとともに写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になるように工夫されている。 ○ 生徒の関心の高い身近なテーマの資料を多く掲載し、生徒の発達の段階に応じた興味・関心を高めるように工夫されている。 ○ 糸がかりとじで製本されており、造本は堅ろうで長期間の使用にも耐えるものになっている。また再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮されている。 						

種 目	地 図	発行者の番号・略称	46 帝 国	教科書の記号・番号	地図702	書 名	中学校社会科地図
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的分野の学習指導要領の目標・内容に沿っている。また、歴史的分野と公民的分野の学習においても活用できる内容である。 ○ 生徒が主体的に学習し、資料活用能力を高められるコンテンツが収録されている。 ○ 小学校用地図帳の作業コーナーを発展、進化させる形で「地図活用」が設置され、地図帳の使い方や地理的な見方・考え方が系統的に身につくよう配慮されている。 ○ 3分野の横断的な学習内容の充実を図るために必要な基礎的・基本的な資料が掲載されている。 ○ 「日本の自然災害・防災」の特設ページが設けられており、日本の災害とそれらへの対策が理解できるようになっている。 						
2 組 織 と 関 配 す 列 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界は州別に、日本は地方ごとに構成されている。資料は、地域の特色が適切に理解できる題材が選定されている。 ○ 巻末にまとめて統計資料が掲載されており、色分けされているため地域の特徴や違いなどを的確に捉えることができよう配慮されている。 ○ 日本の各地方図は、縮尺が統一されており、他の地方との比較等、発展的に活用できるように工夫されている。 ○ ページの右端に、州名や地方名を記したインデックスが設けられ、生徒が探しやすいように配慮されている。 ○ 環境を中心に、持続可能な開発目標（SDGs）の観点に基づいた資料が豊富に掲載されている。 						
3 学 習 と 関 指 す 導 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問い「地図活用」が設定されており、それを活用することによって、地図の読み取りなどの地理的技能を身につけることができる。また、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習に活用できる。 ○ 地図帳の基本的な使い方・見方がわかりやすく解説されており、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がある。 ○ 自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図があり、地域的な特色を視覚的に捉えられるように工夫されている。 ○ 「防災」マークがついた資料図が多数掲載されている。復旧・復興の視点も取り上げられ、他教科や領域の学習にも活用できるように配慮されている。 ○ 生徒が、地図帳を主体的に活用できるように、QRコードが設置されている。 						
4 表 現 と 関 体 す 裁 る 等 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開いているページの地域が、世界・日本のどのあたりに位置するかわかるように地図ページに位置図が掲載されている。 ○ 生徒の興味・関心を高め、地域の姿を具体的にイメージできるように鳥瞰図が世界各州ごとに掲載されており、地図に親しみやすいように配慮されている。 ○ ユニバーサルフォントが使用されている。また、地図を読み取りやすくするため、5色刷りで印刷されている。 ○ A4版の大きさを生かし、広範囲に表現されている。地域を学ぶ際に適切な図取りとなるよう配慮されている。 ○ ページの落丁を防ぐために、糸かがりの方法が用いられている。折り込みページが切れ落ちることのないように製本されていて長期の使用に耐える工夫がある。 						

種 目	数 学	発行者の番号・略称	2 東 書	教科書の記号・番号	数学 701 801 901	書 名	新しい数学1 新しい数学2 新しい数学3
1 記述内容 関連すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「章とびら」では、日常生活と関連する題材を用い、学習意欲を高める工夫がある。また、学習を通して育みたい資質・能力や学習内容が分かるように工夫されている。 ○ 吹き出しをつけて、学習への見通しを立てたり、振り返ったりする意識づけを図っている。生徒が数学的な見方・考え方を働かせ、主体的に考えさせるように、「虫めがねマーク」をつける工夫もされている。 ○ 各学年とも、最終ページに「学びのつながり」を設け、1年間の学習内容と前学年までの学習内容を確認でき、いつでも学び直しができるように配慮されている。 ○ Dマークの箇所では、インターネット上のデジタルコンテンツを使って学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 素材や場面は、現代的な諸課題の視点で、国内のできるだけ広い範囲から取り上げられており、出所、出典も明らかである。 						
2 組織と 関連すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章を貫く題材が多く用いられ、学習の連続性を実感でき、学習の効果があがるように配慮がされている。 ○ 各章や各節のねらいが明確に示されており、学習に見通しを持って取り組めるように配慮されている。 ○ 例題と類似の問に◆マークをつけており、例題の理解の確認ができるように配慮されている。また、巻末に問の類題「補充の問題」を設け、基礎的・基本的な知識や技能の習得を図るように配慮されている。さらに、章の問題Bで発展的な学習が進められるように配慮されている。 ○ 問題数や問題の難易度とも、ねらい達成に適切である。巻末の「補充の問題」の問題数も豊富で、個に応じた指導が効率的に行えるように配慮されている。 ○ 様々な教育課題に数学を活用する題材が多く提示され、生徒の生活や各地域の実態に広く適合できるように配慮されている。 						
3 学習と 関連指導すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「大切にしたい数学の学び方」や「ノートづくり方」を示し、問題解決の仕方や主体的な学習を促す配慮がされている。また、「学びを振り返ろう」が位置づけられ、一人一人が学んだことを自分の言葉で説明するように促す配慮もされている。 ○ ほぼ全ての章に「深い学び」のページが設定され、側注に示されている問題解決の過程に沿って、主体的・対話的で深い学びが実践できるように工夫されている。 ○ 数学が実社会で活用されている例を紹介する「学びをひろげよう」や、巻末の「数学の自由研究」、「補充の問題」において、生徒の興味・関心や習熟度に応じた学習が進められるように配慮されている。 ○ 他教科と関連する題材には、「他教科」のマークがつけられ、学習内容と関連のある教科書の紙面を見ることができるよう配慮されている。 ○ 学習の補助となる「シュミレーション」「動画」「他教科リンク」は、巻頭のQRコードからアクセスできるデジタルコンテンツが利用できるように配慮されている。 						
4 表現と 関連する等 こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表記、表現は、生徒の発達段階に応じた分かりやすい内容でコンパクトにまとめられている。 ○ 生徒が興味を抱いたり、社会とのつながりを実感したりする題材、臨場感のある写真や挿絵は、生徒が親しみや魅力を感じるように配慮されている。 ○ 文字の大きさ、行間などは読みやすい。色数が少なく、シンプルなデザインとなっており、学習に集中できるように配慮されている。 ○ 図表の大きさや配置は適切で、紙面にゆとりがあり、書き込みやすいように配慮されている。 ○ 製本は開きやすく、長時間の使用に耐えられるようにしている。環境に優しい再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用するなど、環境や健康に配慮している。 						

種 目	数 学	発行者の番号・略称	4	教科書の記号・番号	数学 702 802 902	書 名	数学の世界1 数学の世界2 数学の世界3
			大日本				
1	記述内容に関すること	○ 導入などにおいて、身近な事柄が扱われており、生活の中での数学的な見方や考え方を伸ばすような工夫がされている。 ○ 小中一貫教育を意識した記述になっており、扱う内容や表現など、生徒が受け入れやすくなるような工夫がされている。 ○ 数の広がりや地震のエネルギーの大きさ、音楽の旋律など、数の概念や数学の学習が発展してきた過程を知ることができ、生徒の興味を高めるように工夫されている。 ○ 各章に「活動」の項目があり、数学的活動を意識している。また、それを通して数学的な表現力や思考力・判断力を伸ばす工夫がされている。 ○ 「社会にリンク」により、社会や職業と数学とのつながりを感じさせるなど、数学の学習がより身近に感じることのできる工夫がされている。					
2	組織と関係に関すること	○ 各領域とも学年間の系統性が考慮されており、学習効果があがるように、それぞれの学年においても領域間における構成が配慮されている。 ○ 「めあて」がはっきり示されており、生徒が学習を進める上での見通しが立ち、過程についてもその必要性が理解しやすい。 ○ 小学校での算数の学習からの移行を強く意識しており、要所要所で小学校での既習事項の学び直しができるように配慮されている。 ○ 各章の「○○の利用」では、「課題発見」から「課題解決」、「深める」までの過程が明確に示され、深い学びとなるように配慮されている。 ○ 巻末では、高校で学習する具体的な内容にも触れており、中学校では扱うことのできなかった考え方への興味を高める工夫がされている。					
3	学習と関係に関すること	○ 本文ページ内の側注に、生徒にとって覚えておいた方がよいものが掲載されているなど、主体的な学習を促す配慮がされている。 ○ 「学びにプラス」、「MATHFUL」などで、より身近なものや他教科との横断的な内容も扱われており、数学の学習への意欲を高められるような工夫がされている。 ○ 章末や巻末に補充問題や発展問題などが豊富に掲載され、生徒の能力に広く対応できるように工夫されている。 ○ データ活用の領域では、実際のもを多く用いており、今後、生徒が調査活動や研究レポートを作成する際のよき例示となっている。 ○ 巻頭にQRコードがあり、そこからWEBサイトにアクセスできる。シミュレーション等はシンプルで見やすい。					
4	表現と関係に関すること	○ 1学年のものは各ページの文字数が少なくある程度の余白があるなど、学年に応じた体裁になっている。 ○ 課題解決の方向性について考えを示す人物は、外国人も頻繁に登場するなど、生徒が親しみを感じるように配慮されている。 ○ 使用する文字の大きさを1年と2、3年で変え、小学校算数や高等学校数学の教科書のギャップ解消に配慮されている。 ○ 巻末に「1年のまとめ」があり、レイアウトも適切である。小さく折りたたんで携帯しやすいように工夫されている。 ○ 表紙は学年毎に鮮やかな色遣いで親しみがわくようになっており、本文のページはシンプルな色遣いで書き込みがしやすい用紙を使用している。					

種 目	数 学	発行者の番号・略称	1 1	教科書の記号・番号	数 学 7 0 3 8 0 3 9 0 3	書 名	中学校数学 1 中学校数学 2 中学校数学 3
			学 図				
1 記 述 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的活動を多く取り入れるとともに、それを通して基礎的・基本的な内容が確実に定着できるように工夫されている。 ○ 「数学的活動」では、大まかな手順が示されており、その後に様々な事柄を考察する際の参考となっている。 ○ 「○章を学んで」を設け、それぞれの章での学習内容について自己評価させるとともに、学習意欲を向上させる工夫がされている。 ○ すべての章において、「問題発見」や「解決への見通し」など、系統的に学習を進める構成であり、学習の充実が図られるように工夫されている。 ○ 資料は学習内容に適したもので、出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各領域の学習に入る前に「ふりかえり」があり、小学校や全学年での既習内容が確実に定着するように工夫されている。 ○ 目次に「小学校で学んだこと」や「○年で学んだこと」などの表記があり、それぞれの章の学習に入る際に既習事項の振り返りができるように工夫されている。 ○ 学習を通して生徒が抱くであろう素朴な疑問に対して、「Tea Break」で答えたり、「トライ」や「深めよう」で高校での学習の手がかりを紹介したりするなど、発展的な学習を進められるように配慮されている。 ○ 関連のあると思われる内容については、学年にこだわらずに柔軟に配列されており、発展的な内容として扱うことができる。 ○ 「今の自分を知ろう」でSDGsに触れて国際的な課題に取り組むことができるとともに、パフォーマンス評価にもつながるなど、気仙沼市の取組ともリンクする。 						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2次方程式の解法の学習順など、生徒が問題を解く際の手順を重視した構成になっており、主体的な学習態度の形成を進められるように配慮されている。 ○ 章のとびらでは、身近な事柄の中でも、できるだけ簡単なものを扱い、より多くの生徒が関心を持てるような工夫がされている。 ○ 小単元ごとの「次の課題へ！」により、小単元の自己評価や次の学習への見通しが立つように工夫されている。 ○ 全国学力・学習状況調査やPISA調査などの結果を踏まえ、生徒のつまずきの補充を意識した構成となっている。 ○ 巻頭と関係する章末にQRコードがあり、そこからWEBサイトにアクセスできる。アプリのインストールが必要なものもある。 						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ スモールステップでの目標を枠囲みにしたり、問題の番号はゴシック体にしたりするなど、見やすさを考慮した表記となっている。 ○ 本文中の生徒は男女ともに「～さん」としたり、言葉遣いも男女共通にしたりするなど、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ○ 教科書での作業がしやすいように、本文のページはあまり光沢がなく、適度なざらつきのある用紙を使用している。 ○ 教科書に直接作業する図や表は、周囲の余白も多く、ページの外側に配置するなど工夫がされている。 ○ 製本は開きやすく、堅ろうである。 						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	17 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数学 704 804 904	書 名	中学数学 1 中学数学 1 中学数学 1
1 記 述 内 容 を 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の折り込みを開くと、どのページを学習していても数学的な見方・考え方の一瞥を見ることができようになっており、数学科の目標達成のための工夫がされている。 ○ 前後見返しの「社会で活躍する数学！」(1年)「点字のしくみ」(2年)を紹介し、最先端科学技術や社会福祉と数学とのつながりを取り上げることで、数学を学ぶ意義を実感できるように工夫されている。 ○ 章末や巻末の「数学の広場」で、日常生活や実社会に関連する話題や課題、学習したことを更に探究する課題が紹介されており、学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 巻末に基礎的な問題(補充問題)と、やや難易度の高い問題(実力アップ問題)が設定されており、学習の習熟に応じて、充実と発展が図られるよう工夫されている。 ○ 資料や図は学習内容に適したものが精選されており、出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章において「学習する前に」(既習事項の確認)と「章のとびら」「Let's Try」(導入課題)、節末の「学習のまとめ」、章末の「章の問題」で配列させており、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 小節ごとに学習のねらいが明示してある。各頁の側に、関連する既習事項「もどって確認」や関連する豆知識「数学メモ」が示されており、学習がひろげられるように工夫されている。 ○ 「例」、「例題」、「問」の間に「たしかめ」を設定し、スモールステップで確実に理解させるように工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な内容や発展的な内容の他に、補充的な問題も充実しており、各学校の年間指導計画に広く適合できるように配慮されている。 ○ 身近な課題や教材が、巻末等に配列されており、生徒の生活にも対応できるように配慮されている。 						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「章のとびら」で生徒の素朴な疑問を引き出し、課題を主体的に解決していくように工夫されている。また、学習したことを活用して課題を解決していくことで思考力・判断力・表現力等が育成できるように配慮されている。 ○ 重要な問いに「？」を示し、疑問を持ちながら学習を進められるように工夫されている。問題解決のプロセスを示し、生徒から多様な考えが出てくる問題を取り上げ、主体的・対話的で深い学びが実践できるよう工夫されている。 ○ 巻末の「補充問題」「数学の広場」「実力アップ問題」等、基礎から応用までの問題が豊富であり、生徒の多様な能力に対応している。 ○ 教材として、ばねの伸び(理科)や黄金比(美術)などを取り上げ、他教科との関連に配慮している。 ○ デジタルコンテンツ「まなびリンク」では、正多面体を回転させて観察したり、図形の移動にともなう変化をグラフとともに確認したりして学習理解を深めることができる。QRコードからアクセスできるように配慮されている。 						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文節のまとめたりなどの読みやすい位置で改行されたり、文章表現を分かりやすく簡単にまとめたりすることで、理解しやすいよう工夫されている。 ○ 生徒の疑問や理解できたことをキャラクターの吹き出しとして示すことで、生徒が数学に親しみを持てるように工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインを取り入れることで、読み間違いや、色覚の個人差に配慮されている。 ○ 図、表はカラーで区別ができるように配慮されている。また、見やすいように配置されている。 ○ 再生紙と植物性インキを使用し、地球環境へ配慮している。また、本文用紙は軽量化も図られている。 						

種 目	数 学	発行者の番号・略称	6 1 啓林館	教科書の記号・番号	数学 7 0 5 8 0 5 9 0 5	書 名	未来へひろがる数学 1 未来へひろがる数学 2 未来へひろがる数学 3
1 記述内容 関容すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめに毎に、その学習で使った数学的な見方・考え方を確認できるようにページの下部に「虫眼鏡」として設定し、見方・考え方を意識させることで身に付くように配慮されている。 ○ 身近な題材を取り上げることで、数学の有用性を感じさせながら主体的に学習に取り組む、数学のよさを感じることが出来る内容になっている。 ○ 章末等に設定されている「数学ライブラリー」では、身のまわりなどで数学が活用されている場面が紹介されており、学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 巻末の「もっと練習しよう」、「学びをたしかめよう」(補充問題)や「学びを身につけよう」(応用問題)が設定されており、学習の習熟に応じ、充実と発展が図られるよう工夫されている。 ○ 資料や図は学習内容に適したものが精選されており、出所、出典も明示されている。 						
2 組織と 関配すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項を基に新しい学習へ発展させる「ひろげよう」や、既に学習した内容に関連する内容を確認する「ふりかえり」を通して、学習の連続性を意識させることで学習効果があがるように配慮されている。 ○ 小節ごとに学習のねらいが明示しており、各章、各節にまとめのある配列になっている。 ○ 「例」、「例題」、「問」、「練習問題」の順に設定し、スモールステップで学習内容を確実に定着させることができるように工夫されている。 ○ 「みんなで学ぼう編」では基本的な問題、「自分で学ぼう編」では応用的な問題が設定されていることから、個々の生徒の習熟に応じた学習が可能であり、各学校の年間指導計画にも広く適合できるように配慮されている。 ○ 「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の2編で構成されており、学校での学習と家庭等校外での学習の両方を深められるように配慮されている。 						
3 学習と 関指すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えを表現できる場面として「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」を設定し、対話的な学習を通して、思考力、判断力・表現力等が育成できるように工夫されている。 ○ 「？」では、教科書とは別の考え方を考えたり、新たな疑問を見出したりする視点が示されており、主体的・対話的で深い学びが実践できるよう工夫されている。 ○ 「自分から学ぼう編」の「学びのあしあと」では、学びの記録を残すことができるように配慮されており、進んで学んでいくことの楽しさを実感する工夫がされている。 ○ 「学びをいかそう」では、理科との関連として、雷の音の伝わる速さ、食塩水の濃度などを取り上げるなど、他教科との関わりに配慮している。 ○ 無料の動画コンテンツ「Math Navi」で、1年から3年までの教科書に掲載されている。すべての「例」、「例題」の解説を視聴することができる。QRコードからアクセスも可能である。 						
4 表現と 関体すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の文章は、意味や文節で改行されたり、文章表現を分かりやすく簡単にまとめたりすることで、理解しやすいよう工夫されている。 ○ 生徒の心情を考慮して、「ひろげよう」では「～表しましょう」のように文末をやわらかい表現にするなど親しみを持てるように工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインを取り入れることで色以外でも情報を伝えるなどの工夫がなされている。 ○ 生徒が課題を解決する際の思考のヒントになるように図、表やグラフのレイアウトが工夫されており、配色のバランスも適切である。 ○ 再生紙と化学物質をおさえた植物性インキを使用し、地球環境やアレルギーへ配慮している。 						

種 目	数 学	発行者の番号・略称	104	教科書の記号・番号	数学	706 707 806 807 906 907	書 名	これからの数学1 これからの数学1 探究ノート これからの数学2 これからの数学2 探究ノート これからの数学3 これからの数学3 探究ノート
			数 研					
1	記述内容に関すること	○ 生徒キャラクターによる問題解決場面が対話形式で掲載されていることにより、数学的に問題解決を図る流れに目が向くよう工夫されている。 ○ 章初めに、その章で学ぶ内容に関連した既習事項を確認できる「ふりかえり」が設けられており、系統性を押さえスムーズに学習が進められるよう構成されている。 ○ 学びをガイドするキャラクターが与える考え方のヒントや学びを深めるきっかけにより、生徒が主体的・意欲的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 各章には「確認問題」「章の問題」及び「やってみよう」「調べよう」、巻末には「数学旅行」など、豊富な課題が設定されており、学習の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 ○ 扱っている内容は、全国の話題や科学的なもの、福祉の内容のもの等、偏りがなく、資料の出所・出典が明示してある。						
2	組織と関連配列に関すること	○ 導入から、Q, TRY, 例, 問という流れで、生徒の学習動機をつなぎながら、思考力・判断力・表現力が養われるよう配慮された内容の配列になっている。 ○ 本冊（基礎・活用）と別冊（探究・総合）の2冊構成で、本冊のもくじにそれぞれの使用のタイミングが掲載されているため、ねらいを明確にし、効果的に課題に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 「問」「確認問題」「章末問題」、巻末の「チャレンジ編」により、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図れるよう配慮されている。また、「チャレンジ編」には、難易度の異なる問題が設定されており、発展的な学習も進められるようになっている。 ○ 掲載されている問題は、量・質ともに充実しており、生徒の理解度に応じた年間計画の作成・実施に対応できるようになっている。 ○ 巻末の「数学旅行」では、地球温暖化やビッグデータ等、数学と社会の関連を考察しながら数学の有効性を実感できるよう配列されている。						
3	学習と関連指導に関すること	○ ヒントやまとめ、ふりかえり等が掲載されており、問題解決をしながら基礎的・基本的な知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成ができるよう配慮されている。 ○ 生徒キャラクターの対話を手掛かりに、生徒たちが主体的・対話的で深い学びの実践につなげることができるよう工夫されている。 ○ 紙面に掲載されたURLやQRコードから、デジタルコンテンツを使用できるようになっており、個別に学習内容を深めたり、定着を図ったりすることが可能で、生徒の多様な個性や能力に広く対応できるよう工夫されている。 ○ 地震の揺れ（グラフ・理科・防災）や斜面の傾き（グラフ・福祉）、コースター作り（定理・家庭科）等、他教科・領域との関連も踏まえた広く豊かな教科指導ができるよう工夫されている。 ○ 巻頭には学習の手引き（本冊の表記やノートのつくり方など）が具体的に掲載してある。また、裏表紙にはQRコードも掲載されており、使いやすいように工夫してある。						
4	表現と関連体裁等に関すること	○ 1年生と2・3年生の問いの文末表現が変えてあり、特に1年生については小学校式の「～しましょう」という表現を用いて算数から数学に変わった抵抗感を軽減するような配慮がある。 ○ めあてやまとめなど項目の色分けが見やすく、登場するキャラクターも生徒にとって親しみが感じられるよう配慮されている。 ○ 文字は鮮明で、書体、サイズ、行間の余裕なども適切で読みやすい。また、色使いは、誰にとっても見分けやすいよう配慮されている。 ○ 生徒にとって身近なものの写真や視覚的に理解しやすい図が、適切な大きさに配置されている。 ○ 本冊・別冊とも軽くて丈夫なつくりで、再生紙と植物性インキの使用による印刷・製本になっており、環境に配慮されている。特に別冊は、生徒が書いたり消したりしやすい紙が使用してある。						

種 目	数 学	発行者の番号・略称	116 日 文	教科書の記号・番号	数学 708 808 908	書 名	中学数学1 中学数学2 中学数学3
1 記 述 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的活動を通して、数学的な見方・考え方を働かせながら学ぶことにより、数学科の目標が達成できるよう内容が工夫されている。 ○ 巻頭の「この本の使い方」「数学の学習をはじめよう」により、生徒に学び方を提示することで、学習意欲を喚起するような工夫がされている。 ○ 既習事項を復習したり学び直したりする機会を設けることで、学んだことを次の学習に生かしたり、学習意欲を高めたりする工夫がしてある。 ○ 章初に「次の章を学ぶ前に」や章末に「とりくんでみよう」が設定されており、学習の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 ○ 取り上げた話題や場面設定等に偏りはなく、資料や写真の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容が系統的に配列され、もくじには「これまでに学んだこと」も明記されており、生徒が既習事項とのつながりを意識しながら学習を進められるよう配慮されている。 ○ 基本的に1小節見開きページでつくられており、ねらいが明確で、Q、例、問の流れでまとまりのある内容になっている。 ○ 「問」「まちがいがやすい問題」「基本の問題」「章の問題」では基礎的・基本的な内容の確実な定着と、章末の「やってみよう」、巻末の「総合問題」「活用の問題」「ステップアップ」では発展的な学習を進められるよう配慮されている。 ○ 小節末の「やってみよう」は省略や後からの扱いが可能であったり、巻末の「数学マイトライ」は余剰時間での扱いが可能であったりと、弾力的に指導計画を作成・実施できるよう配慮されている。 ○ 生徒の日常生活や将来の社会生活で役に立つ場面が取り上げられていたり、自分たちの住む地域のデータを活用できる素材が取り上げられたりしており、実態に広く適合できるようになっている。 						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクター等による表現の例を参考に、数学的な表現を用いながら問題解決を図る中で、思考力・判断力・表現力等を育成できるよう配慮されている。 ○ 「学び合おう」では、巻末の「対話シート」を活用して、紙面で示された流れに沿って主体的・対話的で深い学びを実践できるよう工夫されている。 ○ 個に応じて取り組める多彩な問題や、実態に応じて柔軟に取り組むことができる巻末「数学マイトライ」を設定するなど、一人一人の資質・能力を育成するための工夫がされている。 ○ エネルギー使用量やゴミの量（環境）、風の力（防災）等、教科横断的な話題が取り上げられており、他教科・領域との関連に配慮されている。 ○ 学習内容に関連した画像や音声、動画、アニメーションなどのデジタルコンテンツをQRコードから利用することができるように適切に配置されている。 						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明文では、生徒の発達段階に考慮し、平易で正確な表現を用いている。また、図や式を用いて理解を促すように配慮されている。 ○ 身近な具体物や活動する生徒の様子を写真で見せて、数学に対する親近感を持たせたり、イラストや吹き出しにより学習支援したりする配慮がされている。 ○ 可読性の高いユニバーサルデザインフォントを使用したり、カラーバリアフリーやユニバーサルデザインを採用したりするなどの配慮がされている。 ○ 初出用語や重要事項を枠で囲んで、まとまりや区切りがはつきるようにししたり、適度な余白を設けたりするなどレイアウトが工夫されている。 ○ 表紙や製本は長期間の使用に耐えるように配慮されている。本文には目への負担の少ない紙を使用したり、植物性インキを使用し、環境や人体への影響に配慮している。 						

種 目	理科	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	理科701 801 901	書 名	新しい科学1 新しい科学2 新しい科学3
1 記述内 容に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察・実験の一連の流れが把握しやすい表記としており、科学的に探究するために必要な資質・能力が育成できるよう配慮されている。 ○ 生徒にとって身のまわり事象の例を多く挙げており、観察・実験を通して科学的に調べる能力や態度、問題解決能力等を身に付けられる表記となっている。 ○ 章の冒頭で「before & after」によって学習のつながりを明示されていたり、各節の冒頭での「レッツスタート!」によって問題に気付くことができたりして、目的意識を持って主体的に学習に取り組めるようになっている。 ○ つまづきそうな内容には「例題」「練習」「確認」の項目が設定され、「活用」「発展」の項目を適切に配置することで、学習内容の程度と分量に配慮がされている。 ○ さまざまな分野からの資料が充実しているが、地学分野では当地区の写真資料も掲載されており、生徒の興味・関心を引き出すことができる。 						
2 組織と 配列に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元や章の導入で、小学校を含めた学習内容のつながりが示されており、系統的に学習が進められるようになっている。 ○ 各章の冒頭と章末の「before & after」にて、同じ問いかけをすることで、ねらいとまとめを明確に捉えることができ、生徒自身の考えや姿勢を確認できるようになっている。 ○ 基礎的・基本的な学習内容の充実と、生活の中でどのように科学が活用されているかなどの発展的な内容とが適切に配置されている。 ○ 内容や分量が適切でゆとりがあり、各学校の実態に応じた進め方で年間指導計画が作成できるようになっている。 ○ 植物や気象の単元の配列は当地区の季節に合ったものであるとともに、単元間の関連を図りながら学習を進めることができるようになっている。 						
3 学習と 指導に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「before & after」, 「課題に対する結論を表現しよう」, 「学びをいかして考えよう」など、言語活動の場面や問題解決のプロセスが意図的に配置されている。 ○ 章の導入部の「レッツスタート」や家庭でも行える「どこでも科学」により、直接体験を重視し、生徒が意欲的に学習に取り組んでいくための工夫がなされている。 ○ 「Dマークコンテンツ」を活用することで、さまざまな生徒に応じた学習が展開できるように配慮されている。 ○ 「(教科名)で学ぶこと」において各教科との関連が示されているとともに、気象や大地の学習では「防災・減災」との関連が図られている。 ○ 鮮明な写真や簡潔でわかりやすいイラストが多数掲載されており、概念の定着が図られるように工夫がなされている。 						
4 表現と 体裁等 に関す ること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年に応じて本文の文字サイズが適正化されており、読みにくい漢字には新出箇所では振り仮名が付けられるなどの配慮がなされている。 ○ 鮮明な図や写真を掲載したり、歴史上の人物を漫画によって説明したりするなど、生徒にとって親しみを感じやすくする工夫がなされている。 ○ 鮮明なカラー印刷を多用するとともに、図やグラフでは、色や柄、線種等の複数の要素を組み合わせてあり、一目で区別が付くような工夫がなされている。 ○ A4スリム判とすることで、観察・実験の流れを見やすくする工夫がなされるとともに、軽量化が図られている。 ○ 再生紙、植物油インキを使用するとともに、綴じるのに針金を使用せずリサイクル性を重視するなどの環境や省資源への配慮がなされている。 						

種 目	理科	4	教科書 の記号・ 番号	理科 702 802 902	書 名	理科の世界1 理科の世界2 理科の世界3
		発行者の 番号・略称				
1 記述内 容に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題の把握，課題の探究，課題の解決といった学習過程を重視した，理科の目標達成のための工夫がされている。 ○ 防災・減災や安全に関する内容には「安全」マークをつけて表示し，災害時に取るべき行動について考えるようになっている。また，多くの資料を通してSDG'sの達成を目指している。 ○ 1年生では本文や囲み資料の文字サイズを大きくし，2・3年生では発展的な学習内容を多くするなど，発達段階を考慮し，学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 探究の過程で，比較，関係づけ，条件制御，多面的な思考などを用いることで，学習の充実と発展が図られている。 ○ 資料や表のデータ，写真などは，最新のものが使用され，出所や出典が明示されている。 					
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校での既習内容や高校での学習内容などの系統性が記載され，また，他教科での学習内容との関連性が示され，教科横断的，組織的に記載されている。 ○ 各単元，各章に課題やねらいが示され，観察・実験のタイトル，目的，着目点が明示され，探究の過程が分かりやすくなっている。 ○ 「まとめ」「演習」「章末問題」「単元末問題」「読解力問題」を通して，基礎的・基本的な内容の定着が図られている。 ○ 1年生では発達段階を考慮し，発展的な「学習を精選し，分量を少なくするなど工夫されている。 ○ 植物分野の学習時期など，地域の気候や実態に合った教材の配列となっている。 					
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 例題や演習により小ステップで基礎的・基本的な内容の定着を図り，また，「読解力問題」により学んだ事を活用して考えたり表現したりすることで，思考力，判断力，表現力の育成が図られている。 ○ 観察・実験を中心とした探究学習活動により，主体的で対話的な深い学びが実現されるよう工夫されている。 ○ 「やってみよう」に取り組むことで，生徒の興味・関心や理解の程度に応じて学習が深まるように配慮がされている。 ○ 他教科での学習内容との関連が明記され，教科横断的な視点にたった資質・能力の育成が図られている。 ○ 専用アプリをタブレットやスマートフォンにインストールすることで，教科書紙面上のマーカを読み取るとデジタルコンテンツが表示され，補充的な学習ができる。 					
4 表現と 体裁等 に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒に身近な身の回りとの関連のあるもの，科学へ夢を持てるような写真や資料を掲載し，生徒の知的好奇心を高める工夫がされている。 ○ 単元扉にダイナミックな写真を用い，要所でキャラクターを効果的に使用して，生徒が読みたくなるような紙面構成である。 ○ ユニバーサルデザインフォント，カラーユニバーサルデザインによるグラフなど，全ての生徒が見やすく使いやすいよう配慮されている。 ○ 多くの写真や資料を掲載し，適切に注釈が記載されており，バランスよく配置されている。 ○ 再生紙と植物油インクを使用して環境に配慮がなされており，製本は堅ろうである 					

種 目	理科	発行者の番号・略称	11	教科書の記号・番号	理科703 803 903	書 名	中学校科学1 中学校科学2 中学校科学3
			学園				
1 記述内容に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察・実験の課題、操作手順、結果、考察の流れがわかりやすく明確に記載されており、生徒が主体的に探究活動を進めることができるようになっている。 ○ 各単元で、身のまわりの事象を観察したり、生徒自身の体験を生かす場面が設定されたりしており、自然の事象を科学的にとらえる力を育む工夫がなされている。 ○ 単元冒頭の「ふり返ろう・つなげよう」によって、既習事項とこれからの学習内容との関連が示唆されており、見通しをもって取り組みための配慮がなされている。 ○ 単元終末の「学びを日常にいかしたら」によって、学習内容の振り返りや整理ができたり、さらなる探究へつなげたりする工夫がなされている。 ○ さまざまな分野からの資料が掲載されており、環境保全や防災・減災、SDGsといった内容が充実している。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入に「問題発見」の項目があり、既習事項とこれからの学習内容とを関連付けながら新しい「気づき」につながるように工夫されている。 ○ 章の導入に「Can Do List」が示されており、どのようなことを理解しできるようになるのかの見通しを持つことができるようになっている。 ○ 章末、単元末の場面において、学習内容を振り返る場面が設けてあり、基礎・基本の確実な定着と発展問題への対応を図ることができるようになっている。 ○ 内容や分量に余裕を持たせてあり、各学校の実態に応じて探究的な活動を充実させられるようにな配慮がなされている。 ○ 植物や気象の単元の配列は当地区の季節に合ったものである。 						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びをいかす」の項目を適切に配置することにより、基礎・基本を確実な定着を図る工夫がなされている。 ○ 動的でダイナミックな写真を多数使用し、生徒の学習意欲を高め、主体的に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 巻頭「ミッションX」によって、理科の学習内容が日常生活とどのように関連しているかが記載され、職業観を深められる場面が設定されている。 ○ 学習内容とSDGsや防災・減災教育とを関連させ、意識の高揚を図り、さまざまな場面での理科の有用性に気付くための工夫がなされている。 ○ 資料性が高い写真や図が多数あるが、掲載しきれない教材をQRコードによって閲覧できるようにしてあり、より理解が深まるように配慮がなされている。 						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年から第3学年まで、統一された表記や表現を用いており、学年が変わっても見え方に変化がないような工夫がなされている。 ○ 表情豊かなキャラクターの吹き出しによって観察・実験の留意点や学習内容の補足を行い、生徒が親しみをもって学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 観察・実験の際の注意するポイントをカラーにしたりアンダーラインを入れたりするなど、見やすくする工夫がなされている。 ○ B5判から幅を大きくしたり内容を工夫したりすることで、情報量を適正化し内容がバランスよく配置されている。 ○ 製本が堅ろうであるとともに、環境に配慮した紙と植物インキが使用されている。 						

種 目	理 科	発 行 の 番 号 ・ 略 称	1 7 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科 7 0 4 8 0 4 9 0 4	書 名	自然の探究 中学理科 1 自然の探究 中学理科 2 自然の探究 中学理科 3
1 記述内 容に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探究の過程が重視されており、生徒が見通しを持って観察、実験に取り組み、科学的に探究する力が身に付くよう配慮されている。 ○ 日常生活と関連づけて探究の学習が始められるよう配慮されている部分が設定されており、生徒が主体的に取り組むことが出来るよう工夫されている。 ○ 学年に適した資料が示されており、身の回りの自然の事物・現象から学習課題を見つけ、解決しようとする意欲を持たせるよう工夫されている。 ○ 知識の基礎・基本となる要点と重要用語が整理されており、自ら確認が出来るよう配慮されている。 ○ 出典は明示されており、資料についても大きな偏りは見られない。 						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、4つの分野についてバランスよく、かつ生徒の思考に沿うよう系統的に配列されている。 ○ 科学的な見方、考え方が身に付くよう、学習目標が適切であり、各単元の内容についても概ね適切である。 ○ 基礎的・基本的な内容が要点としてまとめられているとともに、小中高の接続についても各単元の中で適切に取り扱われている。 ○ 各分野の内容が精選され、分量は適切でよく整理されており、幅広く各学校の年間指導計画に適合させることが出来る。 ○ 教材の配列は、各地域の気候や植生等の実態に柔軟に対応できるよう配慮されている。 						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識・技能がよくまとめられているとともに、自らの疑問につなげ、主体的に思考する学習態度の育成を促す活動が工夫されている。 ○ 「考えよう」「話し合おう」「活用しよう」などの活動が設定されており、主体的・対話的な学びを促す工夫がされている。 ○ 他教科（算数や社会等）でのつまずきを補充する説明や、既習事項を想起できる図表や写真を取り入れており、生徒に広く対応することが出来るよう配慮されている。 ○ 日常生活や身の回り自然から学習が始まる工夫がされており、また小中高の接続、他教科との関連についても取り入れられている。 ○ ICT活用として「まなびリンク」が設定されており、学習に活用することが出来る関連するウェブサイトへ接続できるよう工夫されている。 						
4 表現と 体裁等 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年、2年、1年の順に使用されるフォント数が大きくなっており、発達段階に応じた配慮がされている。 ○ 生徒の興味・関心を高め、身近に感じる自然の事物現象を選び適切に配置している。 ○ 色覚の個人差への対応、学年に応じた文字サイズと情報量、漢字のふりがな、ユニバーサルデザインフォントの使用などユニバーサルデザインへの配慮がなされている。 ○ AB版の採用により、図表や写真が大きく見やすく、比較・分類や変化の様子を表現するのに適しており、生徒が理解しやすいものとなっている。 ○ 再生紙の使用、植物油インキによる印刷、グリーン電力の使用など環境に配慮されており、製本も堅ろうである。 						

種 目	理 科	発行者の番号・略称	6 I	教科書の記号・番号	理科 705 805 905	書 名	未来へひろがるサイエンス1 未来へひろがるサイエンス2 未来へひろがるサイエンス3
			啓林館				
1 記述内容に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察、実験が、目的から考察までの過程で示されており、見直しをもって勧められるように配慮されている。 ○ 大きく見やすい写真やイラストを用いたり、日常生活と関連の深い事物・現象を取り上げたりすることによって、生徒の関心を高める工夫がされている。 ○ 観察、実験の「ここをしっかりと」で、どの過程を重点的に学習するのかが分かりやすいように工夫されている。 ○ 単元末の「学習のまとめ」では、単元の学習内容について整理と振り返りができるように工夫されている。 ○ 部活動や食事、職業、最先端の科学技術、新聞記事などの日常生活と、学習内容を関連付ける内容が設置されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「つながる学び」で下位学年の既習内容を確認して、次の学習ができるよう工夫されている。また、「高校科学へ」の記述により上位学年とのつながりを意識させる工夫がされている。 ○ 単元の導入に、単元を貫く問いが設定されており、見通しがもてるような工夫がある。 ○ 基礎・基本から思考力や読解力を問われる問題まで設定し、基礎・基本から応用まで過不足なく進められるよう工夫されている。 ○ 配当時数が余裕をもって設定されている。指導計画を柔軟に組み替えることにより、2学期制や3学期制にも対応できるような区分になっている。 ○ 書く単元の区分が明確であり、地域の特徴によって単元の指導順序の入れ替えを行うことができるため、特色ある年間指導計画にすることができる。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入の「つながる学び」など、基礎・基本の確認ができるよう工夫されている。 ○ 日常生活や社会状況を題材として取り上げたものが多い。国連のSDG'sに関連した題材が取り上げられており、生徒の多様な興味・関心に対応する工夫がされている。 ○ レイアウトや文字にユニバーサルデザインの観点からの工夫がされている。災害などの資料については、被災した生徒の心情に配慮した構成になっている。 ○ 「理科でよく使う算数・数学」で数学の考え方が紹介されるなど、他教科との関連が示されている。 ○ 大きく見やすい写真や図表、映像資料のQRコードなど、生徒の多様な個性や能力に応じた配置がされている。 						
4 表現と体裁等 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章表現や図、写真は、単元のねらいと発達段階に配慮したものが採用されている。 ○ AB判によるダイナミックな紙面や身近な生活との関連を扱った科学コラム、QRコードで見られるコンテンツにより、生徒の知的好奇心が喚起されるよう工夫されている。 ○ 1年生の文字の大きさ、ユニバーサル・デザインフォントの採用など、文字に適切な配慮がされている。 ○ AB判の大きさを生かした写真や挿絵、文章の幅の統一、コラムや図表によって学習展開が途切れないような配慮など、多様な生徒に対応したレイアウトが工夫されている。 ○ 植物油インキを使用した環境やアレルギーに配慮、省資源化や紙のリサイクルに配慮した再生紙や製本様式の採用がされている。 						

種 目	音楽 (一般)	発行者の番号・略称 17 教出	教科書の記号・番号	音楽 701 801 802	書 名	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの
1 記述内 関容 すに るこ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の各学年の目標と内容を踏まえ、「学びのユニット」を示し、何について学ぶのかを明確に示している。 ○ 表現活動では複数の関連教材を設定したり、表現と鑑賞の関連を図った題材を設定したりするなど、多様な音楽活動を通して音楽科の目標が達成されるよう工夫されている。 ○ 日本や諸外国の様々な音楽について学ぶとともに、共通性や固有性に興味をもたせ、学習意欲を高めるよう工夫されている。 ○ 我が国の自然や四季の美しさや、文化、日本語の美しさを味わうための楽曲の精選がなされ、学習の充実と発展を図るよう工夫している。 ○ 我が国の伝統音楽や諸外国の音楽や多様なジャンルからの音楽をバランス良く配置し、その良さを味わうことが出来る工夫がある。また出所、出典も明示されている。 					
2 組織と 関配 す列 るに こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現活動と鑑賞活動の各教材は、「曲想と音楽の構造との関わり」が意識され、3年間の系統性を意識した配列になっている。 ○ 表現及び鑑賞の活動で「うたう」「つくる」「きく」に分け、関連教材を含めバランスよく配列し、学習の見通しができるよう配慮されている。 ○ [共通教材]をもとに教材ごとに「学びのポイント」として示され、表現と鑑賞の各領域に「音楽的な見方・考え方」として扱うよう工夫されている。 ○ 「学びのユニット」によりカリキュラムマネジメントが展開できるよう構成され、各学校の実態や発達段階に合わせた年間指導計画に対応できるよう工夫している。 ○ 学びの見通しを持ちながら、他と進んで学び合う多様な演奏形態を扱うなど、生徒の実態に合わせた活動ができるよう工夫されている。 					
3 学習と 関指 す導 るに こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知識・技能」に関する内容を「思考力・判断力・表現力」の育成と関わらせて習得できるようなコーナーやヒントを示す欄などの工夫がみられる。 ○ 表現や鑑賞の教材に「ACTIVEすすんで学び会おう」のページが配置されており、自分の考えをまとめ、協同的に活動出来る工夫がみられる。 ○ 日本の伝統音楽や諸外国の様々な音楽を学びながら、体験的な学習に取り組むことができる教材が配置され、生徒の多様な個性や能力に対応している。 ○ SDGs と関連した教材を採用し、更に他教科との横断的な学習が可能になるよう工夫している。 ○ コンピュータを活用し、学習に役立つ情報収集のために「まなびリンク」等を配置し、教科書とウェブ情報を関連付けられるような工夫がなされている。 					
4 表現と 関体 す裁 る等 こに と	<ul style="list-style-type: none"> ○ わかりやすい表記・表現であり、やや難しい漢字には振り仮名が付けられるなど、学年の発達段階にも配慮している。 ○ 写真や挿絵が美しく効果的に配置されている。そのことによって生徒自身が具体的なイメージを持って学習できる配慮がされている。 ○ カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントにより、学びに集中したり、見やすく読みやすいよう配慮がなされている。 ○ 主教材と関連教材のページが色分けされるなどの工夫があり、学習内容と関連した配色やページレイアウト等の工夫が見られる。 ○ 製本は堅牢で長期の使用に耐えられる。再生紙と植物油インキを使用し、印刷にはバイオマスで発電されたグリーン電力を用いている。 					

種 目	音楽 (一般)	発行者の番号・略称	27 教芸	教科書の記号・番号	音楽 702 802 804	書 名	中学音楽生の音楽1 中学生の音楽2・3上 中学生の音楽2・3下
1 記述内 関容す に る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された三つの資質・能力とそれに対応する学習内容と〔共通事項〕との関わりが、「学びの地図」として明確に系統付けされている。 ○ 学習のねらいがわかりやすく示されており、教材を通して音楽と関わりながら三つの資質・能力を育み、基礎・基本の定着及び活用につなげるよう工夫している。 ○ 学習内容ごとに学年の発達段階に応じた系統性があり、生徒が主体的に取り組むことが出来るよう「学びの地図」や吹き出しによるヒントなどの工夫がみられる。 ○ 発達段階に応じた教材が精選されており、生徒の思考や理解の手立てとなるようなワークシートの工夫や体験活動例が示されている。 ○ 郷土の民謡や芸能、諸外国の音楽をバランスよく取り上げ、実際の活動にもつながられるようになっている。教材や写真の出所・出展も明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す 列 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校における学習内容との系統性が示され、各教材ごとに知識及び技能が積み重ねられるよう工夫されている。 ○ 学習指導要領のねらいや内容に即した題材配列や教材が選出されており、表現と鑑賞が効果的に学習できる工夫がみられる。 ○ 音楽を形づくっている要素や、音楽の用語や記号などが音楽活動を通して学ぶことができる工夫がある。また、発展的な内容も配慮されている。 ○ 共通教材を含めた日本の唱歌や歌唱教材が充実しており、生徒の実態を踏まえた各学校の年間指導計画に対応できるよう工夫されている。 ○ 音楽と生活や社会のかかわりについて生徒の心情に迫る表現が工夫がされており、生徒や地域の実態に応じた学習活動が展開しやすい。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに「学習目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」が設定され、三つの資質・能力の確実な育成のために配慮されている。 ○ 表現や鑑賞の学習で、ワークシート等へ書き込むことで、自分と友達の見解の交流を通して、主体的・対話的で深い学びが実践できるように工夫されている。 ○ 説明文や関連教材などが分かりやすく、生徒の興味・関心を高める工夫がみられる。また、創作の内容に無理がなく、学年ごとに段階的に取り組みやすくなっている。 ○ 社会的情勢や歴史、国際理解や環境、人権問題、震災復興支援などにも関連した幅広い教材を扱っている。また、生徒の心情に迫る選曲やコラムなど道徳的視点についても配慮されている。 ○ 思考・判断の手がかりとなる言葉が、吹き出しやコラムで配置されている。また、教材によってQRコードが示され、深めて学習する工夫がなされている。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す る 等 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ わかりやすい表記・表現になっており、簡潔かつ明瞭な説明文になっている。難しい漢字には振り仮名がつけられており、理解しやすいよう配慮されている。 ○ 教材に合った写真や挿絵が美しく、生徒が興味・関心や具体的なイメージをもって学習に取り組むことが出来る配慮がみられる。 ○ 全体の9割でユニバーサルデザインフォントが使用され、区別しやすい配色や濃度を避えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。 ○ ページごとの楽譜や説明、コラムなどのレイアウトのバランスがとれていて、分かりやすく見やすい。また発色が美しい。 ○ 製本は開きが良く、長期の使用に耐える堅牢なものとなっている。再生紙、植物インキを使用し、環境にも十分配慮されている。 						

種 目	音楽 (器楽合奏)	発行者の 番号・略称	17 教出	教科書の 記号・番号	器楽751	書 名	中学器楽 音楽のおくりもの
1 記述 内容 関容 すに るこ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標と内容を踏まえ、「学びのねらい」から「まとめの曲」まで学習に見通しをもった活動ができるよう工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な技能を定着させるために「学びのねらい」を明記し、「学びのポイント」を示すことで主体的な学びを促す工夫がされている。 ○ 生徒の興味・関心を高め、学習に意欲的に取り組ませる工夫として、写真や図解を多く用い、わかりやすい内容構成を工夫している。 ○ 表現教材との関連を紹介したり、管楽器や弦楽器ごとにまとめた配列など教材同士を関連付けて学習内容を分かりやすくする工夫がされている。 ○ ねらいを達成するための教材が適切で、楽譜と資料が適切に構成されている。出所や出典も明記されている。 						
2 組 織 と 関配 す列 るに こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽器の分類ごとにページが配列されていて、楽器理解や演奏方法など関連付けて学ぶことが出来るよう配慮されている。 ○ 楽器の特徴や種類と演奏方法のページが分かりやすく分類されており、段階を追って学習できる配慮がみられる。 ○ 演奏方法は初歩的なことから順を追って習得できるような段階的な工夫やヒントが設けられている。発展的な教材もあり、生徒の実態に合わせた学習が可能である。 ○ 和楽器は様々な楽器について紹介しており、各校の実態に合わせた扱いが可能であると同時に年間計画に組み入れやすい工夫がされている。 ○ 我が国の伝統的な音楽の楽器や地域の伝統的な文化に用いられる楽器、世界各国の楽器など幅広い器楽の学習内容について紹介している。 						
3 学 習 と 関指 す導 るに こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに「学びのねらい」「学びのポイント」「まとめの曲」と見通しを持って学習できるよう工夫されている。 ○ 「何が同じで何が違う？」のページでは共通性と固有性について特徴を理解することが出来るよう書き込み欄を設けたり、「話し合おう」では協同的な学習が展開できる工夫がみられる。 ○ 見やすい資料と演奏家のメッセージにより、生徒の興味・関心を高め、初歩的な技能から発展的な曲への挑戦まで多様に対応できる内容になっている。 ○ 音楽を通して他の文化や社会とのつながりを意識した内容も設けてあり、道徳や総合的な学習との関連が図りやすい。 ○ 「まなびリンク」等を配置し、ウェブサイト上の様々な情報との関連付けを図っており、学習に役立つ情報を教材に合わせて利用できるよう工夫している。 						
4 表 現 と 関体 す裁 る等 こに と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表記や表現は簡潔で分かりやすく、難しい言葉には振り仮名がつけられるなどの配慮がある。 ○ 様々な演奏家の写真やメッセージが効果的に掲載されており、生徒の学習への興味・関心を高める工夫がされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントの活用や色彩の配慮が工夫され、全体的に見やすく分かりやすいレイアウトになっている。 ○ 楽譜が見やすく、曲ごとに運指が分かりやすく配置されているなど、演奏上の配慮が工夫されている。 ○ 製本は堅ろうで、再生紙や植物油インキの利用など環境にも配慮された製本になっている。 						

種 目	音楽 (器楽合奏)	発行者の番号・略称	27 教芸	教科書の記号・番号	器楽752	書 名	中学生の器楽
1 記述 内容 関 関 す に る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標と内容を踏まえ、学習目標と具体的な学習項目、〔共通事項〕との関わりを明示している。 ○ 「アンサンブル活動」の教材が充実しており、音楽を通して人と関わり、役割を果たし、よりよい演奏を求めようとする活動の工夫が見られる。 ○ 楽器ごとに発達段階に応じた選曲とアレンジの工夫がされており、無理なく知識や技能の習得ができるよう配慮されている。 ○ 多様な演奏形態による編成や、生徒が主体的に取り組めるような「Q&A」やコラム、吹き出しによるヒントなどの工夫がみられる。 ○ 我が国及び諸外国の楽曲や多様なジャンルの楽曲ががバランス良く配置されており、写真や教材の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 関 配 す 列 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽器の説明、基本的な奏法、技能向上のためのヒント、発展的な活動内容と学習効果が期待される配列になっている。 ○ 楽器ごとに学習内容がまとめられており、学習のねらいと学習内容が生徒にとって分かりやすく表現されている。 ○ 生徒が初めて扱う楽器でも無理のない導入の工夫が見られ、段階を追って技能が習得できるような教材の配置や、練習方法が工夫されている。 ○ 楽器ごとのページと、それらを活用したアンサンブルのページ、表現教材との関連などの工夫が見られ、年間計画に多様に対応できる工夫がある。 ○ 多様なジャンルの楽曲が取り上げられ、生徒や地域の実態に応じた楽器の選択やアンサンブルの工夫ができるよう配慮されている。 						
3 学 習 と 関 指 導 す る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材に音楽を形づくっている要素が記載されていることで、「音楽的な見方・考え方」を意識した学習を進めていくことが出来るよう工夫されている。 ○ 学習目標や内容、学習のヒント等が明示されており、生徒が主体的に学びやすい工夫がみられる。また、「深めよう音楽」のコーナーなど、友達と交流しながら学習を深めることが出来るよう工夫されている。 ○ 練習の手順やポイントなど、分かりやすい説明と無理のない導入の工夫があり、生徒が自らの関心や実態に合わせて活動出来る工夫がみられる。 ○ 様々な和楽器を扱っており、地域の実態等に応じた活動内容が幅広く展開できる工夫がある。 ○ 写真が豊富に活用され、説明図等が適切に分かりやすく配置されている。ウェブサイトの紹介が記載されているなど、関連した学習に発展しやすい。 						
4 表 現 と 関 体 裁 す 裁 る 等 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真やイラストによる説明が多く用いられ、漢字には振り仮名がつけられているなど表記や表現に配慮が見られる。 ○ 多くの演奏家の写真や言葉が記載されており、生徒が興味・関心をもって学習に取り組むことが出来るよう工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、見やすい大きさでの記載である。楽譜も見やすく、色彩等の配慮も工夫されている。 ○ 写真による説明や楽譜、学習の手引き的な内容のスペースのバランスが良く、扱いやすく見やすい。 ○ 再生紙や植物性インキを使用するなど環境への配慮がされ、製本は堅ろうである。 						

種 目	美術	発行 者の 番号 ・ 略 称	9 開隆堂	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	美術 701 801	書 名	美術 1 発見と創造 美術 2・3 探求と継承
1 記述内 容に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材ごとに「学習の目標」を明記し、生活や社会の中の美術や美術文化について幅広く触れながら、図画工作科から美術科への系統性を持たせつつ内容や方法等が取り上げられている。 ○ 表現及び鑑賞の題材が効果的に学習できるようバランスよく配置されており、相互に関連性を持って美術科の目標の達成に近付けるよう工夫されている。 ○ 生徒の題材の魅力や学習内容を理解しやすくするため、メインとなる作品が選定されており、参考作品や制作風景との関連で、生徒が主体的に取り組める工夫がなされている。 ○ 日本及び諸外国の多様な作家作品や文化遺産を、様々な方面から取り上げ、地域や各学校の実情に合わせて題材を選択できるよう配慮されている。 ○ 美術1では図画工作科との関連を、美術2・3では美術と社会との関わり、生き方や未来を考える発達段階に応じた題材設定をすることで、学習意欲を高める工夫がされている。 						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科の目標を踏まえて、題材ごとに「学習の目標」が明記され、「知識や技能に関する目標」も示され、生徒に育成したい資質・能力を学習の中心としながら分かりやすくまとめている。 ○ 学習の題材内容が発達段階に応じて組織的・系統的に配列され、幅広い知識と技能を系統的にまとめた「学びの資料」を巻末に設定することで、段階的に進める配慮がなされている。 ○ 2年生と3年生の教科書があわせて1冊にまとめられており、題材配置が柔軟に組めるよう配慮されている。 ○ 題材として、日本各地の文化に関わる造形や現代社会における美術の取組等を取り上げており、地域の実情に合わせて題材を配列することができる。 ○ 表現、鑑賞ともに幅広い題材を取り上げており、各学校の状況に合わせて年間指導計画に対応できる。 						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他教科との関連が図れるよう、各題材の下部に必要な応じたマークと教科名・内容等が記載され、教科横断的な学習の手立てとして活用できるよう工夫されている。 ○ 「学びの資料」で、知識・技能に関する内容がまとめてあり、生徒が技法などについて確認しながら、主体的に学習に取り組める工夫がされている。 ○ 作品に「作者の言葉」を添え、作者がどのような思いや考えで制作に取り組んだのか理解できるようにし、生徒が制作に対する意欲を喚起できるよう工夫している。 ○ カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォントを採用し、特別な支援が必要な生徒が支障なく学習できるよう工夫されている。 ○ 図や写真、絵などが適切に配置されており、QRコードを活用して動画や参考作品例などを見ることができ、作品の見方などの学習の広がりを持たせている。 						
4 表現と 体裁等 に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを採用し、タイトル、見出し、作品名等を太字で表記し、目につきやすくしている。また、作品とのバランスを考え理解しやすい工夫がなされている。 ○ 参考作品の掲載が、実寸大や部分拡大、観音開きによる大判資料の配置など、作品の迫力や絵肌の凹凸等を感じながら鑑賞できる工夫がなされている。 ○ 震災がもたらした状況について共有：発信する取組や作品の掲載など、人と自然とのかかわりや日々の暮らしについて、想起させる題材も取り扱っている。 ○ 教科書の表面をコーティングすることで、折れや水分に強い製本がなされている。また、表紙と内容で紙質を変更し、開きやすく、見やすい工夫がされている。 ○ 印刷には人体への影響が少ない植物性インキを使用している。また、用紙には再生紙を使用し、環境に対する配慮もうかがえる。 						

種 目	美術	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	美術 7 0 2 8 0 2	書 名	美術 1 美術 2・3
			光 村				
1 記述内 容に関 するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材に造形的な見方・考え方を働かせることを促す目標が示されており、生徒が主体的に学習に取り組むことで、資質・能力が培われるよう配慮がされている。 ○ 表現の題材の中に、初めと最後に鑑賞の問いを設けることにより、対話的な学習が展開される工夫が図られている。鑑賞の題材にも、理解を深める視点を設定している。 ○ 美術1では、図画工作科から美術科への円滑な連携を図る内容を重視し、美術2・3では、歴史や現実社会との関連で視野を広げられるよう、多様な題材を取り扱っている。 ○ 美術1、美術2・3とも巻頭に、谷川俊太郎氏「うつくしい！」の詩が掲載されており、美術科で目指す「うつくしい」を探究し、創り出す姿勢を提示している。 ○ 表現の題材では、描く活動とつくる活動を精選し、鑑賞の題材では日本の美術文化を重視しながら様々な国の作品を幅広く取り上げ、資料の出典も明記されている。 						
2 組織と 配列に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科の目標を踏まえ、題材ごとに「目標」が明記され、内容が組織的・系統的に配列されており、段階的に進めるよう配慮がなされている。 ○ 2年生と3年生の教科書が1冊にまとめられており、基礎的・基本的な内容の定着と発展的な学習が進められるよう、「表現」「鑑賞」と領域を明記し分野ごとに構成して配慮している。 ○ 題材の内容によって領域を明記した上で、分野を構成し題材を配列しているため、生徒が学習の内容を理解しやすく、各学校の実情に合わせて年間指導計画を立てることができる。 ○ 巻末に、知識・技能や【共通事項】に関わる資料などをまとめた「学習を支える資料」を設け、題材と関連させて生徒が主体的に活用できるよう配慮がされている。 ○ 各地域の伝統工芸や歴史的な建造物、絵画作品や立体彫刻など、日本各地や世界各地の多様な事例を取り上げ、生徒の生活の実態に即した教材を選択できるよう配慮がされている。 						
3 学習と 指導に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材の冒頭に、形・色・材料・光など【共通事項】に関連した鑑賞の問い掛けが記載されており、実感しながら学習を進められるように配慮がされている。 ○ 発想の広げ方について特記している「発想をひろげる」頁の記載など、生徒がつまずきやすい発想・構想の段階を考慮した指導に生かせる記載がある。 ○ 題材の初めにおける鑑賞では、対話が生まれるように鑑賞が深まる問いを意図的に設けており、対話により題材への理解と制作への円滑な流れを生む配慮がなされている。 ○ 題材における技能に関して、技法や制作過程の動画ウェブコンテンツが用意され、該当するページにQRコードが示されており、生徒の教育活動を支援できるように工夫がされている。 ○ 他教科と美術とのつながりがコラム形式で紹介されており、教科横断的な学びが配慮されている。 						
4 表現と 体裁等 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域に関連したデザインマークの記載があるなど、生活内における人々と美術のつながりが多く記載されており、生活の中での美術との関わりについて触れている。 ○ ユニバーサルデザインフォントの活用、カラーユニバーサルデザインを施すことで、色覚特性によって学習に支障をきたすことがないような工夫がされている。 ○ 作品によって風合いのある用紙を使用したり、直接書き込めるようにトレーシングペーパーを緩じ込んだりするなど、生徒の意欲を喚起する工夫がなされている。 ○ 図版や写真には、作品名や作者名の文字の大きさも配慮しながら、適宜簡潔な解説文が添えられており、学習を進める上で有効な情報が記載されている。 ○ 製本が堅ろうであり、見開きや観音開きなど、作品を見せる工夫が施されている。また、植物油インキを使用し、環境保全や生徒の健康にも配慮がされている。 						

種 目	美術	発行者の 番号・ 略称	116	教科書 の記号・ 番号	美術	703 803 804	書 名	美術1 美術2・3上 美術2・3下 美術との出会い 学びの実感と広がり 学びの探求と未来
		日 文						
1 記述内 容に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年間を見通したカリキュラムが整理され、題材ごとに「学びの目標」を明記し、生活や社会の中の美術や美術文化について幅広く触れている。 ○ 全ての題材頁が育成すべき資質・能力の三つの柱に基づき、学びの目標を生徒向けの言葉で設定しており、生徒が主体的に取り組めるような工夫がされている。 ○ 発達段階に応じて系統的な学習を意識した題材構成がなされている。学習の充実を図るために内容が精選されており、学習発展を意識した構成がされている。 ○ 様々な角度から捉えられるような題材が配列されており、内容や資料ともに各学年の表現及び鑑賞が幅広く活動できるよう3年間のバランスを考えて工夫されている。 ○ 学校での学びを地域に広げる事例や地域の方々と協働して活動する事例が多数掲載されており、美術科における社会との連携が例示されている。 							
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学びの目標や分野、領域がマーク別に記載され、分かりやすく配列されている。「表現」と「鑑賞」が相互に関連し、一体的に学習できるよう配慮されている。 ○ 学習指導要領に基づき、系統性を持たせた題材配列により、「表現」と「鑑賞」がバランスよく取り扱われるよう、各学校の年間指導計画に適合できる工夫がされている。 ○ 日本各地の様々な美術作品や造形活動が掲載され、学習活動の参考となるよう配慮するなど、各地域の実態に応じた活動ができるように工夫されている。 ○ 巻末に「学びを支える資料」として、鑑賞や技法、色彩、発想・構想の手立てのヒントとなるような掲載があり、生徒の発展的な制作における配慮がされている。 ○ 短時間で活動できる題材配列がされ、各学校や地域の実態に応じた活動の展開が図れるような配慮がなされている。 							
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「造形的な視点」を明記することで、生徒が対象や事象を捉える際の理解が深まるように、イメージを広げやすくするような、分かりやすく簡潔な言葉でまとめられている。 ○ 活動の充実を図れるように、材料や用具の取り扱いについて各巻末に「学びを支える資料」を掲載し、写真やイラスト、QRコードを参照しながらヒントとして取り組める工夫がある。 ○ 生徒が自ら主題を生み出せるように、造形的な見方・考え方を働かせる工夫がなされている。 ○ 他教科との関連が図れるよう、題材や事例を多く掲載することで、各学校の実態に応じて教科等横断的な視点でカリキュラムマネジメントができるような工夫がされている。 ○ 図や写真、絵などが適切に配置されており、QRコードを活用して動画や参考作品例などを見ることができ、作品の見方などの学習の広がりを持たせることができる。 							
4 表現と 体裁等 に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の発達段階を考慮した題材名が精選され、生徒の興味・関心を引き出し、イメージを広げることができるような工夫がされている。 ○ 全ての生徒が等しく学べるよう、コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインが配慮されている。 ○ 作品が大きく掲載され、活動の情景も多く掲載されるなど、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○ 表紙は、耐水性のあるコーティングが施され、水濡れなどに対しても耐久性が高い。製本は、長期の使用に耐える堅ろうで丈夫な造本になっている。 ○ 作品図版など、生徒の発想や構想、工夫が読み取りやすいよう一部を拡大して掲載するなど、活動の際の参考になるような工夫が施されている。 							

種 目	保健体育	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	保体 701	書 名	新しい保健体育
1 記述 内容 関容 すに る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの実現を目指した内容構成となっており、体育や保健の見方・考え方を働かせながら学習を進めることができるようになっている。 ○ 各単元が「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4ステップで授業の流れが分かりやすく示されており、流れに沿って学習を進めることで主体的・対話的で深い学びを実現することができるように工夫されている。 ○ 各単元の「広げる」や章末の「学びを活かそう」には、学習したことを自他の生活に当てはめて考える活動が設けられており、心身の健康を適切に管理し、生活を改善していく思考・判断・表現等の資質・能力の育成が図られている。 ○ 中学生が地域の人と協力して活動する場面や、自分の地域について調べる活動が多数設定されており、そのことは、管内の子どもたちが気仙沼や南三陸の地域を愛する態度を養うことにつながると考える。 						
2 組 織 と 関配 す列 るに こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容が学習指導要領と合わせて組織的・系統的に配列されており、学習を発展的に進めていけるように工夫されている。 ○ 学習内容に関連する資料が適切に配置され、自身の生活や地域と結びつけながら学習を進めることができるように工夫されている。 ○ 学習指導要領に示された標準時数内での内容構成で、単元によっては配當時数に幅を持たせており、各校の指導計画に柔軟に適合できるように配慮されている。 ○ 各章末に「学習のまとめ」として「確認の問題」「活用の問題」「日常生活に生かそう」が設定されており、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫がなされている。 						
3 学 習 と 関指 す導 るに こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 質の高い動画やシミュレーションなど、生徒の理解を深めるDマークコンテンツが豊富に用意されている。また、他教科の教科書紙面を見ることもでき、他教科との関連が図られている。 ○ 本文ページは必要な資料が精選され、1単位時間で無理なく授業を展開することができるように配慮されている。 ○ 共生の視点を重視した口絵や資料が随所に掲載されている。 ○ 各章の扉では、小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高校で学習することが明示され、小・中・高を通じて系統性のある指導ができるように配慮されている。また、道徳との関連が示されている。 ○ 宮城県の事例が掲載され、生徒の興味・関心が高められるよう配慮されている。 						
4 表 現 と 関体 す裁 る等 こに と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識は本文で簡潔にまとめられており、キーワードが強調されている。 ○ 基本的に1単元が1単位時間2ページ構成となっており、見通しを持って学習できるよう配慮されている。 ○ 読みやすさに優れたユニバーサルデザインフォントが使用されている。配色やデザイン等も、色覚の多様性に配慮されている。 ○ 中学校以降で学習する常用漢字には全て振り仮名を付けたリ、簡潔でわかりやすい表現を用いたりするなど、表記・表現が学年に応じて適切である。 ○ 表紙には汚れにくく防水効果、強度を高める加工が施されている。製本も堅ろうである。 						

種 目	保健体育	発行者の番号・略称	4 大日本	教科書の記号・番号	保体 702	書 名	中学校保健体育
1 記述内 関容すに ること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯を通じて心身の健康の保持増進や、運動に親しむ資質・能力を育てる内容構成になっており、教科書全体で、課題解決学習を通して、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮されている。 ○ 各章、小単元の学習は必要かつ十分なものを取り上げ、資料や知識は過多にならないよう、発達段階と学年に応じて精選されている。 ○ 「つかもう」「やってみよう」「話し合ってみよう」等の様々な活動により、思考力・判断力・表現力等が総合的に育成されるように配慮されている。 ○ 各章の章末資料では、学習内容に関連する資料を掲載し、学習内容をさらに広げて知識を深められるよう工夫されている。 ○ 課題に対して切実感や興味・関心が持てるように、生徒が実生活・実社会で出会うような場面を設定し、具体的・体験的な解決が図れるように工夫されている。 						
2 組織と 関配す列 ること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年とも学習指導要領に則り、指導内容を体系化して、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容を分かりやすく、より実践的に学習できるよう配慮されている。 ○ 単元の学習内容を学習指導要領の項目に合わせ、1単位時間の学習内容をまとめているため、時期を問わず指導ができるよう工夫されている。 ○ 学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列となっている。 ○ 本時の学習課題を示し、その時間で学ぶべき内容が明確になっている。また、重要語句をまとめ、学習の要点や重要概念を見出しに掲げるなどの配慮がされている。 						
3 学習と 関指す導 ること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページと資料ページが明確に分けられているため、学習内容の要素が見やすく、参照性が高くなっており、「主体的・対話的で深い学び」につながる活動が行いやすくなっている。 ○ 学習をより理解したり、広げたりすることができるよう、紙面に2次元コードを掲載した上で、ホームページ上にウェブコンテンツが用意され、対応するページにはWEBマークが示されている。 ○ 他教科に関連する内容には関連マークが示され、教科横断的な学習ができるよう配慮されている。 ○ 活動では「話し合ってみよう」など、グループで行うものが多く配置され、友達の見聞を聞いたり、認めたりすることができるよう配慮されている。 						
4 表現と 関体す裁 ること	<ul style="list-style-type: none"> ○ イラストや写真は生徒の学習意欲を喚起したり、興味・関心を引いたりするようなものに厳選されている。 ○ 常用漢字、現代仮名遣いを原則とし、教育漢字以外には振り仮名がふられている。文章も生徒の発達段階を考慮し、平易でわかりやすい表現になっている。 ○ 読みやすい、見やすい紙面となるよう、ユニバーサルデザインフォントを使用した読みやすさに配慮されている。記号やマークも生徒の興味・関心を引き、理解を助けるものとなっており、マークには名称を添える工夫がなされている。 ○ 表紙は丈夫で汚れにくいコーティングを施すなど、3年間の使用に十分耐える造本になっている。製本は堅ろうであるが奥までよく開くことができ、写真や図版等をきれいに見ることができるようになっている。 						

種 目	保健体育	発行者の 番号・略称	50 大修館	教科書の 記号・番号	保体 703	書 名	最新 中学校 保健体育
1 記述内容に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな生涯スポーツと健康の保持増進のために、学習指導要領の目標に沿った内容になっており、基本的な用語を身に付け、日常生活に生かせるような、発展的な内容の記載もある。 ○ 3年間の中学校生活における心身の発達はもちろん、生涯にわたって健康的な生活習慣やスポーツに親しむ習慣を身に付けるための基本的な知識が記載されている。 ○ オリンピック、パラリンピックをはじめ、世界で行われるスポーツが身近に感じられるような写真やイラストが用いられ、学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 資料や学習課題が精選され、「つかむ」「身に付ける・考える」「まとめる・振り返る」というタイトルが付けられ、学習の充実と発展が図られるように工夫がされている。 ○ 記載内容に合わせた資料や写真、イラストが豊富にあり、学習意欲の向上につながるとともに、各資料等の出典は巻末に一覧として記載してある。 						
2 組織と配列に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年別に配列し、学習内容が明確になっている。見開き2ページで1単位時間が構成され、学習の効果が上がるよう配慮されている。 ○ 単位時間の学習課題を「課題をつかむ」という表題で明示し、「キーワード」として、学習する重要語句をまとめて記載してあり、課題の解決に向けて取り組みやすくなっている。 ○ 巻頭に使い方が示され、章毎、単位時間の学習の流れが明確になっている。また、基礎的・基本的な学習内容から発展的な学習を進めるための配慮がなされている。 ○ 学習指導要領で示された授業時数での配当で指導できる内容構成であり、各学校の年間指導計画に幅広く対応できるものとなっている。 ○ 学習した内容を、発展させ、家庭や地域においても生かせるような事例や資料が記載されている。 						
3 学習と指導に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習で身に付けた知識を基にして、生徒自身が考えをまとめて発表する活動の仕方が記載されるなど工夫がなされている。 ○ 主体的・対話的で深い学びを実践するため、グループでの話し合いや発表によって基本的な知識を身に付けるとともに、学びを深めるための課題が設定されるなど工夫がされている。 ○ 生徒にとって興味・関心の高いスポーツや中学生期における健康課題等を取り上げるなど、生徒の個性や能力に応じた学習ができるよう工夫がされている。 ○ 他教科に関連する内容には関連マークが示され、各教科との横断的な学習ができるように配慮されている。またSDGsとの関連についての記載もある。 ○ 挿絵、図表及び写真等が適切に配置されており、記載内容に関する情報をウェブサイト調べられるよう、「web保体情報館」として設けられている。 						
4 表現と体裁等に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重要語句が「キーワード」としてまとめられているとともに、章のまとめとして、確認をすることもできるよう配慮されている。文章は生徒が読みやすいように具体性が重視されている。 ○ 世界で活躍する選手や様々な世代の人、障がいのある人などがスポーツに取り組む写真や中学生が諸活動に取り組む写真が多く、親しみや魅力が感じられるよう配慮されている。 ○ 見出しや本文、資料、重要語句ごとに文字の大きさや字体を変えたり、色枠で囲んであったり、色彩や印刷も鮮明で、見やすくなるよう配慮されている。 ○ 挿絵や写真、図表等は本文に合わせて、見やすい大きさと掲載されており、レイアウトやバランスともに適切である。 ○ 見やすく、読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントが使用され、環境に配慮した紙や植物油インキを使用して印刷されている。 						

種 目	保健体育	発行者の 番号・略称	224	教科書の 記号・番号	保体 704	書 名	中学 保健体育
1 記述内容に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心身ともに健康で、豊かなスポーツライフを送るため、基礎的・基本的な項目が重視され、運動に親しむ資質や能力を育てる内容構成になっている。 ○ 生徒自身の心と体に意識を向けさせ、生徒自らの心身の健康を適切に管理し、生活を改善していく能力を身に付けることができるよう工夫されている。 ○ 各章の扉では、章全体の学習内容を分かりやすく提示し、単位時間の導入部分では、学習目標が示されており、毎時間の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 単位時間の流れの中に、「課題をつかむ」「考える・調べる」等の表記があり、学習の見通しを持つことと同時に、学習の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 ○ 豊富な資料が学習内容に沿って掲載されている。学習内容の裏付けにもなり、学習を深めようとする学習意欲の向上につながるよう工夫されている。 						
2 組織と配列に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年別に配列し、各学年の学習内容が明確である。また、既習事項や他教科との関連を示す「関連」の表記があり、系統的に学習ができるよう配慮されている。 ○ 単位時間ごとに「学習の目標」が明確に提示してあり、課題意識をもって学習に取り組めるよう工夫がされている。 ○ 基礎的・基本的な内容が本文に適切にまとめられ、章の終わりの「探究しようよ」では、自分で調べたり、話し合ったりする中から、課題を発展的に解決できるよう配列されている。 ○ 学習指導要領に示された授業時数の配当で指導できる内容構成で、各校の指導計画に幅広く対応できるよう工夫されている。 ○ 章末に「探究しよう」「もっと広げる・深める」を設け、学習に関連する資料や実習、実践事例を豊富に掲載し、生徒や地域の実態に適合できるよう工夫している。 						
3 学習と指導に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項や基礎的・基本的な知識を活用するために、実習をする場面を設定し、「思考力・判断力・表現力」等を生かして、主体的に学習できるように配慮されている。 ○ 各単位時間には「考える・調べる」「まとめる・深める」学習場面が設定され、主体的・対話的で深い学びにつながるような学習活動が工夫されている。 ○ 学習内容に関連する事例を用いて、ディスカッションやロールプレーイング等の学習方法が紹介され、生徒の個性や能力に幅広く対応できるように工夫されている。 ○ 巻末には「キーワードで見る保健体育の学習内容」として、保健体育の学習内容と道徳や各教科との関連が一覧になっており、各教科等と関連を図りながら学習できるように配慮されている。 ○ 巻頭に学習の流れや学習方法についての記載があり、学習の進め方がわかるように工夫されている。豊富な資料とともに、QRコードを掲載し、関連資料の閲覧ができるよう配慮されている。 						
4 表現と体裁等に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門用語にふりがなを付けるなど、配慮がされている。また、本文は表記や表現が工夫され、理解しやすい文章になるよう配慮されている。 ○ 巻頭には世界で活躍するアスリートだけでなく、スポーツや健康・安全の分野で活躍する人たちの紹介があり、生徒が親しみや魅力を感じるよう配慮されている。 ○ 活字の大きさや字体は適切である。重要語句を太字にしたり、色付けなどで強調したりするなどレイアウトを工夫し、見やすい表記になっている。 ○ 挿絵や図表等はユニバーサルデザインに配慮しており、色使いも適切で読みやすいよう工夫されている。 ○ 環境に配慮した紙、インキが使われ、環境負荷の少ない印刷がされている。また製本は体裁がよく堅ろうである。 						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発行者の 番号・略称	2 東書	教科書の 記号・番号	技術 701	書 名	新しい技術・家庭技術分野 未来を創るTechnology
1 記述 内容 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの内容ABCDを1編～4編という表記にして生徒に受け入れやすいものになっている。各節に目標が簡潔に表記されており学習すべきことが把握しやすい。また、キーワードを示すことで学びに取り組みやすさを与え問題解決に主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○ 学習内容に関わる実験例が数多く取り上げられており、生徒の興味・関心を踏まえた指導の工夫改善ができる内容となっている。 ○ 見開きの「パラパラ写真」や脚注の「技術の工夫」等、学習内容に関連する事柄を多面的に取り上げており、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。 ○ 伝統的な技術から最先端技術、環境的、経済的、社会的側面から評価し、活用する学習を取り上げており、学習内容の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 ○ 学習内容に関わる最新の写真や資料を多く取り上げ、出所、出典が明示されている。 						
2 組織と 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各編の導入には「この編で学習すること」、「他教科とのつながり」が、各節の冒頭には目標が明示され、学習内容に見出しが持てるよう配慮されている。 ○ 見開き構成の設定となっており「導入」「展開」「まとめ」とわかりやすい流れとなっている。また、導入の段階で「調べてみよう」「やってみよう」「考えてみよう」など活動の分類がわかるよう工夫されている。 ○ 生活や社会と技術との関わりについて実践的・体験的な学習を通じた知識や技術の基礎・基本や応用・発展となる内容等が系統的な配列となっている。 ○ 問題解決に取り組むための基礎・基本から応用等の段階に合わせた「技術のとびら」「技術の匠」、「TECHラボ」等のマークで示され、段階的に学習が深められるよう配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な知識や技術の習得に関わる内容が充実している。また、製作例が多く示され、各学校の実態に応じた年間指導計画に対応できるよう配慮されている。 ○ 身近な生活や社会の中で活用されている技術や事例についての見やすいサイズの写真や資料が多く示され、生徒の生活や地域の実態に応じた指導に対応できるよう配慮されている。 						
3 学習と 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製作や制作、育成の学習では、生活の中で技術に関わる問題に気付き、計画実行、評価、改善の流れを実践しながら問題解決能力が育成できるよう配慮されている。 ○ 他教科との関連がマークを用いて分かりやすく示されている。 ○ 図表や挿絵、写真が効果的に配置されている。技術の発達と社会や生活の変化、現実の社会の中で活用されている技術について分かりやすく示されている。 ○ 動機付けとなる写真や挿絵が明るいイメージとキーワードなどで工夫されている。 ○ 社会で活躍する技術に携わる人をコラムで紹介したり、巻末に「学んだことを社会で生かす」を設け技術分野の学習を将来に繋げられるようメッセージが掲載されており志教育の充実に繋げられるよう配慮されている。 						
4 表現と 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活用されているキャラクターが生徒と対話的に学習が出来るよう工夫されている。 ○ 表現で簡潔にまとめられている。また、漢字のルビや専門用語についての解説等、生徒の学習活動が表記や表現上の問題で途切れないよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントが用いられている。また、配色やデザインが工夫されている。印刷も鮮明である。 ○ 見開きページに、目標、学習活動、まとめがバランス良くレイアウトされている。また、基礎的な技能がまとめて掲載され、生徒の主体的な学習に配慮されている。 ○ 再生紙や植物油インキを使用するなど、地球環境や環境保全に配慮されている。 						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発行者の番号・略称	6	教科書の記号・番号	技術 702 技術 703	書 名	New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する技術ハンドブック
			教図				
1 記 述 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ A～Dの四つの内容とも生徒が「つくって学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深めよう」の3章で構成され製作題材が多く、実践的・体験的な学習活動が設定されている。 ○ 生徒の身近な生活や社会生活で利用されている技術の発達と関連させており、生徒の興味・関心を踏まえた学習活動が展開できる内容となっている。 ○ 生徒が実際に製作できる題材・実習題材が数多く掲載されており、生徒の興味・関心を喚起するよう工夫されている。また実習で用いる基礎的な技能については別冊のハンドブックで確認でき、安全に作業できるよう配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な知識・技能の習得から実践的・体験的な学習活動が直視している。製作期以外にも実験や実習例を掲載し、生徒の興味に合わせて実践的・体験的な活動となっており、最後には章のまとめと深まりができるような内容になっている。 ○ 作業内容、工具の使い方について、写真や資料を多く用いて示し、資料等の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製作や実習等の基礎的・基本的な技能から実践的・体験的な学習活動が段階的に深められるように配列されている。 ○ 教科の目標を踏まえ、「見つける」「学ぶ」「ふり返る」など設定されておりまとまりある構成を工夫している。 ○ 生活と技術との関わりの中で実践的・体験的事項を豊富に掲載し、理解度や興味・関心に応じて学習が進められるよう工夫されている。 ○ ハンドブックには「基礎技能」としての内容が明確に示されている。 ○ 生徒の実態に即した題材・実習を多く取り上げており、生徒や地域の実態に柔軟に対応できるような学習活動ができるように配慮されており、年間指導計画の作成等にも柔軟に対応できるよう配慮されている。 ○ 仕事に携わる人たちや体験した人たちの話題や思いを「技ヒト」として紹介し、志教育に繋げられる内容が工夫されている。 						
3 学 習 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のポイントとなる場面に「実験」や「実習」の項目を設定する工夫が見られ、体験的な学習ができるよう配慮されている。 ○ 各領域において「見つける」「学ぶ」の段階で生徒が問題解決に取り組めるよう写真や資料が工夫して配置されている。 ○ 各編の終わりに「まとめ」として「知識・技能」「思考・判断・表現」「学習に取り組む態度」をふり返る問題が設定され、学習内容の習得の確認、自主的な学習ができたかがふり返られるよう配慮されている。 ○ 多様な製作題材、実習題材とともに実験が例示されており、生徒の多様な能力や特性に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 作業工程や工具の使い方について、示範となる写真を掲載している。全体的にイラストや図版を活用して生徒の興味・関心を高める工夫が見られる。 						
4 表 現 と 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は、生徒が分かりやすく、表現が使われている。重要語句は太字で表記されている。外発達段階を考慮して漢字にルビが付けられる等、配慮されている。 ○ 製作題材、実習を多く取り上げるとともに写真や図版を用いることで、生徒の学習意欲を高め主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されており、色彩は目に優しく、写真や図版が分かりやすい構成となっており、印刷も鮮明である。 ○ 口絵の大きなイラストや領域の小さな写真・図版まで生徒が読み取りやすく配置されている。 ○ 再生紙、植物油インキを使用しており、環境に配慮したつくりとなっている。 						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発行者の 番号・略称	9 開隆堂	教科書の 記号・番号	技術 704	書 名	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
1 記述内 容に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの内容ABCDにおいて生活に必要な基礎的・基本的な内容から実践的・体験的な学習活動が段階的に設定され基本的な知識及び技術の習得を図る内容となっており、教科の目標を踏まえた内容になっている。 ○ 生徒の身近な題材を取り上げ、生活と関連させる内容となっている。また、問題解決的学習を通して、進んで生活を工夫する実践的な態度を育てる内容となっている。 ○ 学校での学習と家庭や社会における実践との関連が図られており、生徒の発達段階に応じた内容記述となっている。 ○ 基礎基本と参考・発展への流れが明確にえおり、学習内容の精選と重点化が図られ、学習内容の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。さらに、社会的な課題も学習できるよう配慮されている。 ○ 実践的・体験的な学習活動を通して、生活と技術の関わりについて理解を深める題材設定がなされている。日本の伝統技術や最先端技術が示されており、適切な資料が掲載され、出所・出典についても明示されている。 						
2 組織と 関連 する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「気づく」「はたらかせる」「定着させる」という見方・考え方で、基礎・基本の確実な習得、発展、学習のまとめで構成され学習が体系的に学ぶことができるよう配慮されている。 ○ 四つのいずれの内容においても、教科の目標を踏まえ、日常生活や社会との関わりを重視したまとまりのある配列となっている。 ○ 実習例として基本的なもの他、考・探究・応用的なものまで多様なものが取り上げられており、基礎的・基本的な事項から発展的な事項に至るまで適切な配列となっている。 ○ 生徒の実態に即した内容や活動が準備されており、各学校の実態に応じて3年間を見通した年間指導計画の立案・実践に柔軟に対応できるよう配慮されている。 ○ 技術の発達と生活との関連、日本の伝統技術を取り上げ、技術に関する職業や生活との関連を示しており、生徒の生活や地域の実態に対応できるよう配慮されている。 						
3 学習と 関連 する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な生活から課題を見付け、実践的・体験的な活動を通して問題を見だし課題を設定し、解決をはかるなど主体的学習活動ができるよう配慮されている。 ○ 学習項目の冒頭に「学習の目標」が示され、学習の節目には「ふり返り」が設定され、生徒の意欲を重視した学習内容の定着が図れるよう配慮されている。 ○ リンクマークや教科、小学校の内容との関連付けが示されている。 ○ 基礎的・基本、発展、探求的な事柄が掲載されており、生徒の実態や能力に応じて題材が選択できるよう工夫されている。 ○ 内容の理解を助けるため、分かりやすい図版や写真、QRコードで参考になるウェブページを紹介するなど、主体的・対話的な深い学びを促すよう工夫されている。 ○ 見開きで1時間分の授業設定となっており目標、活動、最後までが一覧でき課題解決に向けて取り組みやすいものになっている。 						
4 表現と 関連 する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が理解しやすい表現や内容が使われている。活字の大きさも適切であり見やすく改行位置等のバランスにも配慮され、色彩においても見やすく目に優しいカラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ○ 「思い出してみよう」、「調べてみよう」、「考えてみよう」等、提示や課題把握内容の説明が生徒に分かりやすい表記・表現になるよう配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な事項をはじめ、生活での活用について、図表や写真を豊富に取り入れ、ものづくりや技術の魅力を伝えられるよう配慮されている。 ○ AB判サイズとなり見やすいものになっている。環境に配慮し、再生紙、大豆油インキを使用しており、堅ろうなつくりとなっている。 						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発行者の番号・略称	2 東 書	教科書の記号・番号	家庭 701	書 名	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
1 記述内容に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された内容を踏まえ、自分の生活を進んでより良いものにしていく指導内容になっている。 ○ 身近な題材を取り上げることで興味・関心を高め、生徒に気付きや疑問を持たせ、実践的な態度を育てるよう工夫している。 ○ 導入では、「考えてみよう」や「やってみよう」を設け、自分の生活を振り返り、題材への興味・関心を高める内容になっている。 ○ 小学校家庭科の「リンク」により、既習内容を振り返り、中学校の学習内容と系統性を持たせた指導ができるようになっている。 ○ どの資料にも出所、出典が適切に明示されている。 						
2 組織と配列に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各編の内容は、学習が系統的に進められるように配慮されている。 ○ 各節の目標が記述しており、ねらいが明確でまとまりのある内容になっている。 ○ 技能の定着を図るために、「いつも確かめよう」では写真で手元を確認させ、実践経験の少ない生徒にも配慮している。 ○ 「他教科」マークにより教科横断的な学習について明示することにより、学習を深めたり広げたりすることができるよう工夫されている。 ○ 教科書の下欄に「せいかつメモ」が配列されており、生活の豆知識の記述により、理解を深めるよう工夫されている。 						
3 学習と指導に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な材料や題材の「実習例」が数多く、幅広い難易度の例を提示することにより、経験の少ない生徒や発展的に取り組みたい生徒など、様々な生徒に対応し、多様な実践ができるように配慮されている。 ○ 「生活に生かそう」では、家庭で調べたり考えさせたりする内容を取り上げ、自分事として取り組めるように工夫されている。 ○ 災害への対策についての学習では、自分の住む地域の災害の危険性について考えさせる内容が取り入れられており、被災地として、それぞれが災害への備えや対策をするよう工夫されている。 ○ 「リンク」マークにより既習事項と関連する内容について明示し、学習内容の定着を図るよう工夫されている。 ○ QRコードの明示により、学びが深まるように工夫されている。 ○ 社会で活躍する方々のコラムを紹介するなど、学習を将来の生き方につながるよう配慮されている。 						
4 表現と体裁等に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての生徒の色覚特性に適應するデザインにしている。 ○ ユニバーサルデザインフォントの使用で見やすく読み間違えにくい配慮がされている。 ○ 実物大の写真を用いることで、実感を伴うように配慮されており、図表の大きさも適切で、レイアウトやバランスも良く仕上げられている。 ○ キャラクターのコメントは、生徒に理解させたり気付かせたりする内容になっている。キャラクターの表現により、生徒が主体的に考えたり取り組もうとしたりするよう工夫されている。 						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発行者の番号・略称	6 教 図	教科書の記号・番号	家庭 702	書 名	New 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する
1 記述内容に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標や内容を踏まえ、実践的・体験的な学習活動を多く取り入れた内容になっている。 ○ つくってみたくなる取り組みやすい題材を多く取り入れ、実践的な態度を育むように工夫されている。 ○ 導入では、小学校家庭科とのつながりを示すとともに、自立度をチェックすることで、学習への興味・関心を高めるよう工夫されている。 ○ 問題解決的な学習ができるような内容を取り入れ、生活の中で実践力を高めるように内容が工夫されている。 ○ 資料の出所や出典がしっかりと明示されている。 						
2 組織と配列に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ A編、B編、C編が10章に分かれており、「導入」「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」で構成されている。 ○ 「やってみよう」では、主体的・対話的な学びを通して、生徒が知識や技能を身に付けられるよう工夫されている。 ○ 「学びを生かそう」では、「やってみよう」で身に付けた知識・技能を生かして、工夫しながら課題に取り組むことで、思考力、判断力、表現力を養うように工夫されている。 ○ 「リンク」では、教科内の他領域だけでなく、他教科や道徳との関連について明示されており、横断的な学習がなされるように工夫されている。 						
3 学習と指導に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導内容が見開きになっており、めあてに対して学びを振り返る項目を明示し、1単位時間で指導と三観点の評価がなされるように工夫されている。 ○ 「見つめる」「まなぶ」「ふり返る」の3ステップで知識・技能を身に付けるように工夫されている。 ○ 「話し合ってみよう」「調べてみよう」では、主体的・対話的に取り組みながら、知識・技能を身に付けるように工夫されている。 ○ 近年の自然災害の教訓を踏まえ、衣食住の生活のすべてにおいて、災害との関連や災害時の対策について取り扱っている。 ○ QRコードの明示により、学びが深まるように工夫されている。 ○ 将来の生き方につながる視点から、先輩からのコメントを掲載するなど、志教育につながる内容が盛り込まれている。 						
4 表現と体裁等に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、重要語句が青色で示されるなど、カラーユニバーサルデザインに配慮した編集になっている。 ○ 環境に配慮し、再生紙・植物性インキが使用されている。 ○ 課題解決学習の流れが見開きで分かりやすく配慮されている。 ○ 吹き出しのコメントは、生徒目線の投げかけや問いかけになっており、親しみをもって取り組ませる工夫がなされている。 ○ 写真や図、イラストが鮮明で大きく配置されており、見やすく分かりやすいレイアウトになっている。 						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発行者の番号・略称	9 開隆堂	教科書の記号・番号	家庭 703	書 名	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
1 記述内容に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標を踏まえ、他者への依存から自立に向かうことと世界中で共生の実現へ向かうことを目指す内容で構成されている。 ○ 変化している社会生活の事項について、掘り下げて記述しており、生徒に考えさせる内容が多く取り入れられている。 ○ 学習内容を地域や社会との関連（空間軸）や、これまでとこれから（時間軸）と関連させたり、他教科と関連させたりし、総合的に理解させるように工夫されている。 ○ 自分の生活を見つめることを重視し、自分の関心に気付く内容になっている。 ○ 内容や資料、写真等に偏りがなく配置され、資料の出所、出典が適切に明示されている。 						
2 組織と配列に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容が見開きでまとまっており、学習の目標と学習活動が系統的に配列されている。 ○ 各節の目標が提示されており、学習内容が分かりやすく工夫されている。 ○ 「主体的・対話的で深い学び」を意識した配列になっており、課題解決に向かって取り組みやすく工夫されている。 ○ 「リンク」では、他分野との関連が記述されており、学習内容の定着や深まりにつながるように工夫されている。 ○ 「他教科・他分野」との関連が教科書の同じところに配列されており、教科横断的な指導について一目で分かりやすくなっている。 ○ 教科書の下欄に「豆知識」を配列することにより、言葉の意味や由来など知識が定着するよう工夫されている。 ○ 導入において、小学校での学びを振り返る項目を取り入れ、学習内容に主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○ 地域や学校、生徒の実態に合わせて、教材の配列を組み替えやすいように工夫されている。 						
3 学習と指導に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ SDGs との関連について記述し、持続可能な生活を目指し、実践的な取組につながるよう工夫されている。 ○ 導入では、課題意識を持たせる問いかけになっており、学習内容への興味・関心を高めるよう工夫されている。 ○ 「生活にいかそう」では、生徒が身近な事象について、実践的な態度を育むのに適した内容になっている。 ○ 災害から「いのち」と生活を守るための学習内容を重視しており、災害の記憶のない生徒にも防災や減災を日常の生活スタイルにする工夫がなされている。 ○ QR コードの明示により、コンテンツの参照で学びがさらに深まるように工夫されている。 ○ 先輩からのメッセージを掲載するなど、将来の生き方につながる視点で、志教育につながる内容になっている。 						
4 表現と体裁等に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ カラーユニバーサル視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるようなデザイン上の配慮をしている。 ○ 特別支援教育の視点から、内容が読み取りやすくなるように配慮されている。 ○ 環境に配慮した用紙やインキを使用している。 ○ 実物大の写真を用いることで、実感を伴うように配慮されており、図表の大きさも適切で、レイアウトやバランスも良く仕上げられている。 						

種 目	英 語	発行者の番号・略称	2 東 書	教科書の記号・番号	英語 701 801 901	書 名	NEW HORIZON English Course1 NEW HORIZON English Course2 NEW HORIZON English Course3
1 記述内容に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元で、目的・場面・状況を意識した学習が行えるようになっており、実生活に即した場面設定のもとで、生徒が思考力・判断力・表現力を発揮し、実践的なコミュニケーション能力を育成するように工夫されている。 ○ CAN-DO リストに基づいた到達目標から各学年・各 Unit の具体的な目標が定められており、「英語を使って何ができるようになるか」が可視化されている。 ○ 各単元の扉のページに、生徒の興味・関心を高めるような写真が用いられている。また、Preview, Key Sentence, Practice でも、文法が使われる目的・場面・状況に気付かせ、発達段階を考慮した展開となっている。 ○ SDGs や防災などの今日的課題を取り上げ、幅広い分野に視野を広げ、積極的に世界とつながろうとする心を育めるよう工夫されている。 ○ 豊かな心を育めるように多様な題材や資料、文化などが扱われており、それぞれの出所、出典が確実に明示されている。 						
2 組織・配列に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中高の学びを見通し、中学校の到達点から各学年・各学期の達成目標を定めるとともに、それらの目標が巻末の CAN-DO リストにも明記されており、明確な到達点に向かって学習を進められるように配列されている。 ○ 単元のはじめと単元末に、到達目標が示されているため、生徒が振り返りや自己評価をしやすいように配慮されており、ねらいを明確にして指導ができる構成となっている。 ○ Unit, Let's シリーズ, Stage Activity という 3 つの主要単元で、基礎的・基本的な内容の定着と発展的な学習を段階的に進められるように配慮されている。 ○ 単元の配当時数に無理がなく、使用領域とその評価の観点もバランスよく、総合的に設定しやすいものとなっており、各学校の年間指導計画に広く適合できるように工夫されている。 ○ 学校行事や学校生活の場面を取り入れた内容が含まれているだけでなく、東日本大震災のエピソードなども掲載されており、生徒の生活や地域の実態にも広く適合するよう配慮されている。 						
3 学習と指導に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Unit で知識・技能の習得と活用を繰り返しながら、Unit Activity や Stage Activity で、4 技能 5 領域の思考力・判断力・表現力等を発揮させたパフォーマンス評価を行うことができるように配慮されている。 ○ 扉のページで、単元を貫く問いを示し、Round1 から 3 までの 3 段階読みを取り入れたり、実生活に即したコミュニケーション活動を設定したりすることで、生徒の主体的・対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。 ○ 視認性や書きやすさに配慮された書体を採用するとともに、紙面上の要素のデザインや配置を統一しており、多様な個性を持った生徒も安心して学習を進められるように配慮されている。 ○ 各教科、総合的な学習の時間等との関連のある内容を取り扱い生徒の理解を教科横断的に深めたり、SDGs の 17 の目標に関連した題材を豊富に取り上げたりしている。 ○ 教科書に掲載されている QR コードや学習者用デジタル教科書の R マークを活用することで、家庭でも学習を進めることができるように、適切に配置されている。 						
4 表現と体裁等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年ともに、本文や基本本文に同一の書体が使用されているため、読みやすい。また、4 線については、第 2 線と第 3 線の間隔を広くし、小文字が書きやすいように配慮されている。 ○ 生徒が親しみやすいようなマンガのイラスト調で登場人物が描かれており、学校生活や日常生活を中心として内容が展開しているため、英語を聞いたり読んだりする抵抗感を和らげるような工夫がされている。 ○ 活字はすべてユニバーサル書体を採用しており、イラストや挿絵などについてもカラーユニバーサルデザインの観点から配色及びデザインを見やすくなるよう考慮されている。 ○ イラスト・写真・図などの視覚資料も豊富に掲載されており、本文の内容を生徒が学習したり、理解したりするために配慮されている。 ○ 環境に配慮された再生紙や植物油インキを使用しており、繰り返しの使用にも十分に対応できるような製本となっている。 						

種 目	英語	発行者の 番号・略称	1.5 三省堂	教科書 の記号・ 番号	英語 703 803 903	書 名	NEW CROWN English Series 1 NEW CROWN English Series 2 NEW CROWN English Series 3
1 記述内容に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Lesson で5領域を活用した学びのプロセスを明示した上で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、日常的にコミュニケーションを図る力を養うよう工夫されている。 ○ 各 Lesson の扉に学習目標、巻末に What Can I Do? が示され、学びの見通しと振り返りができるように配置されている。 ○ 1年生の Lesson 3 までは、小中の学びの接続を視野に入れ、音声と文字の関連を図っている。発達段階を考慮し、日常生活に関することから社会理解まで幅広く扱っている。 ○ 4技能5領域を総合的に育成するため、学習内容を Lesson の GET から USE の学習を通して繰り返し、関連性を持たせて配置されている。 ○ 伝統文化や異文化理解、自然との共生、人間理解等について扱い、生き方を考えさせる内容となっている。巻末に出所、出典が示されている。 						
2 組織と配列に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Lesson が「理解・活用・分析・振り返り」で構成されており、4技能5領域を系統的に指導できるよう配列されている。 ○ 各 Lesson のまとめには、Take Action, Get Plus, 文法のまとめが設定され、習得した内容をより発展的に学習できるよう配慮されている。 ○ 学期ごとに配置された Project では、実践的で協働的な活動に取り組み、コミュニケーション能力を伸ばすことができるよう工夫されている。 ○ 見開きのページで1パートを扱っており、内容の分量も適切である。各学校が年間指導計画を立てやすい構成となっている。 ○ 「タウンガイド」や「将来の夢」、「まちづくり提案」等、実生活や地域に関連付けた言語活動を展開できるように自己表現する題材が盛り込まれている。 						
3 学習と指導に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ とびら、GET で知識・技能の習得、USE で思考力・判断力・表現力を養い、Project で様々な言語活動を総合的に活用できるよう工夫されている。 ○ GET PLUS や For Self-study において言語の使用場面が多様に盛り込まれており、実践的なコミュニケーションにつながりやすい内容になっている。 ○ 左ページに本文や文法事項を掲載することで基礎・基本の習得をねらいとしている。右ページに活用を図る活動を設定することで、生徒の多様な能力に対応できるように配慮されている。 ○ 食文化、国際社会、共生、平和等を題材として扱っており、他教科等との関連を図った指導ができるよう工夫されている。 ○ 各 Lesson にQRコードがあることで、実際の音声を繰り返し聞いたりすることができ、学習効果を高められるよう配慮されている。 						
4 表現と体裁等に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 入門期に、手書き風文字を使用し、2線と基線の間を若干広げた書き込み欄を設定するなど、文字使用への配慮が見られる。また、学年に応じて運用度の高い表現が配置されている。 ○ 4技能5領域の学習について記号で示すことで、高める能力の焦点化を図っているなど、生徒にとって分かりやすいものとなっている。 ○ 字体はユニバーサルフォントデザインを使用している。大きさも適切であり読みやすく、生徒にとって負担とならないように工夫されている。 ○ 写真や図表等が、豊富にバランスよく配置されている。生徒が見やすく、理解しやすいよう配慮されている。 ○ 再生紙や植物油インキを使用している。また、繰り返しの使用に対応できるよう製本も堅ろうである。 						

種 目	英 語	発行者の番号・略称	9	教科書の記号・番号	英語 702 802 902	書 名	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3
			開隆堂				
1 記述内容に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4観点5領域のコミュニケーション活動が相互に関わり合った構成となっており、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するという教科の目標を十分に満たしている。 ○ 各学年のゴールを明確にし、3年間を見通したパフォーマンス活動が配置されている。また、CAN-DOリストで、学びを振り返りながら学習を進められるよう配列されている。 ○ 小中接続が意識されており、小学校英語で慣れ親しんできた音声を文字に結び付け、中学校でのコミュニケーション活動へスムーズに移行できるよう工夫されている。 ○ 対話により自分の考えを広げ、深める構成である。また、読解により物事を捉える「見方・考え方」を働かせて深い学びにつなげている。 ○ 日本の伝統文化、異文化、自然科学、SDGsに関連した教材が豊富であり、豊かな心を育む題材が精選されている。また、出所、出典が明らかである。 						
2 組織と配列に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ PROGRAMを通して、4技能5領域を総合的に扱うコミュニケーション活動がスムーズにできるよう配列されている。また、学習の流れ（習得→思考→表現）が基礎・基本の確実な定着につながるよう工夫されている。 ○ 3年間の最終的なGoalを明確に示し、その上で学年毎のGoalを設定しており、生徒が見通しを持って学習することができる。 ○ 3つのスモールステップ活動（Try Interact Our Project）を取り入れており、即興で伝え合う力の育成を目指すように配慮されている。 ○ 配当時間数は1年94時間、2年103時間、3年94時間と設定されており、各学校の実態に応じて工夫して計画を立てることができるように配慮されている。 ○ 小学校段階の学びを意識した配列である。また、学校生活や季節、食、環境問題等、生徒の実態及び実生活に即しており、それらに関連させた指導ができる。 						
3 学習と指導に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ Think から Reading までの活動を通して、読む力・考える力・理解力・表現力、さらに伝え合う楽しさを味わわせることができるように工夫されている。 ○ 各学期に1回「Our Project」が設定され、多様な学習形態で学び合うことができ、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされている。 ○ カラーユニバーサルデザインや書体の工夫が取り入れられており、インクルーシブ教育への配慮がなされている。 ○ 日本の伝統文化や偉人を幅広く扱っている。他教科との横断的な学習や、地域社会と連携して指導できる。職場体験の題材では、自己の進路を考えることができる。 ○ QRコードから音声や映像、新出語句や文法アニメを活用して学習をすることができ、生徒の主体的な学習を促す工夫がなされている。 						
4 表現と体裁等に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生の入門期は欧文書体が用いられ、文字学習への細かな配慮がなされている。英語は現代の標準的な表現が使われている。 ○ 各 PROGRAM の表紙ページでは生徒の興味や関心をひく写真が用いられ、親しみや魅力を感じるような配慮がなされている。 ○ カラーユニバーサルデザインや書体の工夫により、生徒にとって優しい配慮がなされている。印刷は鮮明で見やすく、ゆとりある構成となっている。 ○ イラスト・写真や図表等をバランスよく配置している。また、重要な表現には色付けをするなど、カラーユニバーサルデザインが効果的に用いられている。 ○ 環境に配慮した用紙やインキで印刷されており、繰り返しの使用に対応できる。 						

種 目	英 語	発行者の番号・略称	17	教科書の記号・番号	英語 704 804 904	書 名	ONE WORLD English Course 1 ONE WORLD English Course 2 ONE WORLD English Course 3
			教出				
1 記述内容に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実践的な言語活動を重視し、実際に使えるコミュニケーション能力を図る資質・能力を養う工夫がなされている。 ○ 5つの領域ごとに設定された Can-Do 自己チェックリストにより、長期的な見通しの中で目標到達度を確認することができる。 ○ 各 Lesson には、Review, Task, Grammar が設定され、本文の内容や言語材料に重層的に理解できるようにし、その上で Project 等では、実践的なコミュニケーション活動を通して、表現・発信する力を身に付けるように配慮されている。 ○ 新出文法や文構造に、段階的に取り組むことができるように様々な角度から配慮がなされ、応用・発信に無理なく取り組む素地を養うことができるようにしている。 ○ 感性を刺激し、心を動かす読み物教材や思考や共感を高める資料があり、出所、出典が巻末に明記されている。 						
2 組織と配列に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校英語で養われた素地を生かし、身近な活動を通して英語に親しむ配慮がなされ、小中の学習を一体にとらえた英語学習のリストが掲載されている。 ○ 各 Part には、Goal には学習目標と場面設定が明示され、生徒が見通しと意欲を持って学習に取り組むことができるようにしている。 ○ 各 Lesson の言語材料を重層的に理解できるコーナーが設けられ、また対話活動では即興的に話す力が身に付くように Activities Plus が工夫されている。 ○ 1年生117時間、2年生107時間、3年生106時間で単元を構成しており、各校の生徒に実態に応じて年間指導計画を作成できるようにしている。 ○ SDGs の達成を目指して、地球や人々の今とこれからを見つめる題材を工夫していることから、ESD と関連させて指導することができる。 						
3 学習と指導に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4技能5領域をスモールステップで学習することにより、基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させ、学期ごとに Project での表現活動につなげる工夫がされている。 ○ Activities Plus では「話すこと（やりとり）」の活動を学習段階に応じたステージに取り入れ、「生きて使える英語力」を身に付けさせる工夫がされている。 ○ 色の識別がしやすいようカラーユニバーサルデザインを取り入れている。日本語の活字にはユニバーサルデザインフォントを使用しており、生徒のための配慮がされている。 ○ SDGs の達成に向けた取組を題材として取り上げている。他教科やその他の活動と関連させ、世界の多様な在り方と課題を見つめ、「自分のこと」として向き合うように工夫されている。 ○ QRコードを用いた音声学習やマスキングシートなど生徒が主体的に学べるようなコンテンツが豊富であり、基礎・基本の確実な定着につながる。 						
4 表現と体裁等に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ スムーズな小中接続を目指し、1年生の入門期では小学校で学習した表現を多く用いている。段階に応じて標準的で運用度の高い基本的な表現が精選されている。 ○ 各 Lesson の表紙ページにはその題材の写真を掲載している。生徒の興味や関心を高め、気付き、思考を広げる工夫がされている。 ○ 1年生の導入期は読みやすさ、書きやすさに配慮している。段階的に実社会で目にすることが多い代表的な書体に慣れ親しんでいけるように工夫されている。 ○ どのページも写真や挿絵等がバランスよく効果的に用いられている。生徒の興味や関心を高める工夫がされている。 ○ 印刷紙には再生紙を、インキには植物油インキを使用するなど、環境への配慮を徹底している。 						

種 目	英語	発行者の番号・略称	38 光村	教科書の記号・番号	英語 705 805 905	書 名	Here We Go! ENGLISH COURSE1 Here We Go! ENGLISH COURSE2 Here We Go! ENGLISH COURSE3
1 読解内容に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Unit で5領域の力をバランスよく伸ばせるよう、Part ごとに目的に沿った言語活動が設定されており、コミュニケーション能力を育成する工夫がされている。 ○ 各 Unit は、扉、Part、Goal で構成されている。特に、単元の目標（「CAN-DO」）が「扉」のページに明示されており、学習の見通しを立てやすく配置されている。 ○ 1年生の Unit 3 までを小中接続期と考え、特に巻頭部分では、フォニックスの手法を用いた帯活動を配置し、音声と文字の関連を図っている。 ○ 4技能5領域を総合的に育成するため、帯教材（Drill 活動）と小教材（実践的言語活動）を主教材（各 Unit）に関連させて配置している。 ○ グローバルな視点で諸外国の様子や職業体験、環境問題等の題材が扱われており、多様な考え方に触れることができる。写真や資料の出所、出典が巻末に明記されている。 						
2 組織・配列に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Unit が、扉、Part1～3、Goal の9時間構成で一貫している。Part で基礎的な知識・技能の習得し、Goal で4技能5領域を身に付けることができるように配置されている。 ○ 各 Unit の Goal において、Listen、Speak、Write の順で言語活動が統合的に設定され、より効果的に学習できるよう配慮されている。 ○ 各学年の学期末に、You Can Do It! が設定され、4技能5領域を統合したタスク型活動に取り組ませることで思考力や表現力を養うことができるように工夫されている。 ○ 1年生 100 時間、2年生 108 時間、3年 95 時間で構成されており、各校の実態に応じた学習内容で年間指導計画が作成できるように工夫されている。 ○ 防災訓練やスポーツの話題から宮城県出身の羽生結弦さんを取り扱うなど、地域に関連した題材が盛り込まれている。 						
3 学習・指導に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 本文の最後には、内容を踏まえ、自分の考えをまとめる Think の問いが設定されている。また、Your Coach で学習の仕方を紹介し、生徒が学習を主体的に進められるように配慮されている。 ○ 目標や各単元や学年全体の目標を明示し、各 Unit や You Can Do It! でプロジェクト型やタスク型の言語活動を行い、生徒の主体的・対話的で深い学びにつながるように工夫されている。 ○ 各 Unit の紙面構成が統一されており、同じ種類の情報を決まった位置に配置し、生徒が迷わずに学習することができるように配慮されている。 ○ 教科横断的な観点から、社会、美術、音楽、総合的な学習の時間等との関連を図れるように工夫されている。また、学校行事や教育活動との連携も図られている。 ○ 音声や映像、リンク集等、学習を広げ深めるコンテンツを紙面に付したコードを通して利用できるようになっており、家庭学習にも活用できるように配慮されている。 						
4 表現・体裁等に関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本文や Active Grammar 等の学習上重要な箇所は、太い線ではっきり囲んだり、太字で書いたりするなど、生徒が他の情報と判別しやすくできるように工夫がなされている。 ○ 登場人物のほとんどが生徒たちと同年代に設定されているとともに、それぞれの Unit で採用されているキャラクターのイラストも生徒が親しみを感じやすいように描かれている。 ○ 小中接続期には手書き体、1年生後半はブロック体、2年生からはセリフ体へと書体を用い、外部試験等で使用される書体に少しずつ慣れさせるように配慮している。 ○ 大判のイラストや、鮮明な写真を用いて、生徒に内容を想起させるような紙面構成となるよう配慮している。また、登場人物の性別や人種等による偏りがないように考慮されている。 ○ 製本は、堅ろうで長期間の使用にも耐えられるものとなっている。また、エコマーク認定の植物油インキを使用しており、環境と健康にも十分に配慮している。 						

種 目	英 語	発行者の番 号・略 称	61 啓林館	教科書 の記号 ・番号	英語 706 806 906	書 名	BLUE SKY English Course 1 BLUE SKY English Course 2 BLUE SKY English Course 3
1 記述内 容に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ グローバル化社会を見据えた内容の題材を扱い、バランスのよい4技能の言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するように工夫されている。 ○ ユニットの扉には「～できるようになる。」という表し方で学習の目標が示され、見通しを持って学習できるように配慮され、簡潔にまとめられている巻末のCAN-DOリストにより学習の振り返りができるように配置されている。 ○ 実在の人物や出来事を題材として扱い、生徒の興味・関心を引き出し、発信力や読解力を高め、深い学びにつながるように工夫されている。 ○ 各Partに書く活動が設定され、自分の学校や町の紹介や防災をテーマに取り上げている。 ○ 他教科の知識と連携させることでより深く理解することができるように工夫されている。また、SDGsと関連させた内容を取り上げている。 						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読んだり聞いたりした内容について、話したり書いたりするなど、複数技能を統合した言語活動が行えるように工夫されている。 ○ ユニットの扉では学習の目標が示され、Targetのまとめでは、関連する文法事項をまとめて理解することができる。 ○ Targetで基本となる文法事項の定着を図ることができ、Tool Box、Word Boxで扱う語句を拡充し、多様な内容の発信ができるようにしている。 ○ 1学年、2学年では103時間、3年生では88時間扱いで単元が構成され、生徒の実態に応じて年間指導計画を作成することができるように配慮されている。 ○ 3年生の最後のFurther Studyでは、ディスカッションや長文作文に慣れ、高校での学習へのつながりに留意されている。 						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4技能をバランスよく扱うとともに、「話すこと」については、「やりとり」と「発表」に分けて扱い、思考力、判断力、表現力を養えるように工夫されている。 ○ ペアやグループでの活動を設け、伝え合い、理解し合うことで対話的で深い学びを充実させることができるようにしている。 ○ Targetには分かりやすく文法事項の解説を付けたり、QRコードによる音声を活用したりすることで、生徒が自学自習に活用できるようにしている。 ○ 自然との共存、反戦、生命の尊さ、生き方を扱った題材を扱い、他教科やSDGsとの関連を図った学習ができるようにしている。 ○ QRコードによるコンテンツを利用して、生徒の主体的な学びを促し、More Informationでは題材に関連した興味・関心を高めるように工夫されている。 						
4 表現と 体裁等 に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生の最初には既習事項を確認する題材を配置し、小学校英語でも採用されている5:6:5の4線を使用している。3年生では、高校での学習につながる読解力、文法力を養成するように工夫されている。 ○ 魅力的なイラストや写真を多く用いて、文字以外からも内容を理解しやすくしてあり、日常的な話題から、徐々に社会的な話題に触れられるようにしてある。 ○ 1年生の英語部分にはユニバーサルデザインフォントを使用するなど、個人の特性にかかわらず内容が伝わりやすい配色・デザインを用いている。 ○ 写真やイラストは内容理解を助け学習意欲を高めるようにし、2年生、3年生のユニットのはじめには各パートの学習への意欲・関心を高める写真が配置されている。 ○ 再生紙と植物性インキを使用し、環境に配慮されている。表紙は厚みがあり、堅ろうな製本となっている。 						

種 目	道 徳	発行者の番号・略称	2	教科書の記号・番号	道徳 701 801 901	書 名	新訂 新しい道徳1 新訂 新しい道徳2 新訂 新しい道徳3
			東書				
1 記述内容に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物事を広い視野から多面的・多角的に考える力を育むために、多様なジャンルの教材が配置されている。さらに、補充、深化を図るための補助教材等も工夫されている。 ○ よりよい生き方を主体的に求める志教育の一環として、各学年で勤労を扱った教材を多彩に取り上げ、生徒自らが考え、議論することができるよう配慮されている。 ○ 小中の連携を図った教材や3年間の発達段階を考慮した教材など、多様な教材を配置し、生徒の学習意欲を高めながら進められるよう工夫されている。 ○ 各学年に「生命尊重」「いじめ問題対策」ユニットが設定され、複数の教材を通して深く考えさせるようにするなど、学習の充実を図ることができるように工夫されている。 ○ 教材は、日常的な事柄や伝統・文化、情報モラル、SDGs等の現代的な課題を含め、様々な内容が偏りなく掲載されており、出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年で学習指導要領の4つの視点から、多様な教材が偏りなく取り上げられており、内容の深まりを考慮し、系統的な学びができるように教材配列が工夫されている。 ○ 学習指導要領の内容項目をどの教材で学ぶのか明示してある。各教材の冒頭に設置したテーマによって、ねらいを明確に捉えられるように工夫されている。 ○ 各教材を内容項目ごとの4つの視点に分けた一覧表を配置し、小中9年間の積上げとなるよう、関連的・発展的かつ重点的な取扱いの工夫ができるように配慮されている。 ○ 各学年本教材35点、付録教材5点の構成で、数や分量に偏りのない組織・配列となっており、各校の重点内容項目に合わせて柔軟に指導できるよう配慮されている。 ○ 各学年ともに、年度初めの時期に「いじめ問題対策ユニット」を設定するなど、生徒の学校生活や家庭生活の実態や時期に考慮した配列となっている。 						
3 学習と指導に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決的教材や体験的な教材、学習対応教材Action、探究の対話pageを取り入れるなど多様な指導法が紹介され、級友と協働して考えを深められるように工夫されている。 ○ 様々な分野で活躍する人を扱った教材、生徒の興味を引き出す絵や写真、漫画等を取り入れた教材が多く、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。 ○ 様々な人物や事柄を取り上げた教材を採用している。多様性を尊重する態度を養うために、他者理解や国際理解に関する多様な教材を盛り込んでいる。 ○ 各教科と関連する教材には、教材冒頭の右下に教科マークを配置している。デジタルコンテンツとして、関連する他教科の教科書紙面をPDFで確認することができる。 ○ 巻頭に「話し合いの手引き」が掲載されている。また、学習に関連する資料活用のためのQRコード及びウェブページアドレスが裏表紙に明示されている。 						
4 表現と体裁等に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材の設定間は文節の区切りで改行し、意味を捉えやすいように配慮されている。また、学年の実態に応じた文字数やフォントの大きさ、内容となっている。 ○ 各学年で漫画教材に触れさせ、内容に親しみを感じられるよう配慮されている。また、大きな写真を背景とした詩を掲載し、生徒に魅力を感じさせるよう工夫している。 ○ 活字は、一般的な書体よりも少し太いユニバーサルデザインフォントを採用している。印刷は鮮明で、目に優しい色を基調とし、色覚特性への配慮がされている。 ○ 生徒に感動を与えたい教材については写真を大きく掲載している。全体的に、教材の内容を理解しやすいようにイラストや図表が効果的に配置されている。 ○ 製本は大きく紙面を開くことができる堅牢なあじろ縫いである。環境に優しい再生紙や植物油インキを使用するなど、環境やアレルギーへの配慮がされている。 						

種 目	道徳	発行者の番号・略称	17	教科書の記号・番号	書 名	中学道徳1 とびだそう未来へ 中学道徳2 とびだそう未来へ 中学道徳3 とびだそう未来へ
			教出			
1 記述内容に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の興味・関心を高める教材や身近な出来事を扱った教材を取り上げ、登場人物に自己を投影して道徳的諸価値の理解を深めることができるように工夫されている。 ○ 将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていくために、年代に即した教材を用いており、生徒自らが考え、議論することができるよう配慮されている。 ○ 小中の連携を図った教材や3年間の発達の段階を考慮した教材を配置し、学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 長く読み継がれてきた教材を数多く掲載している。また、漫画や新聞記事など、多様な形式の教材を精選して幅広く取り上げている。 ○ 教材は、日常的な事柄や伝統・文化、情報モラル、SDGs等の現代的な課題を含め、様々な内容が偏りなく掲載されており、出所、出典が明示されている。 					
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも学習指導要領に示された4つの視点において多様な教材が偏りなく取り挙げ、内容の深まりを考慮し、系統的な学びができるように教材配列が工夫されている。 ○ 主題名を明示し、主体的に見通しをもって学べる配慮がされ、学期ごとにバランスよく配列されている。視点が分かるよう教材ごとにマークを掲載するなどの工夫がある。 ○ 「いじめや差別のない社会」「生命の尊重」について、複数の教材を組み合わせ、関連付けて指導ができるように工夫されている。 ○ 各学年本教材35点、付録教材5点の構成で、実態に応じ柔軟に指導できるよう配慮されている。生徒の発達の段階や学校行事の時期などを考慮した配列になっている。 					
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材の末尾の「学びの道しるべ」で物事を自分事として捉え、多面的・多角的に考えを深められるような発問が示され、自己を見つめることができるよう配慮されている。 ○ 教材の初めに学習のねらいを意識した問い掛けがあり、主体的な学びを促すものになっている。また、役割演技等を通して対話的な学びができるように工夫されている。 ○ 性差やLGBT、人権に関する教材を扱っており、生徒の多様な個性や能力に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 現代的な課題を取り上げて他教科との関連を図ったり、学校行事や生徒会活動、体験活動等を想起させて指導したりすることができる内容を取り扱っている。 ○ 内容理解の一助となるような挿絵、写真等が適切に配置され、学習に関連する資料活用のためのQRコード及びウェブページアドレスが目次のページに掲載されている。 					
4 表現と体裁等 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は読みやすい文章で構成されており、文章理解の一助となるように難解な語句には注釈を付けて解説を加えている。 ○ 生徒の思考の一助となる挿絵や写真が適切に配置されており、資料に対する親しみや魅力を感じさせるような工夫がされている。 ○ 生徒の読みやすさに配慮した活字の大きさやフォントが適切であり、写真や挿絵は鮮明である。生徒の発達段階に応じた大きさの文字が使用されている。 ○ 全体的に、教材の内容を理解しやすいようにイラストや図表が効果的に配置されている。また、文章構成が分かりやすい位置で改行されている。 ○ B5サイズで軽量であり、製本も堅ろうである。環境に優しい再生紙や化学物質を抑えた植物油インクを使用するなど、環境やアレルギー・健康への配慮がされている。 					

種 目	道 徳	発行者の 番号・略称	3 8	教科書の 記号・番号	道徳 7 0 3 8 0 3 9 0 3	書 名	中学道徳1 きみがいちばんひかるとき 中学道徳2 きみがいちばんひかるとき 中学道徳3 きみがいちばんひかるとき
			光村				
1 記述内 容に関 するこ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活で起こりうる問題やメディアで取り上げられた出来事などの多様な教材を自分の問題として捉え、問題解決的な学習や体験的な学習ができる工夫がなされている。 ○ 「生命」「いじめ」「情報」などの各学校で重点項目として扱われやすい内容を各学年で複数設け、3年間を通して考えを深める学習が系統的に行われるよう工夫されている。 ○ 学校生活での出来事や生徒の成長を意識したテーマで3つのユニットに分け、生徒の心の葛藤や生き方を考えさせる発問や揺さぶりで深く考えさせる工夫がされている。 ○ ユニット毎に関連性の深い内容を配列し、既習事項と関連付けて考えを深める工夫がなされている。付録で小学校教材を扱い、自己の変容が実感できる工夫がなされている。 ○ 様々なテーマの読み物教材、問題解決的な学習につながる教材、漫画、詩、Webページなど多様な教材がバランスよく配置されており、出所、出典も明示されている。 						
2 組織と 配列に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間を3つのシーズンに分け、それぞれに「まなびのテーマ」を設定し、年間行事や学年の発達段階等に合わせて系統的、連続的に学習がなされるように工夫されている。 ○ 教材毎の「学習のてびき」に生徒が何を学び考えればよいか具体的に示されており、学習のねらいを意識しながら「考え、議論する」学習が行われるよう配慮されている。 ○ 「生命」「いじめ」等、現代的な課題を多角的に考えられるように資料が配置されており、「深めたいむ」で自己の課題として重点的に考えられるよう工夫されている。 ○ 道徳科の取組に対する見通しや振り返りのための時間が位置付けられている。また、内容項目の数や分量を学校の年間指導計画に弾力的に適合できるよう配慮されている。 ○ 学校行事や総合的な学習の時間、部活動など、生徒が学校生活の中で経験する事柄を教材として取り上げ、学校現場の実情に合わせた時期に扱えるよう配慮されている。 						
3 学習と 指導に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」で深く考えさせ、「見方を変えて」で新たな問いを投げ掛け、多角的な見方や考え方に気付けるよう工夫されている。コラムで思考に広がりをもたせる工夫がなされている。 ○ 身近な話題やメディアで見聞したことのある教材で興味・関心を高め、イラストや写真、投稿者の意見等の資料で自他の考えを比較しながら深く学び合えるよう工夫されている。 ○ デジタル教材であらすじを視覚的に示すことや、ユニバーサルデザインで価値項目を分類・提示をすることで、多様な生徒に幅広く対応するための工夫がされている。 ○ 教材末の「つなげよう」により、他教科や総合的な学習の時間、日常生活と関連付けながら学びを深めることができるよう配慮されている。 ○ 各教材のタイトルの下に QR コードが掲載されており、動画や関連資料等のコンテンツにアクセスすることができるようになっている。 						
4 表現と 体裁等 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年を通して適切な長さの読み物資料であり、漫画や詩、Web ページなど、短くて理解しやすく、考えやすい資料を多くするなど学習への配慮がなされている。 ○ 有名な声優の音読資料や、大きくて鮮明な写真、漫画資料など生徒が親しみやすく、魅力を感じる工夫がなされている。 ○ 読みやすいユニバーサルデザインフォント（UD フォント）を採用し、挿絵や写真においても各ページにおいてユニバーサルデザインに基づく配慮がなされている。 ○ 内容理解につながるストーリー性のある挿絵や、イメージを広げ、具体的な知識を得るための絵や写真、グラフなどが必要な場所に配置されており適切である。 ○ 強度が十分であり、開きやすいつくりである。表紙はPP ラミネート加工されており、汚れ等が付着しにくい。環境に配慮した用紙やエコマーク認定インキも用いられている。 						

種 目	道 徳	発行者の 番号・略称	116	教科書の 記号・番号	道徳 704 705 804 805 904 905	書 名	中学道徳 あすを生きる1 中学道徳 あすを生きる1道徳ノート 中学道徳 あすを生きる2 中学道徳 あすを生きる2道徳ノート 中学道徳 あすを生きる3 中学道徳 あすを生きる3道徳ノート
			日文				
1 記述内容 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な人物から先人までの、悩みや葛藤などの心の揺れやそれを乗り越える強さなどを教材として扱い、よりよく生きる喜びや勇気が得られるよう内容が構成されている。 ○ 「いじめと向き合う」「よりよい社会と私たち」の二つのユニットを全学年の重点項目とし、学期ごとに教材・コラムを活用しながら集中して学べるように工夫してある。 ○ 各学年の学校行事等との関連を図りながら教材を適切な時期に配列するなど、生徒の心身の発達段階を考慮し、学習意欲を高めることができるよう工夫されている。 ○ 別冊「道徳ノート」を活用し、自分の考えを書いたり、友達のを考えをメモしたりするなど書く活動の充実を図ることで、多角的多面的に考えられるよう配慮されている。 ○ 情報モラルや防災、環境問題等の今日的な課題の教材や、家庭や学校、社会等の幅広い内容の教材がバランスよく扱われており、出所、出典も確実に明示されている。 						
2 組織と 配列に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の発達段階を考慮し、学年ごとにキャリア教育の理念に基づいたテーマが設定されており、系統的・発展的に学びを深められるよう工夫されている。 ○ 全教材の冒頭に主題名が記載されており、生徒が見通しをもって主体的に学習できるよう配慮され、教材前後のコラムで、学習が深められるよう工夫してある。 ○ 生命尊重をはじめ全学年共通として9つの内容項目を重点項目とし、複数の教材を扱っている。いじめに関する内容については、全学年で関連的・発展的に配列されている。 ○ 22の内容項目を35時間にバランスよく配置し、数や分量に偏りのない組織・配列で、各学校の年間指導計画に合わせて、差し替えて学習することも考慮されている。 ○ 学校や家庭での生活、伝統的な行事等の関係を考慮して教材が配列されている。各地の魅力的な題材が教材・コラム化されており、地域教材の活用、開発に配慮されている。 						
3 学習と 指導に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年、6教材ずつ「学習の進め方」が設定されており、それぞれの学習過程の中で、「考え、議論する道徳」が展開できるよう、道徳の時間の活動例が示されている。 ○ 1時間の学習の流れを、「気付く」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」の3つのステップで構成し、主体的・対話的で深い学びとなるよう配慮されている。 ○ 身近な生活場面や活躍中のスポーツ選手の教材、漫画やグラフを扱う教材など、多岐にわたる教材を用いており、生徒の多様な個性や能力に対応できるよう配慮されている。 ○ 巻末に各教科等との関連が示されており、各教科等における道徳教育の指導を補ったり、深めたり、統合・発展させたりすることができるよう配慮されている。 ○ 問題解決的な学習や体験的な学習には「学習の進め方」「学習を深めるヒント」が示されている。目次にQRコードを表示し、参考画像・動画等を閲覧できる。 						
4 表現と 体裁等 に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校で学習する漢字や固有名詞には振り仮名を付け、読みの抵抗感がなくなるよう配慮されている。やや難解な語句には注釈で補足説明がなされている。 ○ 生き生きと学習に取り組む生徒の姿を写真で掲載したり、教材の挿絵や写真、漫画等を取り入れたりしながら、生徒が親しみやすく魅力が感じられるよう配慮してある。 ○ スムーズに読み進められるようUDフォントを、すべての生徒に見やすいようカラーユニバーサルデザインを使用し、見やすく、読みやすくなるよう配慮されている。 ○ 図版が鮮明で大きく配置され、教材名の下に登場人物を紹介するなど、教材の内容を生徒が理解しやすく、興味関心をもてるようレイアウトが工夫されている。 ○ 製本はあじろ綴じ、表紙には表面加工が施され、堅ろうである。印刷は、植物油インキと再生紙を利用し、環境への配慮がある。軽く、裏写りの少ない用紙を使用している。 						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳	7 0 6	書	新・中学生の道徳 明日への扉1		
			学研						8 0 6	新・中学生の道徳 明日への扉2
								9 0 6	名	新・中学生の道徳 明日への扉3
1 記述内 容に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材を「よりよく生きるための22の鍵」として4つの視点ごとに分類し、内容項目に照らし合わせて自らの生き方を深く考えられるよう工夫されている。 ○ 重点内容として「生命尊重」「いじめ防止」を、ユニット学習として「SDGs」「キャリア教育」が全学年に位置付けられており、県の方針に沿った形となっている。 ○ 生徒の発達段階を考慮し、学年ごとに重点内容項目が設定してあり、よりよい生き方について系統的に学びを深めることができるよう工夫されている。 ○ 道徳の時間に学んだことを自分に照らし合わせて考えるページ、自分の学びを振り返るページ等、学習の充実と発展を図り、豊かな心を育むことができるよう工夫されている。 ○ 情報モラルや防災、環境問題等の今日的な課題の教材や、様々な分野で活躍する人たちに関する教材等が偏りなく配置されており、出所、出典も確実に明示されている。 									
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重点内容に複数の教材を設定したり、視点や内容項目の異なる複数の教材を関連させたりしながら広い視野で考えられるよう、教材配列が系統立てられている。 ○ 全教材で教材名の下に本時のねらいにつながるキーフレーズが記されており、生徒が主体的に課題を発見し、目的意識をもって学習に臨めるよう工夫されている。 ○ 「かけがえのない命」をはじめとした6つのテーマに主な教材を分類し、一覧表に整理しており、関連性や発展性を意識した指導ができるよう工夫されている。 ○ 22の内容項目を35時間にバランスよく配置し、重点項目以外の内容項目については、数や分量に偏りのない組織・配列で、各学校の年間指導計画に適合しやすくなっている。 ○ 生徒の学校生活や家庭生活、日本各地の自然や伝統的な行事等に合わせた教材配列が工夫されており、地域に関連した教材の活用、開発ができるよう配慮されている。 									
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特設ページ「深めよう」で生徒の考えを深めるための具体的な学習の手順が例示されており、「考え、議論する道徳」となるよう、道徳の時間の進め方の指針が示されている。 ○ 幅広いジャンルで活躍している人を取り上げている教材が多く、先人の業績を含めた様々な生き方から主体的・対話的で深い学びができるよう工夫されている。 ○ 読み物資料以外に、絵や写真、図等を組み合わせ作成した新感覚教材が豊富にあり、生徒の自由な発想を促すことで、多様な個性や能力に対応できるよう工夫されている。 ○ 全学年に各教科等での道徳性の育成につながる教材や総合的な学習の時間との関連に配慮された教材が掲載されており、関連を図りながら指導できるよう構成されている。 ○ 各教材に学習の手引きが記載されており、挿絵、写真等は、内容の理解を深められるよう適切に配置されている。QRコードから、補助教材へアクセスすることができる。 									
4 表現と 体裁等 に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校で学習する漢字や固有名詞には振り仮名を付け、漢字の学習状況に関わらず、読み進めることができるよう配慮されている。難しい用語には注釈が付けてある。 ○ 読み物資料だけでなく、絵や写真、図やグラフ等、様々な素材で紙面が構成されており、生徒の感性や興味関心、学習意欲に訴えかける工夫がなされている。 ○ ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインを採用し、生徒の発達段階に応じて、見やすい書体・文字の大きさ、適当な行間、鮮明な印刷となっている。 ○ 図表や挿絵、写真等は、教材文との関係性に配慮し、視覚的にとらえやすいように配置してある。挿絵は生徒の理解を助けるための配慮もなされている。 ○ 製本はリサイクル性の高いのりを使用し、無線綴りで開きやすく特殊加工により堅ろうである。印刷は環境にやさしい紙、植物性インキ等を使用しており、環境への配慮がある。 									

種 目	道徳	発行 者の 番 号・略 称	232	教科 書 の 記 号 ・ 番 号	道徳707	書 名	中学生の道徳自分を見つける1 中学生の道徳ノート自分を見つめる1 中学生の道徳自分を考える2 中学生の道徳ノート自分を考える2 中学生の道徳自分をのぼす3 中学生の道徳ノート自分をのぼす3
			廣 あかつき		708 807 808 907 908		
1 記述内 容に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書では、様々な題材を取り上げ、主体的・対話的に学習を進めながら、多面的・多角的に考えさせ、道徳ノートで道徳的価値の理解が深められるよう工夫されている。 ○ いじめ・人権尊重に関わる内容の教材が各学年に配置されており、中心となる内容項目に加え、様々な内容項目を関連させながら考えを深められるようになっている。 ○ 別冊の道徳ノートでは、学習を振り返りながら、学んだことを積み重ねられるよう巻末に「心のしおり」のページがあり、学習意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 2年生では福島県の東日本大震災から馬追を復活させた話が教材として取り上げられており、同じ被災地として関連させながら指導を深められるよう配慮されている。 ○ 現代的な課題やキャリア教育を扱った教材をはじめ、先人や自然、伝統と文化等、幅広い分野からの内容が精選され、出所、出典も明示されている。 						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な教材がバランスよく配置されており、教材をもとに、主体的・対話的な学習を通して、多面的・多角的な思考を促すよう工夫がなされている。 ○ 各教材の末尾に「学習の手がかり」を配置することにより、見通しを持ち、授業で何を考えていくのかを明確にできるよう配慮されている。 ○ 「生命の尊さ」が最重点項目と位置付けられており、関連する「思いやり・感謝」等、各校で重点項目として設定されると予想される内容項目が多く扱われている。 ○ 防災教育やキャリア教育、福祉に関係する教材が取り上げられており、各校の実情に応じて年間指導計画と関連させるとともに、志教育の充実も図ることができる。 ○ 女川の石碑や気仙沼のカキ棚等、宮城県が題材として取り上げられている内容もあり、各地域の生徒の実態に応じた指導ができるように工夫されている。 						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材の末尾の「考える・話し合う」では、中心発問例や、自己の生き方につなげさせるための発問例が示してあり、授業がイメージしやすいよう工夫されている。 ○ 各教材の末尾には、先人の名言等も参考として掲載されており、授業の振り返りに加えて、生徒の視野を広げることができるよう工夫されている。 ○ 学校生活で起こりうる身近な題材を多く取り上げることで、多様な個性を持つ生徒が道徳的問題を自分事として捉え、様々な視点から考えられるように工夫されている。 ○ 巻末に、教材と内容項目、各教科等との関連を示した一覧があり、他の教育活動との関連を図り、効果的に道徳教育を進められるよう配慮されている。 ○ 教科書に道徳ノートの関連ページがあるほか、4つの視点でタイトルが色分けされている。道徳ノートには、私たちの道徳でも使用されていた図表が適切に配置されている。 						
4 表現と 体裁等 に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未習の漢字にはすべてふりがなを配するなど、スムーズに教材を読めるようにすることで、考え、議論する時間を確保しやすいよう配慮されている。 ○ 大きめのA B版を採用することにより、写真やイラストが大きく配置され、内容をイメージしやすいよう工夫されている。イラストも生徒が親しみやすいものになっている。 ○ 教科書、道徳ノートともに、タイトルはユニバーサルデザインフォント、本文は明朝体を採用し、抵抗感なく読めるよう配慮されている。 ○ イラストを見ただけで、教材の内容がおおよそ理解できるよう効果的に配置されている。写真や図表についても、活動や書き込みがしやすいようバランスよく配置されている。 ○ 本冊に別冊のノートが収納できるように体裁が整えられており、堅ろうである。印刷には植物性インキが使用されており、環境への配慮もなされている。 						

種 目	道徳	発行者の番号・略称	233	教科書の記号・番号	道徳709 809 909	書 名	道徳 中学1 生き方から学ぶ 道徳 中学2 生き方を見つめる 道徳 中学3 生き方を創造する
			日科				
1 記述内容に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権、環境、福祉などの内容を幅広く教材として扱い、生徒が道徳的問題を主体的に考え、解決していこうとする力を身に付けられるよう工夫されている。 ○ 情報モラルの扱いでは、SNSのやりとりを教材化するなど、徒が教材の中の問題を自分のこととして考えられるように工夫されている。 ○ 学年間で内容につながりがある教材やストーリーに連続性がある教材が学年に取り上げられており、発達段階に応じて学習意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 生徒の身近な話題から現代的な課題を扱ったもの、先人から学ぶ教材等、生徒の学習が充実するように内容が精選されている。 ○ 日本各地の伝統や文化、魅力あふれる人物教材等、様々な教材が配置してあり、出典も分かりやすく明示されている。 						
2 組織と配列に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリア教育の視点から、1年「自己理解」、2年「自己啓発」、3年「自己実現」を目指して系統的に内容が構成されており、心教育の充実も図ることができる。 ○ 巻末に1年を振り返るページがあり、ねらいに沿って身に付けたい心が分かりやすく整理されており、自己の成長を実感することができるよう工夫されている。 ○ 教材の中に葛藤場面が多く設定されており、多面的・多角的に道徳的な問題について考え、議論できるように工夫されている。 ○ 内容項目順に教材が配列されているので、行事や生徒の実態等、学校の実情に応じて、年間指導計画を柔軟に作成できるようになっている。 ○ 東北を襲った東日本大震災を扱った教材や海に関係する題材もあり、気仙沼管内の特性を生かした指導も可能となる内容になっている。 						
3 学習と指導に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「でも・・・」に続く言葉を考えさせる発問など、生徒が自然に道徳的問題について考え、議論できるような教材文や発問が工夫されている。 ○ 生徒の生活経験に近い教材がバランスよく配置されており、実体験に基づき、主体的に考え、道徳的価値の理解を深められるように工夫されている。 ○ 障害者差別解消法やLGBTを扱った教材もあり、多様な個性を社会の中でどのように認め、どのように生きていかなければならないか考えられるようになっている。 ○ 社会科の公民の分野や学級活動のキャリア教育等、他教科や他領域との関連も図りながら進められるよう配慮されている。 ○ 道徳での学びを確かなものにするため、全ての教材に「学習の手がかり」が示されている。教材の内容と関連したコラム、挿絵、図表、写真等は、適切に配置されている。 						
4 表現と体裁等に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒にとって難解な言葉については、ページ下部に注釈がある。また、「もっと知りたい」のコーナーにおいて、学んだことが深められるようになっている。 ○ 生徒に親しみやすいイラストを用いたり、自然や地域を扱った題材では、写真を多く掲載したりするなど、学習のイメージを持ちやすいよう配慮されている。 ○ 文字の大きさは標準であるが、一般的な書籍と同じ明朝体を使うことで違和感なく読めるよう配慮されている。 ○ 図・表を活用させたい場合は、特設ページを設けて大きく表示するなど、書き込みや活動を意識したレイアウトになっている。 ○ 丈夫な表面加工になっており、製本も堅ろうで繰り返し開いても破損しないようになっている。氏名部分のみ書きやすいように加工されている。 						

令和3年度使用

教科用図書採択調査研究資料

《小・中学校特別支援学級用》

気仙沼地区教科用図書採択協議会

種目	生活	書名	No.31 こども きせつのぎょうじ 絵じてん 第2版 小型版	発行者名	三省堂				
評	<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の主な年中行事・記念日・祝日について、その由来や言葉、道具、作られる料理などが分かりやすいイラストと説明で整理されている。行事の意義を学び、1年を通して季節感を身に付けることができる。 <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 1月から月ごとに順番に行事が並べられ、季節感を感じるだけでなく家族で過ごすよりよい1年を見つめることができる。 被災のため年中行事等の機会が少なくなった児童生徒にとっても、興味・関心のあることから学んでいくことができる配列である。 <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 各月の最後に、季節に応じた料理や工作の方法が載せられており、発展的な学習にも取り組むことができるようになっている。 月によっては、行事に関連する有名な物語が配置されており、国語など他教科とのつながりを意識することができる。 <p>(4) 表現と体裁等に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 月ごとに色の鮮やかさが異なり、見出しも大きく見やすい。説明の文字の大きさや文字数も適切である。 表紙は堅く扱いやすい。持ち歩いて調べるのに使いやすい大きさである。 <p>(総評)</p> <p>日本の伝統的な行事について、家族での過ごし方を考えさせながら、体験的な活動を交えて学習することができる内容である。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A		◎
B	A								
	◎								
種目	生活	書名	No.32 ジャングルのおと	発行者名	大日本絵画				
評	<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ジャングルをイメージさせる音や、動物の鳴き声を聞くことができ、児童生徒の興味・関心を高めることができる。 表面ののでこぼこを触って楽しめる。また、ページの所々に穴が空いていることで隣のページを穴から覗くことができ、興味・関心につながる。 <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ジャングルの1日の流れが、分かりやすく配列されている。 どのような動物がどこで生活しているのか、分かりやすくなっている。 <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ジャングルの様子について、音や手触りなどを通して、興味・関心を高められる。 動植物の特徴や模様など、ページの表面ののでこぼこで表現していることで視覚聴覚だけでなく、触覚を使って学習することができる。 <p>(4) 表現と体裁等に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 色鮮やかで音が出る仕組みであり、視覚・聴覚で捉えることができる。 堅ろうでめくりやすい。 <p>(総評)</p> <p>現実的には動植物に触れることが難しい児童生徒でも、色々な感覚を使って動植物や自然の事象をイメージでき、好奇心や学習意欲をかき立てる内容である。</p>								
価					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td></td> </tr> </table>	B	A	◎	
B	A								
◎									

種 目	生活	書 名	No. 3 3 こどもぼうさい・あんぜん 絵じてん	発行 者名	三省堂				
評 価	<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活で起こり得る事故や自然災害、犯罪等について、自分の身を守り、安全に暮らすための初歩的な知識や技能を正しく身に付けることができる内容である。 地震や津波のメカニズム、場面毎の避難行動はどうあるべきかを分かりやすく示しており、災害時の行動について理解を深めることができる。 <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全や身近に起こり得る事故から防災・防犯まで6つの章に分けて構成されており、児童生徒の生活や地域の実態に広く対応できるように配慮されている。 全体的に分量はやや多いが、1つのテーマにつき見開きで配列されているので、学習場面に応じた活用ができるようになっている。 <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマ毎にイラストと平易な説明で構成されており、児童生徒の発達段階や特性等に応じた学習ができるように工夫されている。 避難訓練や交通安全教室等の事前・事後学習への活用にも適している。 関連用語の説明や保護者向けの補足説明を活用することで、発展的な学習ができるよう配慮されている。 <p>(4) 表現と体裁等に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども向けの本文は全て平仮名と片仮名で表記され、簡潔な表現が用いられているので、児童生徒が親しみやすさを感じるものとなっている。 それぞれの場面が分かりやすいイラストで示されており、レイアウトやバランスも適切である。 <p>(総 評)</p> <p>児童生徒がとっさの場面で考え、判断し、自分の安全を守るために必要な知識を正しく身に付け、実践意欲を高めることができる内容である。</p> <table border="1" data-bbox="986 1088 1289 1189"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>					B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種 目	生活	書 名	No. 3 4 幼児絵本シリーズ (くまくんの絵本) どうすればいいのかな	発行 者名	福音館書店				
評 価	<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 被服という、発達の度合いや地域性にかかわらず、どの子ども日常的に体験することを題材にしており、生活経験と関わらせた学習を展開しやすいため、社会生活能力の向上を図りやすい内容になっている。 <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の着脱の「間違い」と「正しい」が、ページを区切って明確に区別されているため、子供にじっくり考える時間を与えやすくなっている。 1ページ文字は最大12文字で、子供が飽きない程度の分量になっている。 <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> すべて平仮名表記で文字数が少なく、平仮名の一字一音の対応ができ始めた段階の子供から読むことができる。 問題提起の問いかけの文が、子供には親しみがもてるため、「答えよう」という学習意欲を高められる。 <p>(4) 表現と体裁に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題を提示するページが、左ページは文字中心で、右ページはイラスト中心になっており、見開きで二段階に表現されていて捉えやすい表現になっている。 イラストは枠がなく、空間を感じさせる。文字は大きく、はっきり印刷されている。 <p>(総評)</p> <ul style="list-style-type: none"> 失敗したことが訂正されるという場面が連続しており、子供が自分も正しく衣服を着ようという意欲を高めることができる。 <table border="1" data-bbox="986 1868 1393 1968"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table>					B	A	◎	○
B	A								
◎	○								

種目	国語	書名	No.35 ことものとも絵本 しんせつなともだち	発行者名	福音館書店				
評	<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うさぎ」「しか」「ひつじ」など、気仙沼地域で身近に親しむことのできる動物が登場していて、子供が親しみやすい。また、擬人化された物語ではあるが、身近な動物なので登場人物に共感しやすい内容になっている。 <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平仮名での表現とそれをイメージするイラストが見開きで表現されており、平仮名の学習との関連付けがしやすい。 ・分量はやや多めだが、繰り返しの表現が多いため読みやすい。 <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事の真相が分からないのに同じ行動をする動物たちに共感することで、「思いやり」「優しさ」等に触れ、想像力豊かに読むことができる。 ・お話の最後の部分が、その後どうなったかを想像する余地を残しており、個人の考えを膨らませることができ、対話的な活動につなげやすい。 								
価	<p>(4) 表現と体裁に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挿絵は、寒々しい屋外と穏やかな屋内を色使いで区別しており、暖房器具などの余計なものが描かれていないため、文章表現とのマッチングがしやすい。 <p>(総評)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平仮名で表記された言葉の意味を挿絵で確認しながら読み進められ、文字と言葉を関連付けたり、言葉の使い方を学んだりしやすくなっている。 								
				<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎	
B	A								
○	◎								

種目	職業・家庭	書名	No.25 こころのふしぎ なぜ?どうして?	発行者名	高橋書店				
評価	<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活のなかで出てくる様々な疑問を場面ごとに取り上げている。 ・日常生活に役立つ知識や工夫などが取り上げられており、実際の生活にすぐに取り入れることができる内容である。 <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つのテーマに対して10～15程度の設問に分かれており、具体的な場面を想定しながら読み進めることができるように配慮されている。 <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平易で分かりやすい文章で表現されているので、生徒が抱く疑問などについて理解しやすいように配慮されている。 <p>(4) 表現と体裁に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手になじみやすい紙を使用しており、装丁がしっかりしている。 ・人物や場面をシンプルなイラストで表現しており、親しみやすい。 ・文字が大きく、漢字にはルビが振られており、読みやすくなっている。 <p>(総評)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の心や行動、感情の動きなどに対する関心を持てる内容である。 ・普段何気なく感じる疑問について、丁寧かつ分かりやすい文章で答えている。 ・集団の中で仲良く過ごすために必要なルールについてや自分の心を成長させるために頑張るべきことなどを、分かりやすく説明している。 ・設問ごとにまとめられているので、自分の興味・関心のあるページから読み進めることができる。 								
					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎
B	A								
○	◎								
種目	道徳	書名	No.25 こころのふしぎ なぜ?どうして?	発行者名	高橋書店				
評価	<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で感じる「どうして」、「なぜ」などの気持ちを、「○○のふしぎ」という言葉で疑問や感情を表現することにより、生命や自然への畏敬の念や身近な人との関わり合い方について学ぶことができる内容である。 <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つ目のテーマが自分の心、二つ目に家族や友達との関わり、三つ目に社会でのルールについてという順に配列されており、心の発達段階に合わせた工夫がされている。 <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平易で分かりやすい文章で表現されており、具体的な生活場面が想起しやすく、自分の気持ちや思いについて理解しやすいように配慮されている。 ・「いのちのふしぎ」というテーマでは、命の尊さや大切さについて分かりやすく説明されており、震災による多くの犠牲者が出た気仙沼・本吉地区での指導に生かすことができる。 ・生活経験に合わせた内容のエピソードが多くあり、これまでの経験の振り返りができるとともに、今後の行動に生かすことができる。 ・集団生活のルールについて、なぜそれが必要なのかを分かりやすい文章で記述されており、指導に生かしやすい。 <p>(4) 表現と体裁に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手になじみやすい紙を使用しており、装丁がしっかりしている。 ・人物や場面を親しみやすいイラストで表現しており、人物の心情や場面について共感や理解がしやすい。 ・文字が大きく、漢字にはルビが振られており、読みやすくなっている。 <p>(総評)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の心や行動、感情の動きなどに対して関心を持ち、自分の心を成長させるために努力しようとする心情を高める内容である。 ・普段何気なく感じる疑問について、興味・関心の深まりが期待できる内容である。 ・設問ごとにまとめられているので、自分の興味・関心のあるページから読み進めることができる。 								
					<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table>	B	A	○	◎
B	A								
○	◎								

種目	国語	書名	文部科学省著作教科書(国語C-721) 国語 ☆☆☆☆	発行者名	東京書籍				
評			<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、生かすことができる内容が採り上げられている。 我が国の言語文化に親しみながら、言語がもつよさに気付きながら言語能力を高めることができる内容になっている。 <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 既に学習している事柄を基に、基礎的・基本的な内容の定着を図り、発展的な学習を進められるように配慮されている。 <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の生活の広がりに応じて、地域や社会との関わりの中で必要とされる知識や技能を身に付け、自分の思いや考えを伝える力を高められるよう工夫されている。 体験的な学習につながる内容が多く、他の領域・教科と関連させながら発展的に取り扱うことができるように配慮されている。 <p>(4) 表現と体裁等に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 活字の大きさや字体が適切で、写真や図表もバランスよく効果的に配置されている。 イラストは色彩豊かに描かれていて、生徒にとって親しみやすいものになっている。 <p>(総評)</p> <p>中学校及び特別支援学校(知的障害)中学部用として編集されており、「こくご☆☆☆」を受け、日常生活だけでなく、社会生活に必要な言語能力が高められるよう工夫されている。「聞くこと・話すこと・書くこと・読むこと」の4つがバランスよく採り上げられており、発展的な学習へとつなげることも可能な内容である。</p>						
価				<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table> <p>(中学校・中学部用)</p>	B	A	○	◎	
B	A								
○	◎								
種目	国語	署名	文部科学省著作教科書(国語C-722) 国語 ☆☆☆☆☆	発行者名	東京書籍				
評			<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読む、書く、聞く、話す」の4領域の学習内容を、生徒自身が学校生活と関連させながら具体的に学び、言語能力を高めることができるようになっている。 ふるさとの文化や歴史に興味を持たせたり将来の職業を考えさせたりすることができるようになっている。 <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 詩や俳句、短歌、説明文、物語などの題材がバランスよく配置されており、獲得した文字や言葉を基にしてさらに自己の表現力を高めたり、他者とのコミュニケーションを深めたりすることができるようになっている。 <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 知的に遅れがある生徒が学びやすいように、内容理解に役立つイラストや写真が多く使用されている。 通常の学級の生徒との交流及び共同学習の場面で役立つ内容や、学校行事や総合的な学習の時間の事前・事後指導と関連させて学ぶことができる内容が多く盛り込まれている。 <p>(4) 表現と体裁に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 読みやすいフォントを採用しており、それぞれの文章に応じたイラストや写真が効果的に使われて、生徒が内容を理解するのを助けている。 <p>(総評)</p> <p>生徒が学校生活と関連させて国語を学び、将来の生活を豊かにすることができるよう工夫されている。</p>						
価				<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table> <p>(中学校・中学部用)</p>	B	A		◎	
B	A								
	◎								

種目	数 学	書名	文部科学省著作教科書(数学C-721) 数学 ☆☆☆☆	発行者名	教育出版				
評 価	<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「さんすう ☆☆☆」で学習したことを活用して、さらに大きな数やかけ算、割り算及び図形等を学べる内容となっている。 ・ 「数えること」や「計ること」など、生徒が自立していく上で必要な内容を具体的な例題を使って丁寧に扱っている。 <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数学の基礎的内容がほぼ網羅されており、「数学 ☆☆☆☆☆」と同じ順番で配列されているため、知識・理解の程度が違う生徒を同一学級内で同時並行して指導しやすい作りとなっている。 ・ 作業学習や日常の係活動等に広く役立つ例題が豊富で、何度か繰り返しながら確実に学べるようになってきている。 <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知的に遅れがある生徒が学びやすいように、操作活動を多く取り入れている。 ・ 生徒が対話しながら課題を解決する場面が多数掲載されており、協働による課題解決を促している。 <p>(4) 表現と体裁に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が混乱しないよう、短く平易な言い回しで統一されている。 ・ 挿絵や図表、写真は大きく、余白も十分に確保されていて見やすい。 <p>(総 評)</p> <p>共同実習所での学習や学級の係活動に役立つ内容が豊富に盛り込まれている。基礎的内容を丁寧に学ぶ生徒に適している。</p>								
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>(中学校・中学部用)</p>					B	A	◎	○
B	A								
◎	○								
種目	数 学	書名	文部科学省著作教科書(数学C-722) 数学 ☆☆☆☆☆	発行者名	教育出版				
評 価	<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「数学 ☆☆☆☆☆」で学んだことを思い出しながら、より大きな数の概念や抽象的な概念を学べるようになってきている。 ・ 製品の管理や販売など、将来の職業自立に役立つ内容が豊富に盛り込まれている。 <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元が「数学 ☆☆☆☆☆」と同じ順番で配列されているため、知識・理解の程度が違う生徒を同一学級内で同時並行して指導しやすい作りとなっている。 ・ 「☆☆☆☆」に比べて練習問題が多くなっており、生徒の挑戦意欲を刺激する作りとなっている。 <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災学習や環境学習に関連する内容が多く取り上げられ、本吉地区で学ぶ生徒にとっても非常に役立つ内容となっている。 ・ 練習問題のページでは挿絵などを減らすことで、次第に抽象的概念を育むことができるようになってきている。 <p>(4) 表現と体裁に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 字が大きく行間が広めに設定されており、読字障害を併せ有する生徒にとっても読みやすい。 ・ 操作的活動を要するページには十分なスペースが確保されて描きやすい。 <p>(総 評)</p> <p>作業学習のほか委員会活動や総合的な学習の時間など、生徒が通常の学級の生徒と共に学ぶ際に役立つ内容が盛り込まれ、社会自立や職業自立を意識されている。</p>								
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table> <p>(中学校・中学部用)</p>					B	A		◎
B	A								
	◎								

種目	音楽	書名	文部科学省著作教科書（音楽C-721） 音楽 ☆☆☆☆	発行者名	東京書籍
----	----	----	--------------------------------	------	------

評価	<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界各国や日本各地で親しまれている曲や楽器に関する内容が採り上げられている。 童謡からクラシック、ミュージカルなどの様々なジャンルの楽曲が盛り込まれており、日常の生活を楽しく豊かにすることへの配慮がなされている。 郷土を思う気持ちや人との繋がり、困難に負けない強さなどのメッセージを込めた歌唱曲が採り上げられており、被災地となった郷土の復興や将来の自立した生活に向けて努力していこうという意識を高めることができる。 <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽を作ることへのイメージを膨らませる内容が採り上げられている。 季節や行事等との関連が図られ、生活の中に音楽があることの明るさや楽しさを感じることができる。 <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 情景や曲想を想起しやすいように挿絵や写真が多用され、工夫して配列されている。 音楽を聴いて感じたことを動作で表現したり、リズムに合わせて身体表現をしたり、生徒の発想を生かして学習を進めることができる。 <p>(4) 表現と体裁等に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 色彩がきれいであり、印刷も鮮明である。紙質や体裁も良い。 <p>(総評)</p> <p>世界中の様々なジャンルの曲が採り上げられており、音楽経験を豊かに広げるための配慮がされている。中学校及び特別支援学校（知的障害）中学部の使用に適している。</p>			
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>◎</td> </tr> </table> <p>(中学校・中学部用)</p>	B	A	○
B	A			
○	◎			

種目	音楽	書名	文部科学省著作教科書（音楽C-722） 音楽 ☆☆☆☆☆	発行者名	東京書籍
----	----	----	---------------------------------	------	------

評価	<p>(1) 内容に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界各国や日本各地で親しまれているリズムやテンポの異なる様々な曲や楽器が採り上げられている。 童謡からクラシック、ミュージカルなどの様々なジャンルに加え、古典音楽から現代音楽まで時代の異なる内容が提示されており、音楽の楽しさを通して生活を豊かにすることへの配慮がなされている。 集団演技や音楽劇など、他者と協力して表現活動に取り組む学習が採り上げられており、周囲の人と協同しての思いの実現や課題解決などの経験が、震災からの復興に向けての活動に結び付いていくと思われる。 <p>(2) 組織と配列に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌唱や楽器、表現活動、鑑賞などの学習が効果的に組み合わせられており、音楽の楽しさを様々な観点から膨らませる内容が採り上げられている。 <p>(3) 学習と指導に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 情景や曲想を想起しやすいように挿絵や写真が配置され、工夫して配列されている。 英語で歌う曲が採り上げられており、英語科との関連が図れる。 <p>(4) 表現と体裁等に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 色彩がきれいであり、印刷も鮮明で見やすい構成である。紙質や体裁も良い。 <p>(総評)</p> <p>世界中の様々なジャンルや時代の曲が採り上げられており、社会生活において音楽経験を豊かに広げるための配慮がされている。中学校及び特別支援学校（知的障害）中学部の比較的理解の早い生徒の使用に適している。</p>			
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◎</td> </tr> </table> <p>(中学校・中学部用)</p>	B	A	
B	A			
	◎			